

アサヒ相談室

291.09
A839r



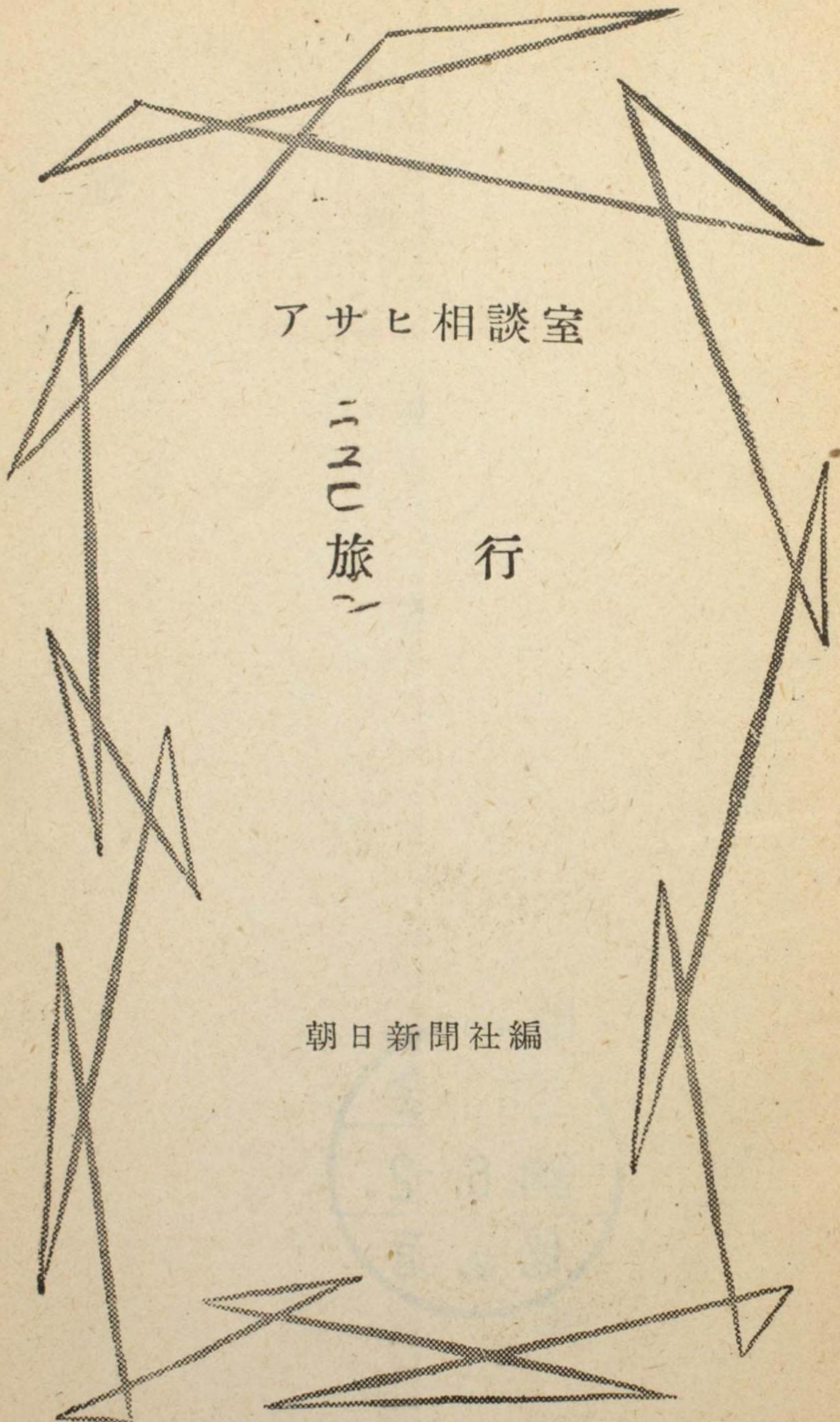
00297011

旅行

朝日新聞社編

朝日新聞社





アサヒ相談室

ニヌコ
旅行

朝日新聞社編

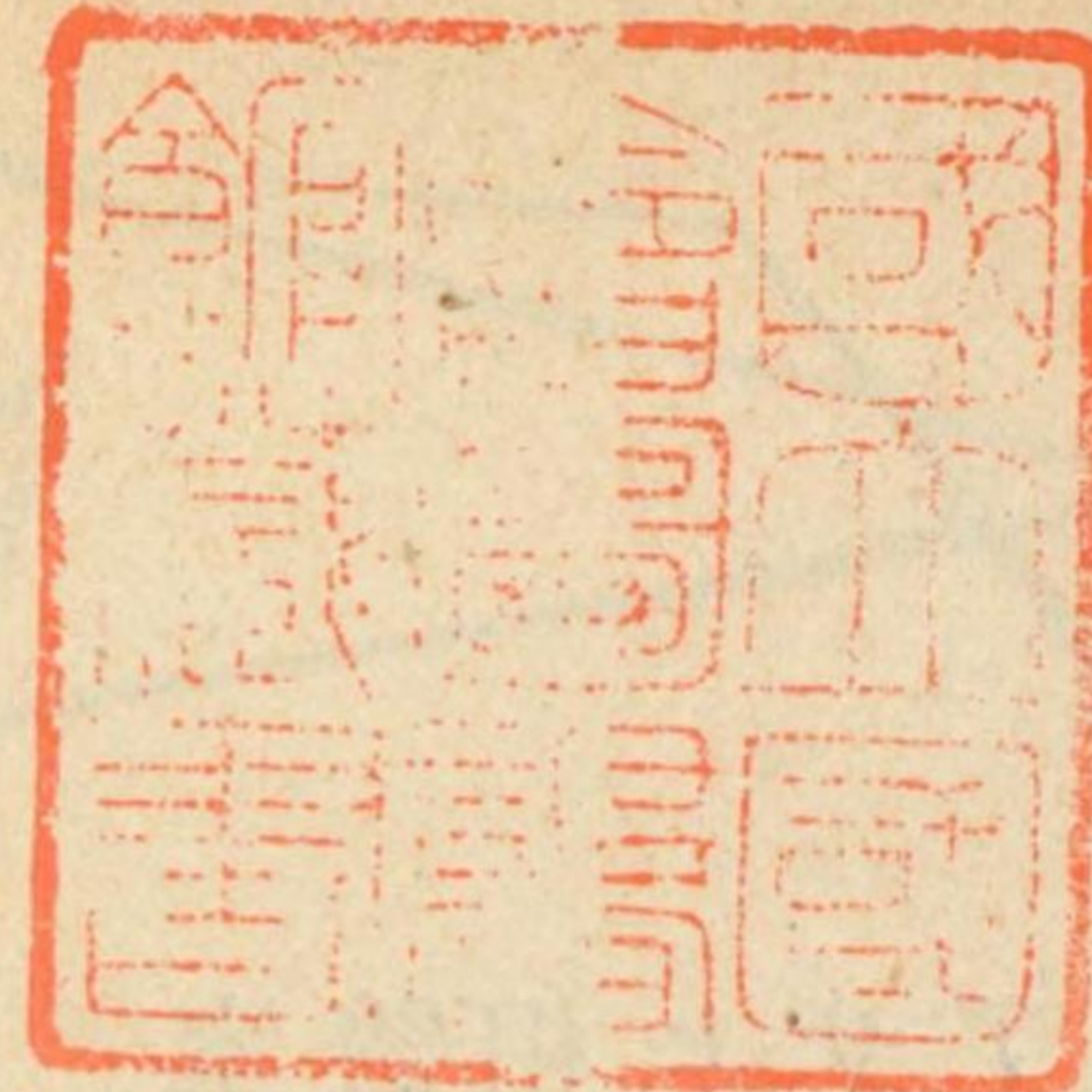
4697

291.09A839r

旅
行



相
談
室



297011

目次

I 旅の前に

1 旅上手 1

2 旅の五つのW 2

WHY WHERE WHEN WITH WHOM BY WHAT

3 プランと予算 4

II 旅仕度

1 持ちもの 7

カバン サブ・リュック フロシキと小型ポストン・バッグ

船旅と飛行機の旅のカバン カバンの鍵 化粧品と化粧道具

化粧品入れ ぬれ物入れ 雨具 肌着と靴下 ねまき

地図と案内書 時刻表と書籍 薬 ハンカチとチリ紙

万年筆と手帳 ナイフとハサミ ハシ、カン切り、セン抜き 時計

2 身に着けるもの 18

ワイシャツ 夏と冬 帽子と靴 靴下 婦人の旅装

3 食料品 21

弁当 果物 飲みもの カンヅメ

4 所持金 23

スリ御用心 旅行小切手 小銭の用意

5 傷害保険 24

公社と駅頭 公社での契約 駅頭契約

6 出発の前に 25

身だしなみ 旅の化粧 爪 睡眠

III 切符の相談室

28

1 国鉄の切符あれこれ……………28

通用期間 片道と往復 前売 途中下車 二等、一等、小児の運賃

六歳未満の運賃 運賃の計算法 キロ当りの運賃表 特定運賃

東京都区間と大阪市間の駅発着の場合 安い切符の買い方

回遊式で 回遊と復乗 環状線から支線への復乗

途中にバス、汽船、私鉄がはさまる時 自駅発以外乗車券 異級乗車券

急行券と準急行券 特別急行券 寝台券 特二券と特二乗船券

着席券 切符の払い戻し 旅行を延期する場合

乗車券を紛失した場合 急行料金の払い戻し 乗車券と手荷物

2 私鉄と私バス……………46

運賃 連帯線と非連帯線 私鉄の特急料金

3 船と航空機の切符……………46

乗船申込み 乗船券の払い戻し 乗船切符を紛失した場合

乗船切符と手荷物 等級のない航空券 搭乗の取消し

飛行中止のとき 回数券 家族割引 航空券と手荷物

4 交通公社発行の券るい……………50

JTB旅館券 船車券 観光券

5 切符のしまい場所……………52

III 乗物心得帳

1 列車の場合……………53

列車の選び方 夜行と昼行 急行と緩行 すいている特殊列車

列車の名称 列車番号 車輛の選び方 主要列車の車輛編成

座席のとり方 下級車への乗換え 着駅、方向、径路の変更

荷物のおき方 停車時間 急病 食堂車の利用 座を立つ時

特二座席の使用法 寝台の心得 郵便車 赤帽と一時預け 駅弁

駅売りの品

2 バスに乗る時……………67

バス旅行の心得 バスの座席 乗車番号券 事故にそなえて

駅構内ハイヤー

3 汽船に乗る時……………69

船を選ぶこと 船の等級 三等より二等 乗船の心得 船の動揺

デッキと公室 船と食事 非常時の心がけ 船酔いと予防
家族づれの船旅 小舟に乗る時

4 航空機に乗る時 76

日航の飛行場 搭乗から着席まで 航空路の安全性 機内にて
動揺と酔い 化粧室

5 乗物の酔い 80

乗物に強い弱い 酔いへの配慮

6 暇つぶし 81

退屈しのぎ 読書 よもやまばなし 車窓の眺め 旅と一体に
フォームと食堂車

7 車中のエチケット 84

車中をよごさぬこと 近所めいわく 洗面所と便所 食堂車で

8 船中のエチケット 86

船はホテル 立入り禁止区域 食堂のエチケット 婦人の身だしなみ

9 乗物とチップ 87

列車の場合 船の場合 航空機の場合 タクシー、バスの場合

V 旅館、ホテル案内所 89

1 投宿から出発まで 89

宿の選び方 一流旅館 定宿 中間を選ぶ 情報のあつめ方

国鉄推せん旅館 一げんを断る旅館 フリの客として

満員で宿がとれぬ時 客引の功罪 玄関先で 宿賃の交渉

部屋の選定 宿賃の構成 旅館券で泊る時 旅館券宿泊の不安

宿帳と名刺 部屋の名と女中の名 ゆかたとどてら 貴重品

荷物と帳場 盗難の用心 洗濯物の依頼 便所と浴場 避難の注意

外出の時 飲みものの注文 お得意カード 酒を断る法

酒のお酌 食事に当つて ご馳走の選択 寢床が敷かれたら

明日の予定 土産物の依頼 自動車とバス 支払い 勘定書の内容

子供の宿泊料 サービス料とチップ 女中のチップ

チップを出す時機 番頭その他のチップ 茶代の問題

長期滞在の支払い 取消しの場合

2 旅館でのエチケット 106

3 ホテルに泊る時…………… 109

従業員をいたわること 女中が気に入らぬ時
他人のめいわくにならぬよう 記念品か戦利品か 子供づれと老人

ホテルの長所 カウンターで 部屋へ 部屋の鍵 部屋の料金
食事料 食堂 食堂の酒 食事料金の支払い 来訪者の場合
勘定の支払い

Ⅶ 旅先にて…………… 116

1 見物…………… 116

用件の旅でも ハイヤーと遊覧バス 見物の目当 都市の印象
高所からの大観 地方の色とにおい 国宝と天然記念物

2 昼飯など…………… 120

昼飯はどうする 名物の食い物 構内食堂のある駅

3 旅と収集…………… 123

ラベル 郷土玩具 スクラップの収集 記念のスクラップ・ブック

4 メモランダム…………… 125

一冊の手帳 支出のノート

5 旅先の通信…………… 126

列車と電報 電報料金と略号 ムナとヤム 旅便り

6 身だしなみと救急…………… 128

洗面所のある駅 赤十字のマーク

Ⅶ お土産…………… 130

1 選び方…………… 130

旅のにおい 無意味なお土産 もらう側に立つて
お土産の豪華版、安価版 味覚のお土産 いつまでも調法なお土産
お土産はどこで買うか 有名店で求める 避けたほうがいいもの
お土産は直送

Ⅷ 旅の衛生と医学…………… 137

1 健康な旅……………137

 感冒と手当 不眠症と手当 便秘と手当 指頭消毒器 中毒の予防

2 旅に携えたい薬など……………142

 めぐすり ヨードチンキ 脱脂綿 アスピリン 鎮痛剤 催眠剤
 船酔い、乗物酔いの薬 酒客必携薬 下剤 胃腸薬 下痢どめ
 食中毒の薬 感冒の薬 虫にさされたら 虫よけには

Ⅸ 新婚旅行と旧婚旅行……………152

1 新婚旅行……………152

 旅行地はどこに 定石外のコース 仕度と携帯品 旅館で
 旅の記念

2 旧婚旅行……………155

 どんなところへ 旅館にて

Ⅹ ハイキングの旅……………157

 ハイキング・コース 服装 リュックとカバン 靴と靴下 杖
 地図 磁石 食物 水筒 コックヘルと飯ごう その他の携帯品
 女性と太陽 足のいたわり 靴ずれの予防 足弱を先に
 歌をうたつて

Ⅺ 団体旅行の手引……………161

 臨時列車など 車輛増結 団体割引 貸切り遊覧バス
 船の団体旅行 船の貸切り 旅行小切手・クーポン券 チップ
 引率者の心得 団員として 団体旅行の心得 荷物には名札を

附・全国駅売り名物調べ……………165

 全国土産物調べ……………169

旅の前に

M

I

おなじ乗物に乗つておなじ道を通つて、事務所なり役所なりに行く、おなじ人たちと顔を合わせておなじ道を通つて、おなじ乗物で帰宅する。毎日

われわれの日常生活では

味で旅行といつても、われわれの日常生活の延長にすぎない。

旅行に出たからとて、われわれは別人となるわけではない。ふだんとおなじだけの空気を吸い、そして吐

1 旅上手

この反復である。ところが、旅行になると話はまるで違つてくる。はじめて乗る路線、見知らぬ人、はじめて泊る旅館、日ごと日ごと環境が變つてゆくのだ。日常生活の機械的反復性というものが根本からくつがえされる。ここに旅の楽しさもあり不安動揺もあるわけである。

日々變る環境のなかで、見知らぬ人々との接触のなかで、何のくつたくもなく、何のそつもなく旅をつづけてゆく人がある。いわゆる旅馴れた人である。これに反して旅馴れぬ人は、未知の世界に入りこむ摩擦と焦慮に心を勞するばかりである。

それは旅馴れた人は旅のコツを心得ているからだ。大げさにいえ



ば、旅行技術を体得しているからなのだ。

そうだ、やはり旅行にも、それが生活の一面である以上、「技術」があるのだ。

旅館の選び方も、女中のチップのやり方も、何れも技術なのだ。

技術を身につけておけば、神経をつからすこともなく、エネルギーの濫費もなく、時間の浪費もない。

限られた時間と、一定の金、それをフルに活用して、もつとも有効な、能率的な旅行がしたいものだ。楽しい、後悔のない旅行がしたいものだ。それにはやはり旅行技術がモノをいう。

旅行技術を身につけておけば、どんな未知の世界へも、大手を振つて、そして口笛を吹きながら

でも、歩み入ることができたらう。旅上手になるのには、何も世界を漫遊する必要などはない。ほんの少しの技術さえ体得すれば、あなたはすばらしい旅上手になれるにそういない。

2

2 旅の五つのW

あなたは今、旅行の計画を立てている。そのあなたの旅を、五つのWの面から眺めてほしい。

☆WHY なぜあなたは旅行するのか。旅行の目的は何か。これは考えるまでもなく明かで、公用、社用、商用、遊覧、見学などと即答できるにそういない。

公用、社用などの場合は、日程その他が天下り的で、計画のなかに、あなたの自主性の要素は入

つてもほんの少しである。これに反して、遊覧、見学などになると、旅行の時期にせよ、日程にせよ、あなたに自由採決の権利があるわけである。こういう旅行を自由旅行と呼べば、自由に決められないほうの旅行は、絶対旅行とでも名付けられよう。

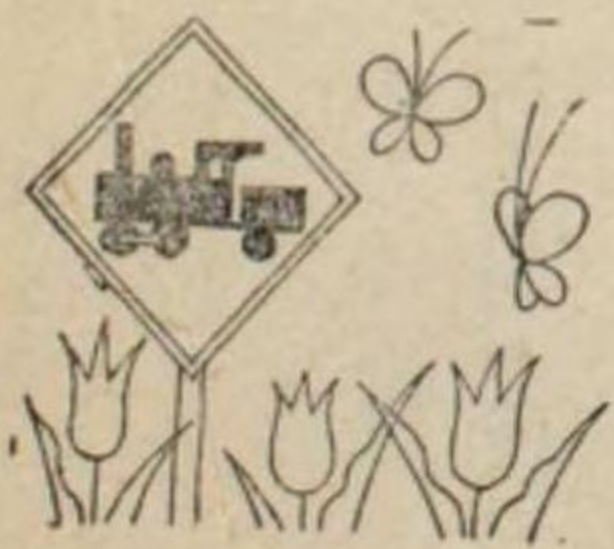
☆WHERE どこへ旅行するか。絶対旅行の場合は、既定事実だから問題はない。ここに今一万円の金がある。それでどこへ旅行しようか。九州はどうだろう、北海道はどうだろう。時期、期間などにとらみ合わせて、プランを立てることになるのだ。

☆WHEN これも絶対旅行の場合は動かすわけにはゆかない。しかし自由旅行の場合は、こ

の問題でも考慮を重ねる必要がある。北海道の遊覧旅行をするには初夏が最適だし、南九州に見学旅行を企てるのは冬が向くはずである。花見の旅なら春、紅葉をめでは秋。目的地や目的に応じたシーズンがあるはずである。それを無視した旅行は、往々にしてナンセンスの場合がある。

時期だけでなく、いつ立つて、幾日の旅行ということもここで考えておくことになる。幾日あれば目的は達せられるか、予算にとらみ合わせてそれは可能か、などが当然検討されるわけである。

☆WITH WHOM 絶対旅行なら、あなたが秘書の女性を携えて行くにせよ、上役のお伴として出向くのであるにしても、問題



にするに当らない。ここで問題となるのは自由旅行の場合である。同伴者のない旅、すなわちひとり旅と同伴者のある旅では、いろいろ条件が違うが、同伴者のある場合でも、恋人、フィアンセ、妻、子供、老母、あるいは飲み仲間、団体など道づれいかんによつては、旅行の性質は變つて来る。目的地にも、時期にも、期間にも影響があるわけだし、次の旅行手段にもからんでくる。

☆BY W H A T 家族づれの場合など汽車より汽船を選んだほうがいい場合もある。北海道への釧路航路、瀬戸内海の別府航路、四国への高知航路など、汽車以外の路もあるわけ。また急ぎの旅の場合、航空機の利用も考えられるのはいうまでもない。もちろんこれも予算とかみ合わせて

考えるべきなのは当然である。

3 プランと予算

芭蕉の奥の細道の旅でも、決して行き当りばつたりの旅行ではなく、計画を立てての旅行であつたことは、隨行の曾良の書き留めたものから推察できる。

どこからどこを回つて、幾日、その間の乗物は、どう、何と何を見物するなどというプランは、はつきりと立てておかねばならない。それは、前に見てきた五つのWの要素をにらみ合わせる必要のあるのはいうまでもない。計画性のない旅行はロスの多い旅になる。旅を有効に、能率的にすすめるには、きちんとしたプランを立てねばだめだ。

プランがきまつたら費用を計算してみる。列車区間は三等としていくら、連絡船は二等でいくら、それにバス代、自動車代などを加えて、運賃は合計どれだけ。こんどは宿泊料で、幾日泊り、一日平均何百円かとしていくらの数字を出す。あとは小遣。煙草は一日に幾箱吸うとしていくら、あるいはガム何個でいくら、昼飯代いくらなど一日の小遣を概算して、それに旅程日数を掛ければ大体いいわけだが、旅先だと、新聞のようにふだんは小遣に加算されないものまで、小遣として支出されるから、少しゆとりを見て置く必要がある。大体、一日、五百円と踏んでおけば、間違いないところだろう。

総計してみても、概算費用が、予定を超過した

ら、日程をちぢめるなりして、操作を行う必要があることはいうまでもない。

プランと概算費用がきまつたら、細かいスケジュールを組んでみることに。何時分何駅下車、徒歩何十分などと組んで、旅館への到着時間まで調べ上げる。翌朝の旅館出発時間もはつきり組んでおくべきことはいうまでもない。

しかしスケジュールは少しゆとりのある組み方がいい。あんまりきちきちに組んで置くと、一カ所の破綻のために、スケジュール全面がくずれてしまう。ラフな機械なら平気な故障も、精密機械では全体の運行を止めてしまうのによく似ている。

スケジュールが確定したら、そ



れを留守をする家人なり、連絡を受けもつ係なりに、伝えておくこと。何月何日にはどこを旅行中と分っていることは心丈夫でもあり、万事につけて便利であるから。

はじめての土地に旅する時には、やはりその地方に関する予備知識をたくわえてゆくに越したことはない。一番いいのは、かつてその地方を旅行した者から経験を聞くことである。あとは案内記によつて知識を補充すればよい。

案内記として、最近のもつとも詳しいものは、運輸省編の「日本案内記」(全八冊)だが、今までに近畿篇(上、下二冊、定価上五〇〇円、下六五〇円)と関東篇(一冊、定価七〇〇円)が出ているだけである。交通公社編の「旅程と費用」

(定価九〇〇円)や地方別の「旅行叢書」も便利な案内書である。

プラン、概算費用、スケジュールの製作には、これらの外に国鉄監修の時刻表を併用する必要のあるのはいうまでもない。

旅 仕 度

1 持 ち も の

旅行の目的や種類によつて持ちものも変わるが、なるべく荷物は少なく軽くしたもののである。大きな重い荷物をいくつも持ち歩くのでは、引越だか旅行だか判らなくなつて、荷物にだけ気が奪われて、旅行の興味は半減してしまふ。

一時は食糧までえつちらおつちら持ち歩かなければ旅行ができなかつたが、今はそんな心配もないのだから、できるだけ身軽に旅に出かけるべき

である。

数学上のことばではないが、「必要で十分」、これが携帯品をそろえる原則である。無駄なものがないように、そして入用なものを忘れないように。もちろん国内旅行では、大ていものは旅先で補充できるが、そのために無駄な手数と時間を食つて、スケジュールにもひびく場合が生じる。旅をあくまで楽しくするためには、出発前の心がまえがたいせつで、どれだけの携帯品が今度の旅行に「必要で十分」だか、メモを作つて、よく練つてみるのが望ましい。

しかし次のような品は、ふつうの旅行でも入用なもの、もしくは持つて行つて調法なものである



う。

☆カバン 携帯品の中心はカバンである。持ちものはすべてここに入れてしまつて、カバン一つで旅行をすべきである。

大型のボストン・バッグか、スーツ・ケースがいい。丈夫で軽いことが必要だから、最近さかんになつてゐるビニール製品が適当である。革製品は丈夫ではあるが重いので、このごろは流行しない。なおズックのボストン・バッグは軽くて丈夫だから、これでもけっこうである。

☆サブ・リュック カバンの代りに、小型のリュック、いわゆるサブ・リュックを使うのも便利である。リュックは一時は買出し袋の観があつたが、もう、その時代も過ぎたので、本来の使命

にかえして使つてもいいだろう。ことに乗物だけにたよれない旅行の場合は、片手にカバンを下げるとぼとぼ歩くよりは、リュックを背に、胸を張つて歩くほうがどれだけスマートだろうか。

リュックは、なるべく薄い布地で丈夫なのを選ぶこと。出来合いを買つよりも専門店に頼んで、自分の好みの大きさに仕立ててもらつたほうがいい。薄い布地を使つて、用のないときは小さくたたんで、フロシキに包んで持ち歩けるくらいに作つておくほうが便利。色は白を避けて、グレイなどを選ぶこと。

カバンでありながら、リュックのようにせおえる、しよい革つきのカバンが、今ヨーロッパで流行している。遠い旅行には便利にそつくない。

☆フロシキと小型ボストン・バッグ カバンやリュックの中には、一、二枚のビニールのフロシキを入れておくと何かと便利である。またボストン・バッグの小型のようなものも入れておくべきである。旅館や特別二等車で荷物をあずけてしまふとき、身のまわりのものを入れておくにもぜひ必要である。婦人はハンド・バッグもそれに入れておく。

☆船旅と飛行機の旅のカバン 長い船の旅では、大きな荷物 (Baggage) は荷物庫にあずけてしまふ。だから船上生活に必要なものだけを入れる、小カバンが別に必要となる。

飛行機の旅で、手荷物が無賃なのは国内航路で一五キロまで、海外航路で三〇キロまで、世界一

周航路で四〇キロまでで、それを越すと目の玉のとび出るほどの料金をとられる。したがつて、飛行機にもちこむカバンは、あくまで軽くて丈夫なのを選ぶ必要がある。

飛行機でも、荷物は荷物庫に納めてしまふから、身のまわりのものを入れておく小さなカバンが別に入用である。

☆カバンの鍵 これも忘れずに持つてゆくと。カバンに鍵をつけたままの人を見受けるが、あれでは鍵の用をなさない。旅行中は、鍵はカバンから離して、安全の場所におさめておく必要がある。

☆化粧品と化粧道具 ヘヤー・トニック、ローション、クリ



ム、それにポマードかチックは男子の身だしなみの上から当然持つて行くべきもの。婦人もふだん御愛用の品々を持つて行かれるにそういないが、別々の瓶のままではなくて、最近できたパース・メーキャップ・キットという、口紅の容器を大きくしたようなものにクリーム、パウダー、口紅などつめて行くと至極便利である。

手ヌグイ、タオル、セッケン、ハミガキ、ブラシ、クシが入用なのはいうまでもない。男子は安全カミソリかレザーを忘れぬように。もつとも最近流行の電気カミソリは、各地の電圧がちがうので、旅行の際にはほとんど役に立たない。婦人はセット用のクリップとヘアー・ブラシを忘れずに持つてゆくこと。

☆化粧品入れ 革などで出来ていてセットになつてゐる化粧ケースは、実用上は不便。スー

ツ・ケースに化粧品函のついているものもあるが、これもおていさいだけのはなし。一番便利なのは、ビニールで出来ていて、何でも自由に入る、ぐるぐるつと巻いておける化粧品入れである。もつともふつうの化粧ケースのように、これには鏡がついていないから、かならず鏡を入れておく必要がある。なお婦人は、パフを納めておくこと。

☆ぬれ物入れ ぬれた手ヌグイやタオル、汗でぐつしよりになつたハンカチを入れるためにぬれ物入れが必要である。これもビニール製品がもつともよるしい。

☆雨具 洋ガサは持ち歩きに邪魔だから、折

りたたみ式になつてゐるカサがいい。これならスーツ・ケースにもポストン・バッグにもおさまる。さもなければ、フードのついたレイン・コート、これは防水がよくきいていて、薄手のものを選ぶこと。かさばらずに小さくたためるから。婦人の傘は、晴雨兼用のものにすれば、パラソルにも使える。

☆肌着と靴下 肌着は三枚、靴下は二足ぐらい持つて行つたほうがいい。内地の旅館では一晩で洗濯してくれるが、夜おそく着いたり朝早く立つたりすることがあるので、余裕をつけておくことがかんじんである。ことにパンツは、いけない時は捨てる覚悟で、余分に持つて行くのが長旅の際の心得である。

☆ねまき 今は大ていの旅館にゆかたのねまきの仕度が出来てゐるが、きれいずきの人、体が特に大きかつたり小さかつたり人は、ねまきを持つてゆくべきである。

洗濯して、のりのパリパリしたゆかたをセロファン製の袋に入れて客に出すような高級旅館もあるし、男物女物と区別し、男物も大中小に分けて、ねまきをそなえてゐる気のきいた旅館もある。と思つと、いつ洗濯したか分からないような、襟元のよごれたゆかたを出される場合も少なくない。

とにかく、自分の丈に合つたねまきを携えたほうが安心である。ゆかたの代りに、うすい絹のバジヤマでもいい。ことに子供づれの



旅行の場合、子供のねまきは絶対に必要である。

☆地図と案内書 列車やバスに乗る以上、だまつていても目的地に連れて行つてくれるから、何も地図の必要はあるまいという人が多い。しかし車窓から見える山や川が何山であり何川であるかも知らずに、荷物のように運ばれてゆくのと、山の名、川の名を知りながら、車窓風景を楽しむのでは、旅行の味わいがまるでちがう。

旅にはぜひ旅先の地図を持つてゆくこと。地図は地理調査所の二十万分が手ごろである。もちろん、歩いたり調べたりする部分は、五万分が入用であろうが。

市街地図は、行く先々の都市で買ったほうがいい。旅のいい記念にもなるし、他日、思いがけぬ

用に立つこともある。外国旅行の時などは、買った市街地図に自分の泊っているホテルの所にマークをつけておいて、それから見物に出かけると、あまり道に迷うことなしにすむ。

案内書も持つてゆくべきだが、最近交通公社から出た「旅程と費用」は少し厚すぎて、持つて歩くのに不便だから、必要の部分を書き抜いてでもゆく。交通公社の地方別の案内書「旅行叢書」が携帯用にはぐあいがいい。なお運輸省編の「日本案内記」も既刊のところを利用できるなら、詳細だから至つて便利である。

☆時刻表と書籍 時刻表は最近のものを持つてゆくこと。古い時刻表をたよつて、連絡するはずの列車がなかつたなどでは目もあてられない。

ある作家は、長途の旅行の無聊を慰めるには、

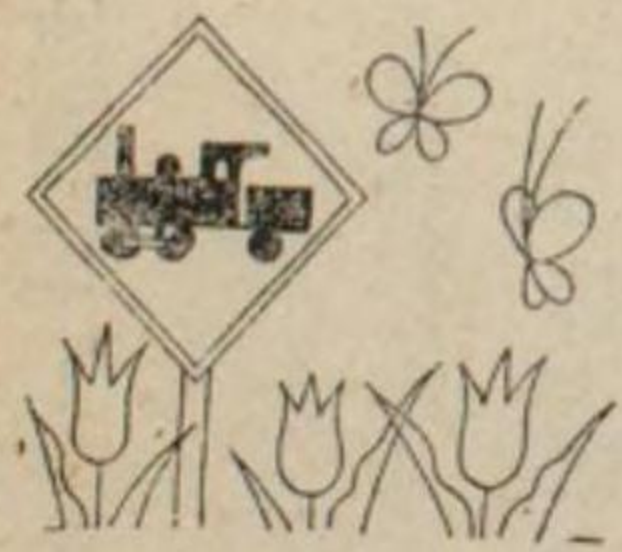
四、五冊の種類のかわつた書物を持つてゆくようにすすめている。シベリア鉄道とか太平洋航路などではそうにちがいないが、この狭い四大島国内の旅行では、そんな必要はまああるまい。大体旅行というものは、生きた書物を読むことなのだから、活字の書物はむしろ邪魔である。持つて行く書物は、時刻表と案内記だけでたくさんのはず。もちろん、読書のための旅行とか、調査のための旅行とかは別問題であるが。

☆薬 持薬は忘れずに、それも少し余分に持つてゆくこと。列車の中には、車掌のところには救急函があつて、大ていのもは間に合うし、主要駅には、赤十字派遣所があつて、手当を加えてく

れるが、それでも少しは持つて行くべきである。

催眠剤、胃腸薬、目薬、それにレスタミン剤、など。ことにレスタミン剤は、いろいろに使えて旅行の薬としては重要である。脱脂綿、アクリノール・ガーゼ、水バンソウコウ、ホウタイとマキキユロが一包になつている旅行用のもの。あるいは放出の Adhesive Tape か Plastic Strips など、外傷用の医療品も調法。DDTかBHCも持つていつたほうが安心である。

乗物に酔うおそれのある人は、乗物酔いをふせぐ薬の一びんは携えること。なお婦人は旅に出ると変調になりやすいから、生理バンドは必ずカバンにひそませておくべきである。な



お旅の薬品については、後に説く「旅の衛生と医学」の項に詳しい。

☆ハンカチとチリ紙　ポケットに入れてあるハンカチ以外、二、三枚のま新しいのをカバンに入れておくこと。旅先で、人を訪問したり、招待を受けたりすることがおこつてきても恥をかかないために。

ふだんに使うチリ紙以外、半紙の一、二帖は持つていたほうがいい。包み紙にも使えるから。

☆万年筆と手帳　万年筆にはインキを満しておくこと。ふつうのインキでは間に合わなくて、特殊のインキを必要とする万年筆の場合は、インキ瓶も持つて行くべきである。

鉛筆も削つて、サックをさしておく。赤や青の

色鉛筆も持つていると、時刻表や地図にマークする時に調法である。

手帳は新しいのを持つて行く。その旅行のメモにその一冊を当てるようにしておくこと、後々に参考になるし、旅の思い出にもなる。

アドレス・ブックは必ず忘れずに携えること。旅先で友人に絵ハガキでも出そうと思つても、アドレスが分らずについつい失礼してしまうようなことがよくあるから。

☆ナイフとハサミ　ナイフやハサミ、爪切りは旅館でももちろん借りられるが、車中などでは持つていないと不便。ナイフやハサミその他一式の七つ道具をセットにしたものがあるから、それをふんばつするほうがいい。

☆ハシ、カン切り、セン抜き　駅弁についているハシなどは折れやすい。やはり、ハシかフォークは持つているほうが安全。カン切り、セン抜き、フォークなどを一つにまとめた金具があるから、それ一個あれば間に合う。

☆時計　時計がくるつていて、列車にのりそびれることも時おりある。時計はアクセサリではないのだから、型は古かろうが、正確なのが何より、もちろん腕時計が便利である。

☆名刺と印章　名刺は余裕をつけて持つておくこと。名刺は出来合いがないのだから、旅先で名刺をきらすと面倒だ。車中で隣近所の人に名刺をふりまいているのをよく見かけるが、あれはつしんだほうがいい。名刺の濫費だけにとどまら

ず、悪用されるおそれがある。平沢事件の松井名刺ほどの慎重さも必要ないにしろ、名刺を広告ビラと取ちがえないでほしい。

名刺とならんで、本人を証明するものは印章だが、これを持たずに旅行する人が多い。ところが旅先で電報爲替など受取ろうとするときになつて印がなくてあわてる場合が少なくない。商用以外の旅行でも、印章は持つて行つたほうがいい。もつとも、ハイキングなどにはその必要はないが。

☆電報用紙、ハガキ、切手　列車中から電報を出す場合などのために、電報用紙は準備しておくこと。商用などで電文のひかえが入用な場合は、一冊になつていてコピーのとれ



る電信簿が都合がいい。

便せんと封筒は旅館で間に合うが、やはり少しは持つて行くべきである。

ハガキも四、五枚は持つていたい。切手は十円のと五円のと両方あつたほうがいい。旅先の便りには地方地方の絵ハガキが一番ふさわしいが、五円の切手がないため、書いた絵ハガキをいく日もポケットに入れたまま旅行をするようなことになるから。

☆針と糸とボタン　ちよつとしたほころびやボタンの落ちたのなどは、旅館の女中に頼むことが出来るが、いそぎの旅で、その余裕のないこともある。針と糸、それにシャツの小さな貝ボタンの一つ二つは持つていたほうが安心である。糸は

二十番のカタン糸が適當。登山やハイキングの旅にはこれらは絶対に必要である。

☆安全ピンとひも　安全ピン、ひも類、小ぎれなど、カバンのすみに入れておくと、何かの場合、役に立つ。

☆靴ひも　旅先で靴ひもがプツツと切れることがある。しばつておいても間には合うが、人を訪問する場合、あるいは知らぬ旅館の玄関先に立つたおり、ちよつとひきめを感じる。大都会なら適當の代品も求められるが、へんぴな所では手に入らないのがふつうである。やはり予備の靴ひもは持つておくほうがたしかである。

靴べらもふだん持つていたものが、新しいズボンに替えたりすると、つい忘れがちだから安心

が必要。

靴べらと靴ブラシを一つにまとめてあるのがあ
るが、旅行には便利だろう。

シューズ・パフも持つて行くのがたしなみとい
えよう。

☆荷札、小包用紙　旅先で不要になつた品物
は、どんどん送り返して、身軽になつたほうがい
い。また買ひもとめたみやげ物も、後生大事に持
つて歩かずに送つてしまつたほうがらくである。
荷札と小包用紙は前もつて持つて行つたほうが面
倒がなくていい。

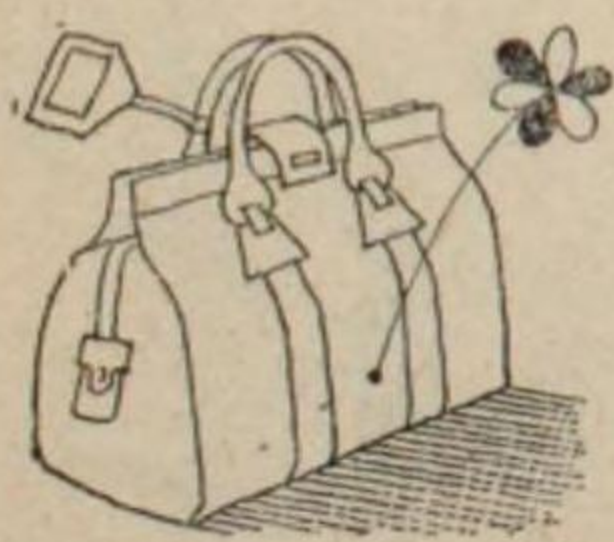
☆眼鏡　眼鏡を使う人には眼鏡は眼の一部と
いつてもいいのだが、旅先で眼鏡をこわした時ぐ
らいこまることはない。スペアの眼鏡を持つてい

るほうが安全である。なお眼鏡を二重にかけられ
る人は、よく一つの眼鏡を忘れて、旅先で不便し
ているが、そのも一つの眼鏡は忘れずにカバンに
納めておくべきである。

☆酒、煙草、マッチ　酒と煙草は今はどこで
も手に入るが、愛用の酒や煙草以外はのめない
という人は、携行なかつたほうがいい。それはまあ
持薬の一種なのだから。もつとも薬なのだから、
適量を越さないように。

ホルダーやパイプを使う人は、それも忘れない
こと。

船旅には、ゼビマドロス・パイ
プ。何しろ名前からマドロスとい
うのだから。マッチやライターも



忘れずに。

☆気休めの品々 味覚に神経質で、田舎料理をおそれる人は、塩や味の素を持つて行かれたほうが気休めにもなるだろう。

旅館の茶わん類の清潔さに疑惑を抱かれるような潔癖家は、ふきんを持参なさつたほうがいい。つま楊枝を使いつけた方はこれも入用。もつともマッチの棒でも間には合うが、御婦人にはおすすめ出来ない。

☆カメラと双眼鏡 カメラや双眼鏡は持つていたら携えたほうがいい。使いたくない高級カメラを友人から借りて行つて、何も写らなかつたというのでは、単に荷物を重くするだけで意味がない。双眼鏡はことに船旅の場合は旅の楽しみをま

してくれる。

☆空気枕 長旅の場合は、空気枕も疲れを軽くする。枕としてだけでなく、クッション代りにもなるから。

☆扇子とかいろ 夏の旅には扇子も入用だろうし、冬旅にはかいろを持たずに行つて、後悔する人もあろうから注意が肝要である。

2 身に着けるもの

能率的に旅をつづける上からいつても、軽快な服装の必要がある。その点から、和服に特別な趣味を持たれる人は別として、洋服での旅をすすめたい。服は汚れてもあまり目立たない、そして丈夫な生地のものである。ポケットの大きいのが便

利である。上衣の代りにジャンパーを着るものもなかなかスマートで、しかも活動に都合がいい。

☆ワイシャツ ワイシャツは、白色のものは着替えとして一枚だけ旅先の訪問用に、スーツ・ケースに入れてゆくにとどめる。旅中に着るものは薄色でも色物を選ぶべきである。それも地が厚く、ガッチリしたものがのぞましい。

☆夏と冬 夏の旅でも白の服装は避けたほうがいい。いつとなくえりやそでやすそが薄よごれて、はた目より着ている当人が気持ちが悪くなる。儀式ばる必要のない夏の旅だつたら、ハーフ・パンツが軽快である。

冬はオーバー、えり巻、手袋、スエーターなどが入用なのはいうまでもない。列車中は暖房され

ているから、下にごてごて着こまずに、毛のシャツの下に、うすいメリヤス・シャツという程度が適当である。もつとも冬の寒地旅行などでは、アラックを上に着る必要も生じよう。

☆帽子と靴 ふだん無帽で通す人は無帽でもいいが、やはり帽子はかぶるほうが本当である。ソフトかハンチング。夏はパナマかピケかミルキー・ハット。カンカン帽は不安定で旅には向かない。ヘルメットは防暑帽で、夏の旅行に最適だが、国内旅行には、少しものし過ぎるかも知れない。冬の寒地への旅には、スキー帽のように耳がおおえるものが入用である。

靴は、編上げの方が旅行には都



合がいいが、短靴でもいい。雨の日を考えると、ズックのものでなくて、革靴の必要がある。

靴は必ずはき慣れたものをはくこと。よく旅立ちに当つて、新しい靴をおろす人があるが、はき慣れぬ靴で旅をすると、マメや靴ずれをひきおこす。新品なら四、五日はき慣らしてから行くのが常識。そのひまのない時は、靴の内にセッケンをぬらして塗つてからはくこと。

はき慣れた靴といつても、ボロ靴は絶対に避けることである。旅館の玄関先で、往々「足もとを見られる」からである。

それからあまり変り色の靴は避けること。黒や茶ぐらいなら旅館に靴墨のそなえがあつて、磨いておいてもくれるが、変り色の靴の場合は、自分

で靴墨を携行しない限り、旅行中磨けずに、不愉快な思いをしなければならぬことにもなる。

冬の雪の深い地方への旅行には、長靴かスキー靴の必要があることはいうまでもない。

☆靴下 靴下は薄いのを二枚重ねてはいたほうがいい。持ちもいいし、洗濯も下のほうからしてゆけばいいから。絶対につきぎの当つた靴下は避けること。靴とちがつて靴下のほうは、新品でも一向差支えない。

☆婦人の旅装 旅のいでたちとしてワンピースはすすめられない。ワンピースがいい。

なかでも一番旅に快適な婦人の服装は、濃い目の上衣にストラックスである。長途の旅や、駅から遠く入る旅行の場合には、ことにこの姿が見た眼

にも、着る身にもこころよい。アフタヌーンにハイ・ヒールというスタイルは、駅から自動車と

いうように、地面に足を印さない旅行以外は無理である。

なお一般的にいって、絹や人絹類は旅装には向かない。

靴はぜひかかとの低いフラットをはきたい。ハイ・ヒールでは本当の旅はむずかしい。はきなれた靴に限ることは、男子の場合と同様である。

冬の旅では、雨にぬれても平気なオーバーとスニーカー、これが入用なのはいうまでもない。

冬の列車には暖房があるので、あまり下に着こまぬこと。着こみすぎて暑くても、女性として人前で脱ぐわけにゆかず、トイレットへでも立たな

ければならないので、厚着は禁物。

手袋、えり巻やスカーフも、車中以外では必要である。

あまり装飾的な婦人帽子は旅行には意味がない。夏は日よけ、冬は防寒に適するような帽子ならかぶつたほうがいい。旅へ出るとほこりをかぶる機会も多いし、風で髪も乱れやすいから。ネットカチーフで頭を包むのも、旅姿としてスマートである。

3 食料品

☆弁当 駅弁は主要駅で売っているし、食堂車のついた列車も幹線を走っているから、弁当は持



たなくても平気で旅行できる。

しかし、近距離の旅行やハイキングの旅などでは、弁当を持つて行くべきだし、遠旅でもはじめから駅弁に頼らずに、数回分は家庭の味のこもつた弁当を携えたほうがよかるう。

弁当箱や重箱は空になつてから邪魔になる。折に入れるか、竹の皮や経木に包んでおいて、いらなくなつたら、入れものを捨てること。弁当はカバンに入れずにフロシキに包んで、別に携えたほうがよい。

列車によつて腰を掛けられぬこともある。そうでなくても列車の動揺や混雑を考えると、握り飯が始末にいい。梅干を入れておくと保存に向く。それに海苔で包めば、さらに理想的である。夏期

の長旅の弁当には、握り飯を焼いておくと持ちがよい。

少し手はかかるが、海苔巻か稻荷ずしなどは旅の弁当として一番好適である。旅馴れぬ人は乗物に乗ると食欲がなくなりやすいが、すしのような酔の飯は平気でたべられる。

パン食に馴れた人には、サンドウィッチかホット・ドッグが簡単で便利である。

☆果物 駅売りで地方地方の果物などを売っているが、重くならぬ程度に持つて行つたほうが経済だし、調法でもある。

☆飲みもの 茶やコーヒー、牛乳など駅売りで不自由なく手に入るが、子供づれの旅行の場合などは、魔法瓶に飲みものを入れて行つたほうが

何かと都合がいい。

☆カンヅメ カンヅメ、ビンヅメの食料品は重くなるから、持つべきではない。もつとも登山とか、へんびな温泉への旅行とか、ハイキングの場合などは、はなしは別である。

4 所持金

☆スリ御用心 旅行中一番のきがかかりは所持金のことである。旅館に着けば帳場に預けてしまふので安心だが、不安なのはその間、ことに乗物のなかである。ことに列車中には列車専門のスリがいるから、油断ができない。

当座の小遣以外の金は、身体の奥ふかい所にしまつておくこと。胴巻を利用するのもいいし、洋

服や肌着に、秘密ポケットを作つておくのも一法だ。とにかく大金の場合は分散させておくほうが安全である。

☆旅行小切手 一番安心なのは、現金をJTB旅行小切手に換えて携えることである。旅行小切手は、交通公社案内所か東京銀行本支店に頼めば発行してくれる。

それには五千円、一万円、五万円の三種があつて、有効期間は六ヵ月、手数料は小切手発行額の六厘相当額である。一人一回の手数料百円未満のときは百円。

交通公社の案内所と、東京銀行の本支店なら、どこでも署名捺印するだけで現金に換えられるから



至極便利である。これを利用すれば、大金を身につけているため、それが心配でおちおち旅の醍醐味も味わえぬというような恐れも解消する。

ことに旅行小切手の本領を發揮するのは、商用や遊覧の旅行、それに団体旅行と修学旅行の場合である。

☆小銭の用意 車窓から買物をするような場合、小銭がないとひどく不自由を感じる。小遣にはぜひ小銭を用意しておくこと。旅先で小銭がなくなつて困る場合は、交通公社の案内所で両替をしてくれるから、それを利用したほうがいい。

5 傷害保険

☆公社と駅頭 旅行中の不慮の災害にそなえ

て、出発前に旅行傷害保険をつけておくと、気丈夫に旅ができる。

☆公社での契約 傷害保険の申込みは、乗車券購入の際、交通公社の各案内所で受け付ける。

短期のものには、七日間のと十四日間のとがある。保険金は一口十万円までで、何口でも申込み。七日間のは保険金十万円につき保険料金は五十円、十四日間のは十万円につき六十円となつて

いる。

☆駅頭契約 なお最近開始されるものに小口の簡単な傷害保険がある。駅頭の自動保険証販売機に十円硬貨を入れてハンドルをまわすと、交通傷害保険の受付票と申込書が一枚の切符になつて出てくる。申込書のほうに氏名、年齢、日付だけ

を記入して受付票を切りはなして、別の口から申込書を入れると契約が成立する仕組みである。一口保険料は十円、保険金二万円まで二十口まで一人で契約出来て、有効期間は七日間となつている。販売機は東京、上野、大阪、京都などの主要駅にそなえつけられることになつている。

6 出発の前に

☆身だしなみ 何かと気のせかれる旅先で、理髪店をさがして、刈らせるのは気苦労だし、貴重な時間の濫費でもある。それに変な刈り方をされるおそれもある。出発の前に理髪店へ行つておいたほうが安心である。

なおボマードをあまりつけすぎると、塵やすす

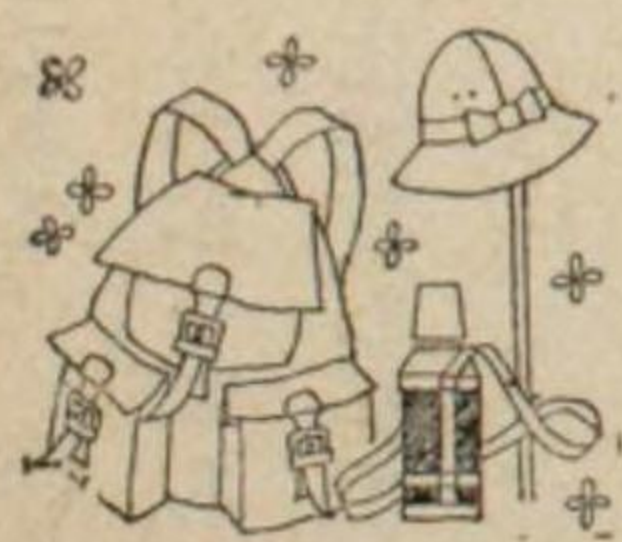
の吸収を引受けるようなことになる。髪の毛の乱れぬ程度にとどめておくこと。

婦人の場合も出発前に美容院で髪形をととのえておくべきことはいうまでもない。旅行中はセツトだけですませること。

☆旅の化粧 旅先の化粧は自然の顔を生かす明るい健康的なものでありたい。それはおのずから都会での夜の化粧とはことなつて、うす化粧となる。

白粉はピンク系のもの、ほお紅もほのかに、口紅もあわく、眉ずみもどきつくなくあつてほしい。

濃い化粧は、日光のもとでは不自然であるばかりでなく、そ



なくても肌をいためやすい旅先では、いよいよ肌を荒らすおそれがある。

旅先では就寝前、ふきとるなり、洗顔するなりして白粉を落とす。もし水が良くないばあいは、コールドクリームでふき取ったほうがいい。なお洗顔の後とか入浴後は、かならずコールドクリームを塗り、さらに化粧水をほどこすのを忘れてはならない。

旅先では水が変わるからどうしても肌が荒れやすいので、コールドクリームは絶対に必要だが、それには汚れを落とすのにも、白粉下にも使われ、栄養にもなる万能クリームを選ぶべきである。

化粧水も温泉などで肌が荒れることがあるから、アストリンゼントよりも弱アルカリ性のスキ

ン・ローションのほうが旅行向きである。

なお、パンスティックの肌色のものが一本あれば、いそがしい旅中でも、簡単に化粧直しができて、至極調法である。

☆爪 手足の爪は旅立前に、短くしておくこと。ことに足の爪を長くしたまま旅をつづけると、靴でおされて紫色になり、脱落する心配がある。短くといつても、余り深爪を切るとバイキンが入って傷爪炎になるおそれもあるから注意が肝心である。

☆睡眠 出発の前夜は、準備のため夜ふかししたり、旅立ちの興奮のために眠れなかつたりして睡眠不足になることが多い。

寝不足のぼやつとした頭で旅のスタートを切つ

たのでは、快適な旅行も第一歩から挫折してしまう。

出発の前夜は十分に眠るようにつとめること。

そして旅の印象を新鮮に感受できるような、さわやかな気持で旅行の第一歩を踏み出すべきである。

切符の相談室

III

1 国鉄の切符

あれこれ

☆通用期間 片道乗車

券は四六キロまで一日、二〇〇キロまでは二日の通用期間である。ただし、東京と大阪附近の電車区間の内だけは相互発着になるものは、すべて通用期間は一日である。二〇一キロ以上

は、二〇〇キロまでを増すことに一日を加える。

例えば東京から静岡までは一七七キロだから二日、名古屋までは三六三キロだから三日、大阪ま

では五五三キロだから四日、鹿児島までは一四九四キロだから九日の通用期間となる。

往復乗車券の通用期間は片道乗車券の二倍となる。例えば東京・鹿児島間の往復乗車券は一八日の通用期間となる。

国鉄自動車線内を相互発着とするものは、すべて二日の通用期間。鉄道、航路と国鉄自動車線とまたがる場合や、国鉄自動車線を通過する場合には、片道乗車券の通用日数に一日を加える。

乗車中に乗車券の通用期間が切れてしまつても、乗車券は有効である。しかし途中、駅に一人下車すると前途は無効になる。

☆片道と往復 往復乗車券の運賃割引は、現在、行われていないから、片道を買つても、往復

を買つても、運賃という点では、変りはない。しかし帰り道に乗車券を買う手数料が省けるという点の便利以外、往きに途中下車などして片道の通用期間以上の日数を費し、帰りはまつすぐ帰るといふ場合は、帰りの分の通用期間まで往きに流用できらるなら、往復を買つたほうが都合がいい。

☆前売 交通公社案内所では、普通乗車券を乗車日の七日前から発売している。回遊乗車券も同様である。

☆途中下車 途中下車は原則として何回でも自由。ただ次のような場合などは途中下車が制限されている。

* 東京又は大阪附近の電車区間内相互発着の普通乗車券を使用する場合。

* 東京都区内、大阪市内、又は東京電車環状線

内発又は着の普通乗車券で、その券面に表示された都区内、市内又は環状線内にある駅に下車する場合。

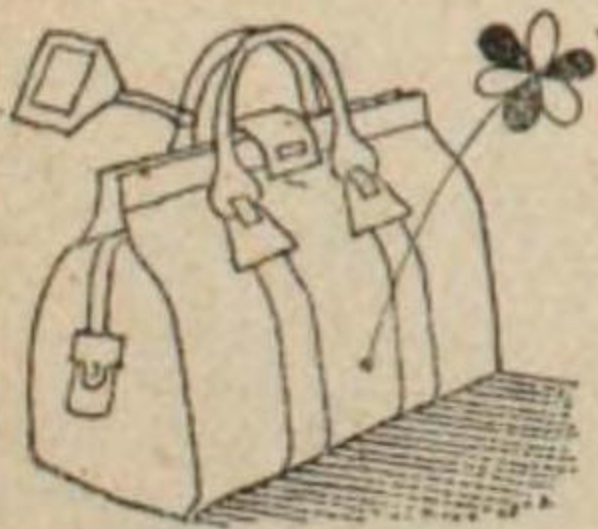
* 普通乗車券で国鉄自動車線内の駅員の配置していない駅で下車する場合。

* 団体乗車券で指定された駅以外に下車する場合。

* 特に、途中下車駅を指定してある場合。

☆二等、一等、小児の運賃 二等の運賃は三等運賃の二倍、一等の運賃は三等運賃の四倍となつている。

十二歳未満、六歳以上の小児の運賃は大人の半額である。



☆六歳未満の運賃 六歳未満のものの乗車賃

は無賃が原則だが、次のような場合は、例外として小児旅客の運賃を拂うことになっている。

* 引率者がなくて、ひとり旅行するとき。

* 乗車券の所持者に同伴される場合でも一人を

こすとき。したがって、夫妻で三人の六歳未満の子供を連れてゆくときは、一人分だけの小児の切符が必要なわけになる。

* 寝台を使用するとき。

☆運賃の計算法 国鉄の大人三等の運賃は、

* 一キロから一五〇キロまでは一キロあたり二円一〇銭。

* 一五一キロから五〇〇キロまでは一キロあたり一円四五銭。

* 五〇一キロから一〇〇〇キロまでは一キロあたり七五銭。

* 一〇〇〇キロをこえると、一キロあたり五〇銭。

となつてゐる。

例えば東京から大阪までの大人、三等の運賃がいくらになるか計算してみよう。東京・大阪間は五五三・七キロだから、その最初の一五〇キロは一キロあたり二円一〇銭の割、次に一五一キロから五〇〇キロまでは一円四五銭の割、最後の五〇一キロから五五四キロまでは七五銭の割だから、それを計算すると、

1 キロから 150 キロまでは……………

2.1 円 × 150 = 315 円

151 キロから 500 キロまでは……………

1.45 円 × 350 = 507.5 円

501 キロから 554 キロまでは……………

.75 円 × 54 = 40.5 円

計 863 円

となつて八六三円だが、端数の三円は一〇円に切上げられるので、八七〇円となる。端数の処理方

法は、一五〇キロまでは円位ごとに四捨五入し、一

五〇キロをこえると、端数は一〇円に切上げる。

さらに鹿児島まで行くとする。東京・鹿児島間

は一四九四キロ、五〇〇キロまでは大阪までの時

と同じで、五〇一キロから一〇〇〇キロまでは一

キロあたり七五銭の割、一〇〇一キロから一四九

四キロまでは一キロあたり五〇銭の割だから、

1 キロから 150 キロまでは……………

2.1 円 × 150 = 315 円

151 キロから 500 キロまでは……………

1.45 円 × 350 = 507.5 円

501 キロから 1,000 キロまでは……………

.75 円 × 500 = 375 円

1,001 キロから 1,494 キロまでは……………

.5 円 × 494 = 247 円

計 1,444.5 円

となつて一四四・五円となるが、端数を一〇円に切上げられるので、一四五〇円が運賃となる。

☆キロ当りの運賃表 運賃算

出の手續を省くために、作られて

いるのがこの表で、乗車区間のキ

ロ数がわかれば、運賃がわかる。



国鉄3等運賃表 (運賃単位円) (1等は3等の4倍)
(2等は3等の2倍)

キロ程	運賃	キロ程	運賃	キロ程	運賃	キロ程	運賃
1-7	10	292-298	530	791-803	1,050	1,726-1,745	1,570
8-11	20	299-305	540	804-816	1,060	1,746-1,765	1,580
12-16	30	306-312	550	817-830	1,070	1,766-1,785	1,590
17-21	40	313-318	560	831-843	1,080	1,786-1,805	1,600
22-26	50	319-325	570	844-856	1,090	1,806-1,825	1,610
27-30	60	326-332	580	857-870	1,100	1,826-1,845	1,620
31-35	70	333-339	590	871-883	1,110	1,846-1,865	1,630
36-40	80	340-346	600	884-896	1,120	1,866-1,885	1,640
41-45	90	347-353	610	897-910	1,130	1,886-1,905	1,650
46-49	100	354-360	620	911-923	1,140	1,906-1,925	1,660
50-54	110	361-367	630	924-936	1,150	1,926-1,945	1,670
55-59	120	368-374	640	937-950	1,160	1,946-1,965	1,680
60-64	130	375-381	650	951-963	1,170	1,966-1,985	1,690
65-69	140	382-387	660	964-976	1,180	1,986-2,005	1,700
70-73	150	388-394	670	977-990	1,190	2,006-2,025	1,710
74-78	160	395-401	680	991-1,005	1,200	2,026-2,045	1,720
79-83	170	402-408	690	1,006-1,025	1,210	2,046-2,065	1,730
84-88	180	409-415	700	1,026-1,045	1,220	2,066-2,085	1,740
89-92	190	416-422	710	1,046-1,065	1,230	2,086-2,105	1,750
93-97	200	423-429	720	1,066-1,085	1,240	2,106-2,125	1,760
98-102	210	430-436	730	1,086-1,105	1,250	2,126-2,145	1,770
103-107	220	437-443	740	1,106-1,125	1,260	2,146-2,165	1,780
108-111	230	444-450	750	1,126-1,145	1,270	2,166-2,185	1,790
112-116	240	451-456	760	1,146-1,165	1,280	2,186-2,205	1,800
117-121	250	457-463	770	1,166-1,185	1,290	2,206-2,225	1,810
122-126	260	464-470	780	1,186-1,205	1,300	2,226-2,245	1,820
127-130	270	471-477	790	1,206-1,225	1,310	2,246-2,265	1,830
131-135	280	478-484	800	1,226-1,245	1,320	2,266-2,285	1,840
136-140	290	485-491	810	1,246-1,265	1,330	2,286-2,305	1,850
141-145	300	492-498	820	1,266-1,285	1,340	2,306-2,325	1,860
146-149	310	499-510	830	1,286-1,305	1,350	2,326-2,345	1,870
150-153	320	511-523	840	1,306-1,325	1,360	2,346-2,365	1,880
154-160	330	524-536	850	1,326-1,345	1,370	2,366-2,385	1,890
161-167	340	537-550	860	1,346-1,365	1,380	2,386-2,405	1,900
168-174	350	551-563	870	1,366-1,385	1,390	2,406-2,425	1,910
175-181	360	564-576	880	1,386-1,405	1,400	2,426-2,445	1,920
182-187	370	577-590	890	1,406-1,425	1,410	2,446-2,465	1,930
188-194	380	591-603	900	1,426-1,445	1,420	2,466-2,485	1,940
195-201	390	604-616	910	1,446-1,465	1,430	2,486-2,505	1,950
202-208	400	617-630	920	1,466-1,485	1,440	2,506-2,525	1,960
209-215	410	631-643	930	1,486-1,505	1,450	2,526-2,545	1,970
216-222	420	644-656	940	1,506-1,525	1,460	2,546-2,565	1,980
223-229	430	657-670	950	1,526-1,545	1,470		
230-236	440	671-683	960	1,546-1,565	1,480		
237-243	450	684-696	970	1,566-1,585	1,490		
244-250	460	697-710	980	1,586-1,605	1,500		
251-256	470	711-723	990	1,606-1,625	1,510		
257-263	480	724-736	1,000	1,626-1,645	1,520		
264-270	490	737-750	1,010	1,646-1,665	1,530		
271-277	500	751-763	1,020	1,666-1,685	1,540		
278-284	510	764-776	1,030	1,686-1,705	1,550		
285-291	520	777-790	1,040	1,706-1,725	1,560		

2566 キロ以上は
1980 円に 1 キロ
を増すごとに 50
銭を加え、は数は
1980 円から 10 円
ごとの単位に切り
上げる。

☆特定運賃

国鉄運賃は原則的にこの表です
ぐ出てくるわけだが、実際には例外がある。

例えば、上野から仙台へ行く場合、常
磐線で行くにしても、この場合は特定運賃とい
つて、東北本線経由のキロ数の運賃によることにな
っている。

この特定運賃の区間は、次のように、全国で十
二ある。その区間内の運賃は、カッコ内の線路の
どつちを経由しても、○印をつけた線路のキロ数
によつて計算する。

* 長万部以遠(中ノ沢方面)の各駅と、岩見沢以
遠(峰延、萱野方面)の各駅との相互間 (函館本線
○室蘭本線)
* 福島以遠(金谷川方面)の各駅と、青森又は
津軽線及び北海道線内各駅との相互間 (奥羽本線
○東北本線)

* 日暮里・田端又は赤羽以遠(上野・駒込又は
十条方面)の各駅と、岩沼以遠(増田方面)の各
駅の相互間 (常磐線
○東北本線)

* 三原以遠(糸崎方面)の各駅と、海田市以遠
(向洋方面)の各駅との相互間 (山陽本線
○山陽本線)

* 岩国以遠(大竹又は岩日線方面)の各駅と、櫛
ガ浜以遠(徳山方面)の各駅との相互間 (山陽本線
○岩徳線)

* 肥前山口以遠(牛津方面)の各駅と、諫早以遠
(喜々津方面)の各駅との相互間 (佐世保線・大村線
○長崎本線)

* 谷山以遠(五位野方面)の各駅と、八代以遠
(千丁方面)の各駅との相互間 (長門本線
○肥薩線・日豊本線及び鹿児島本線)

* 鹿児島及び鹿児島・古江間航
路經由古江以遠(荒平方面又は国



分方面)の各駅と、八代以遠(千丁方面)の各駅との互相間

(○鹿兒島本線
○肥薩線及び日豊本線)

* 軍川以遠(渡島大野方面)の各駅と、森以遠

(石倉方面)の各駅との互相間

(○東森線經由函館本線
○大沼線經由函館本線)

* 岩切以遠(東仙台方面)の各駅と品井沼以遠(鹿

島台方面)の各駅との互相間

(○陸前山王線經由東北本線
○利府線經由東北本線)

* 赤羽以遠(川口方面)の各駅と、日暮里以遠

(上野又は北千住方面)の各駅との互相間

(○尾久線經由東北本線
○王子線經由東北本線)

* 西鹿兒島と八代以遠(千丁方面)の各駅との

互相間

(○鹿兒島本線
○肥薩線・日豊線)

☆ 東京都区間と大阪市間の駅発着の場合 東

京都区間又は大阪市内にある駅を發駅又は着駅とする場合で、しかも東京駅又は大阪駅からキロ数

が片道一〇一キロ以上の区間を乗車船する場合の

運賃は、すべて東京駅又は大阪駅發着のキロ数に

よつて計算する。例えば新宿と初鹿野間のキロ数

は九六・二キロであるが、東京駅からは一〇二・

四キロとなるので、そのキロ数に対する二一〇円

が初鹿野までの普通運賃となる。したがつてこの

場合、東京都区間の各駅又は大阪市内各駅から乗

車又は着駅することができる。

また東京電車環状線(東京—品川—代々木

—新宿—田端—上野—東京及び東京—

神田—代々木間)内にある各駅發又は着の場合

であつて、しかも東京駅からキロ数が片道五一キ

ロ以上の区間を乗車する場合の運賃は、すべて東

京駅發又は着のキロ数によつて計算する。例えば

品川と辻堂間のキロ数は四八キロであるが、東京駅からは五二・一になる。そこでそのキロ数に対する一一〇円が辻堂までの普通運賃となる。この場合、東京電車環状線内の各駅から乗車又は着駅することができるのはもちろんである。

☆ 安い切符の買ひ方 鉄道の運賃を計算する

キロ数というのは、国鉄の線路が連続する限り、

一本にしてそれを通算する。だから長距離にわた

る切符を買つたほうが割徳になるというのは、五

〇一キロ、一〇〇一キロとなるに従つてぐつと割

安になるからである。

例えば東京から広島まで行つて下車し、また広

島から鹿兒島まで行くでしょう。

その場合、東京から広島までの切符を買い、ま

た広島から鹿兒島までの切符をかうのと、東京から鹿兒島までつづけてかうのと、どのくらい運賃にちがひがあるか。

東京・広島間は八九二・一キロで、千百二十円

広島・鹿兒島間は六〇二・五キロで九百円、合

せて二千二十円の運賃となる。

ところが東京・鹿兒島間を連続してかうと、一

四九四・六キロで千四百五十円で、連続してかう

方が五百七十円安くすむ。

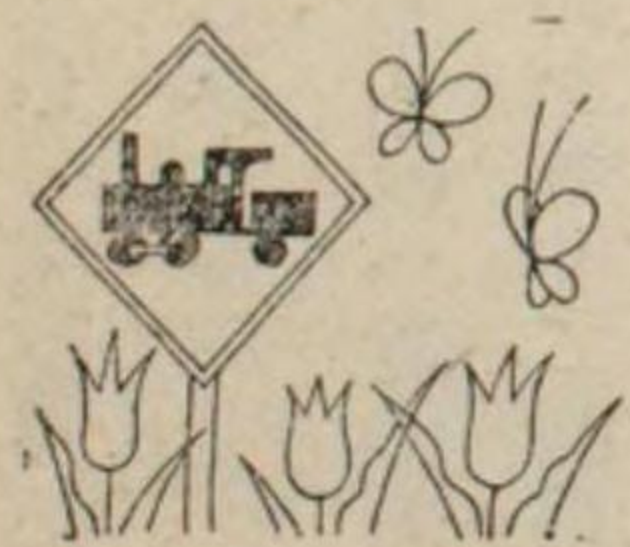
だから長距離旅行の場合はできるだけ連続して

切符をかうべきで、ちびちび分け

てかうのは大損である。

連続して買えば、キロあたりの

高い一五〇キロまでの運賃を数度

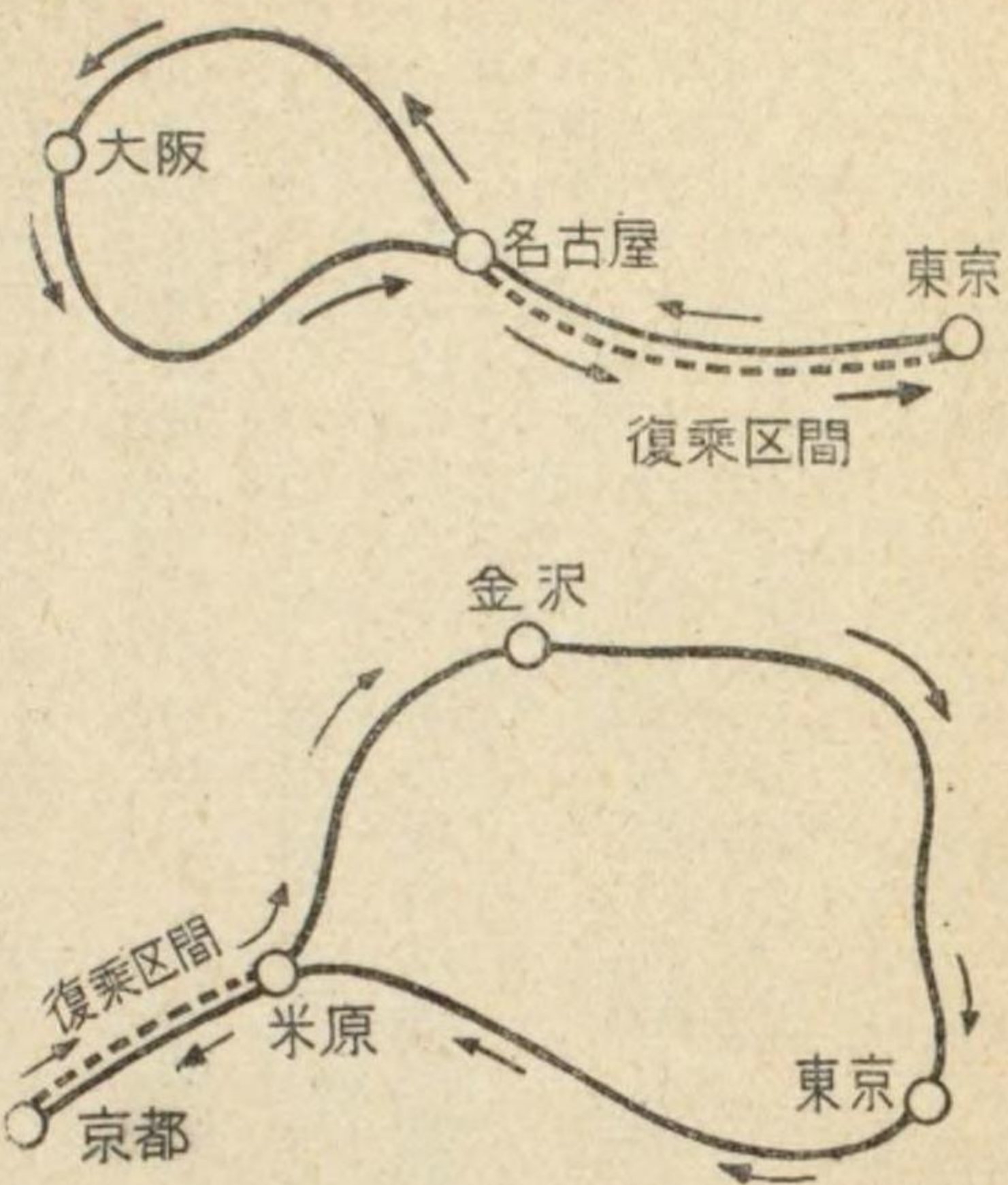


払う必要もなくなるだろうし、運賃の安い一〇〇一キロ以上の分も活用できようからである。

☆回遊式で 例えは信越、北陸線で東京から金沢へ行つて帰る場合、東京から金沢までは四七二・八キロで、その運賃は七百九十円だから、往復にして千五百八十円である。

ところが同じ線を往復しないで、東京から金沢へ、信越線、北陸線経由で行き、金沢から北陸線で米原へ出て、東海道線で東京へ帰るとしよう。この場合、一つの環状線をめぐる回遊だから一本計算の安いキロが活用されるので、一一〇二・六キロの運賃が千二百五十円で往復を買つより三百三十円安くてすむ。

したがって時間が余裕のある限り、なるべく回



算されるから、通用期間はかなりゆつたりする。

☆環状線から支線への復乗 またこういう場合の復乗もある。例えは前に述べた東京・金沢の回遊の場合、米原まで来て、そこからちよつと京都へ往復し、また米原へ戻つて来てから、東京

遊式の切符で旅行するほうが経済だし、往復同じ線路を通らずに済むから、旅の楽しみも多い。

☆回遊と復乗 例えは東京から大阪へ行つて来るとする。東海道線で往復するのを避けて回遊式の旅をとるとすれば、まず東海道線で大阪へ出、天王寺から関西線で名古屋まで出て、そこから東海道線で東京に帰ることとなる。

ところがこの回遊では、37頁の上図のように東京・名古屋間を復乗していることになる。こういう場合は、運賃の一本計算は復乗のはじまるところで打切られて、名古屋から東京までの運賃が新たに計算されて加わることになる。

この回遊の切符を交通公社にたのんで、回遊乗車券にしてもらえば、復乗区間の通用期間まで合

へ戻るという場合。つまり37頁の下図のように、

環状をなしている東京—米原、米原—東京の回遊コースに、米原—京都、京都—米原という支線の復乗が付加わつた格好である。

こうした場合、二つの切符の作り方があつた。一つは、東京から米原を経て京都までで、一旦打切り、あらためて京都から米原を経て東京へ戻るというやり方。

も一つは東京—米原—東京の回遊式の切符と、支線の米原—京都、京都—米原間の片道ずつ二枚の特殊補充乗車券を発行してもらふかである。

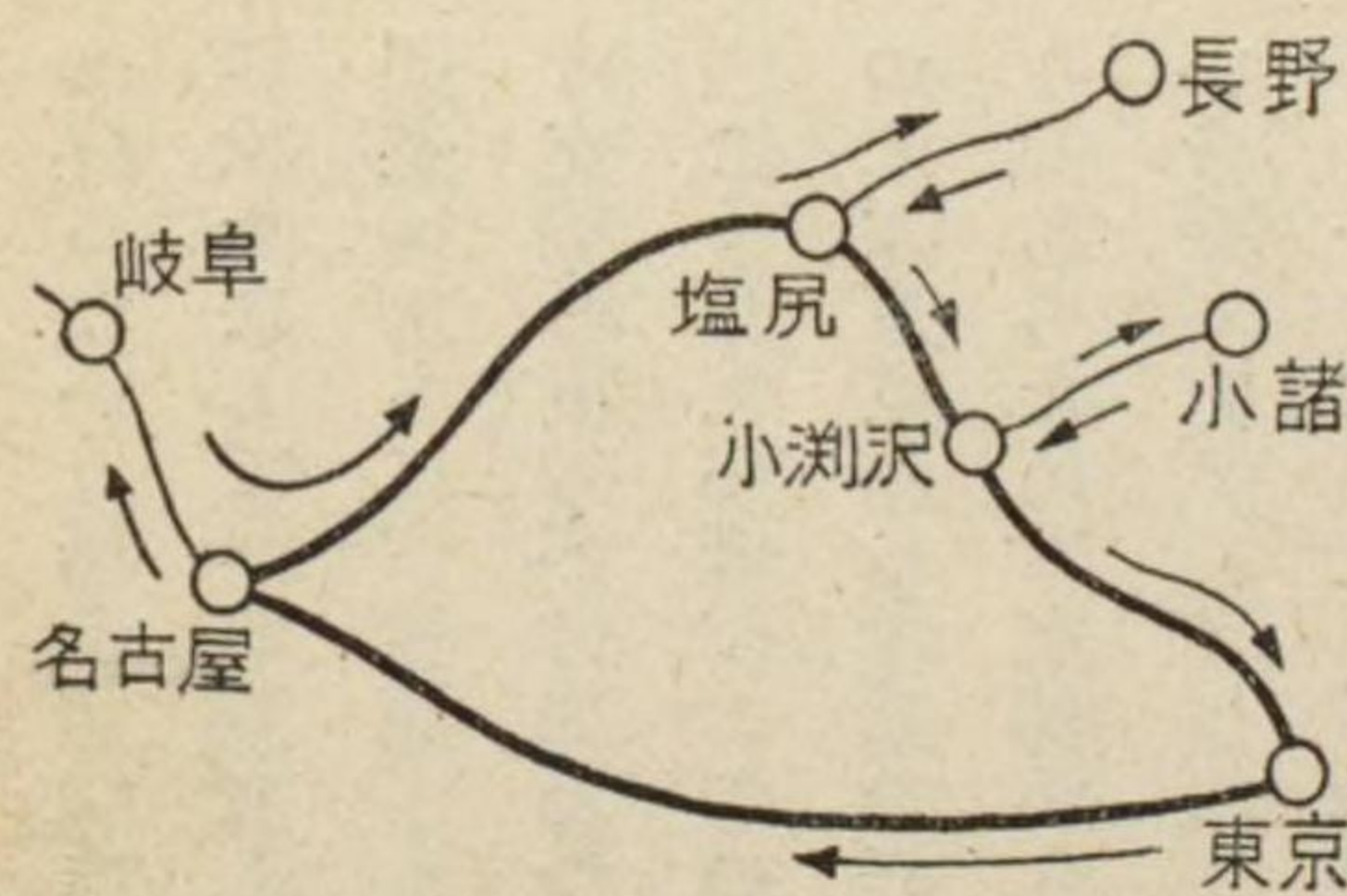
前者のように東京—米原—京都、京都—米原—東京の二



本立ての運賃を加算したものと、後者のように東京—米原—東京の回遊運賃と特殊補充乗車券の運賃とを加算したものと、どつちが安くつくかは、場合によつて違ふのはいうまでもない。交通公社に相談すれば、安くあがるほうをすすめてくれよう。

しかし問題は安上りだけでなく、通用期間がまた問題で、高くついても、通用期間が長いほうがいい場合もあるのだから、その場合は通用期間の長いほうを選ぶべきである。

ここでちよつと特殊補充乗車券の説明を加えておく。その通用期間は最低七日間で、従つてキロ数によつては八日、九日とのびるのはいうまでもない。回遊乗車券にもなつて発行されるのだ



が、回遊乗車券は通用日の七日前に売出されるが、特殊乗車券のほうは、通用日までさらに七日の余裕がある。つまり十四日前に発行されるわけになつてゐる。

環状コースから、何か所も支線復乗をする必要がある場合がある。例えば東京から名古屋へ出て、中央線経由で東京へ戻る場合、途中名古屋から岐阜まで往復し、また塩尻から長野へ往復し、さらに小淵沢から小諸へ往復するような場合である。こ

ういう場合も同様に、回遊式の切符と何枚かの、特殊補充乗車券でゆくか、それとも、東京—名古屋—岐阜、岐阜—名古屋—塩尻—長野、長野—塩尻—小淵沢—小諸、小諸—小淵沢—東京のように旅程をいくつかに区切つて回遊乗車券を作つてもらふか、二つのやり方がある。

単に運賃だけの問題ではなくて、途中滞在するなど通用期間を長くとりたい場合もあるから、どちらを選ぶか、または両方式の混用でゆくか、複雑な場合は交通公社に相談したほうがいい。

☆途中にバス、汽船、私鉄がはさまる時 国鉄の旅行コースの間に、バスや汽船や私鉄などが挟まつているときがある。その場合でも、前後の

国鉄は連続しているものとみなして、一本に運賃は計算される。そしてそれに、バス、汽船、私鉄(連帯扱をしているものに限つて)などの運賃が合算される。

☆自駅発以外乗車券 交通公社にたのめば、東京にいながら、大阪発鹿児島行きの切符というように、他駅発の切符を発行してもらえる。自駅発以外乗車券といつてゐるが、通用日の十四日前当日をいれて十五日前から発行する。例えば遠方から人を招くような場合でも、金を送るかわりに、この切符を発行してもらつて送つてやればいゝのだから調法である。

☆異級乗車券 例えば東京か



ら青森まで行く場合、仙台までは道づれの関係で二等に乗りたい、それから先は三等で、というような場合は異級乗車券を発行してもらえばいい。

この場合の運賃は、全乗車区間に対する下級旅客運賃に、上級乗車区間に対する上級旅客運賃と下級旅客運賃との差額を加えた金額である。

異級乗車券の切符には、上級乗車券の切符を使う。例えばさきの仙台までは二等、それから先、青森までは三等の場合でも、切符は二等の切符だから、体裁はよろしい。見送りや出迎への人にみえを張る必要がある場合などに、至極都合がいい。

異級乗車券で、もつともよく利用されているのは、東京・札幌間のもので、汽車は二等、連絡船

だけは一等というのであつて、これははじめから印刷して準備してある。

☆急行券と準急行券 急行列車や準急行列車を利用する場合、急行券や準急行券が入用なのはいうまでもない。

ふつうの急行券や準急行券で、どの急行列車や準急行列車にも乗れる。急行券と準急行券の通用期間は二日、交通公社の案内所では発行日の七日前、発行日をいれて八日前から発売する。

なお急行券、準急行券はよその駅からでも買える。急行列車に乗り継ぐ場合も、その列車の急行券を、乗車前で前もつて求めることができる。

ふつうの急行の料金は、
*三〇〇キロまで「三等」二〇〇円「二等」四

〇〇円「一等」六〇〇円

*六〇〇キロまで「三等」三〇〇円「二等」六

〇〇円「一等」九〇〇円

*九〇〇キロまで「三等」四〇〇円「二等」八

〇〇円「一等」一二〇〇円

*一二〇〇キロまで「三等」五〇〇円「二等」一

〇〇〇円「一等」一五〇〇円

*一二〇一キロ以上「三等」六〇〇円「二等」一

二〇〇〇円「一等」一八〇〇円

準急行の料金は、

*一五〇キロまで「三等」六〇円「二等」一二

〇円「一等」一八〇円

*三〇〇キロまで「三等」一〇〇円「二等」二

〇〇円「一等」三〇〇円

*六〇〇キロまで「三等」一五〇円「二等」三

〇〇円「一等」四五〇円

*九〇〇キロまで「三等」二〇〇円「二等」四

〇〇円「一等」六〇〇円

*九〇一キロ以上「三等」二五〇円「二等」五

〇〇円「一等」七五〇円となっている。

なお小児の料金は大人の半額である。

急行自動車の料金は五〇円。

☆特別急行券 特別急行列車には特別急行券が要り、指定急行列車以外には乗れない。

特急券は七日前、当日を入れて八日前から発売される。

特急券の料金は、つぎのように定められている。



* 六〇〇キロまで〔三等〕六〇〇円〔二等〕一

二〇〇円〔一等〕一八〇〇円

* 九〇〇キロまで〔三等〕八〇〇円〔二等〕一

六〇〇円〔一等〕二四〇〇円

* 一二〇〇キロまで〔三等〕一〇〇〇円〔二等〕

二〇〇〇円〔一等〕三〇〇〇円

* 一二〇一キロ以上〔三等〕一二〇〇円〔二等〕

二四〇〇円〔一等〕三六〇〇円

なお小児の料金は半額となつている。

☆寝台券 寝台券は乗車日の七日前、その日

を入れて八日前から前売りする。青函連絡船の汽船寝台券は、その気船の接続列車出発の三日前から売り出す。

列車の寝台は、普通室の場合はずきのような料

金である。

* 二等〔上段〕一〇〇〇円〔下段〕一三〇〇円

* 一等〔上段〕一五〇〇円〔下段〕二〇〇〇円

特別室の場合は、

* 二等〔上段〕一二〇〇円〔下段〕一五〇〇円

* 一等〔上段〕二二五〇円〔下段〕三〇〇〇円

である。

青森—函館間の汽船の寝台は、

二等〔上段〕四〇〇円〔下段〕五〇〇円

となつている。

なお小児も寝台使用の場合、大人並みの料金である。

寝台の番号は上段が奇数で、下段が偶数で呼ばれる。これを心得ておくと、寝台を指定するとき

に便利である。

☆特二券と特二乗船券 特別二等車に乗るに

はふつうの乗車券以外に特別二等車座席指定券が要る。指定券は出発日の七日前、当日を含めて八日前から発売される。

特別二等車の座席は、窓ぎわが奇数番号で呼ばれ、通路がわは偶数番号であるが、これを知っていると指定券を求めるとき調法である。

特二の指定券の料金はつぎのようになつてい

* 三〇〇キロまで……二五〇円

* 六〇〇キロまで……三五〇円

* 九〇〇キロまで……四五〇円

* 一二〇〇キロまで……五〇〇円

* 一二〇一キロ以上……六〇〇円

小児が特二座席使用の場合は、大人並みの料金が入用である。

なお、宇野—高松連絡航路には特別二等船室ができていて、その券の料金は五〇円である。

☆着席券 特に指定した列車に始発駅で乗車する際、発駅着席券を買つておくと座席が確保されているので、列車出発五分前までにふらりと行けばよいのだ。着席券は乗車日の七日前、当日を含めて八日前から売りだされる。

着席券を出す指定されているのは上野発の混雑を予想される列車で、常磐線の青森行夜行急行(二〇三列車)、奥羽本線の秋田



行夜行急行（四〇一列車）、上越線の新潟行夜行準急（七〇五列車）、信越線の直江津行夜行準急（三〇七列車）、北陸線の大坂行夜行急行（北陸号、六〇一列車）などである。

発駅着席券の料金は、三等五〇円、二等一〇〇円、これで座席が不安なく確保されるわけである。

☆切符の払い戻し 何かの事情で、旅行を見合わせる場合がある。その際すでに買い求めた切符の処置はどうなるか。

普通乗車券は、それにまだ鉄が入っていないで、そして通用期間内の場合は、一枚について十円の手数料を払って、すでに支払った運賃料金の払い戻しを受けることができる。

しかし列車、汽船または自動車指定されている場合は、券面に表示されている出発時刻の二時間前までに請求する必要がある。

普通の急行券や準急行券でも、まだ鉄が入っていないうちで、通用期間内の場合は、一枚につき十円の手数料で払い戻しをする。

しかし乗車列車を指定してある場合は、次の手数料を差引いた残額を払い戻す。出発時刻の二時間前までに請求した時は急行料金の五割、三日前までに請求した時は二割が手数料と定められている。

寝台券や、特別急行券、特別二等車券、などの場合は、出発する日の三日前までに請求した時は料金の二割、出発時刻の二時間前までに請求した

時は料金の五割をそれぞれ手数料として、残額を払い戻す。

☆旅行を延期する場合 病気などで旅行を延期したい場合は、医師の診断書を添えて駅長に申し出れば、乗車券の通用期間の延長ができる。

☆乗車券を紛失した場合 乗車券や急行券などを紛失した場合は、あらかじめ相当の運賃料金を支払って求め直さねばならない。しかし寝台券を所持している場合だけは、運賃料金を別に支払わなくとも、再交付が受けられる。

もし後になつて紛失した乗車券を発見した場合は、列車の車掌の証明を受けて、下車駅で運賃の払い戻しができる。

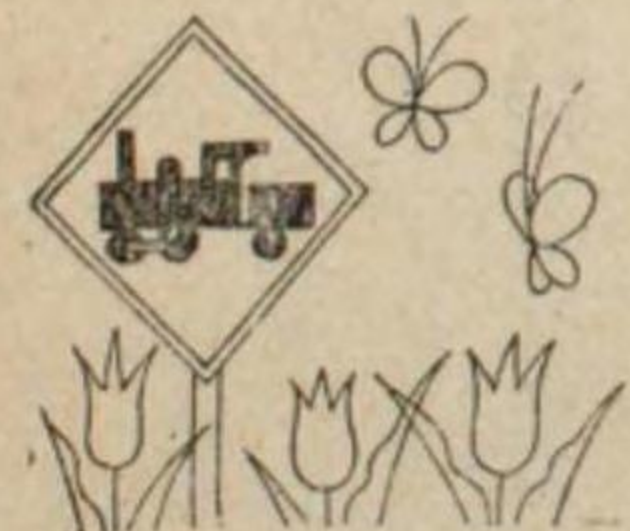
☆急行料金の払い戻し 乗つた急行列車が、

降りるはずの駅に二時間以上も遅れて着いた場合は、急行料金の払い戻しがうけられる。

また乗るはずの急行列車が、乗る駅に二時間以上遅れて着いた場合も、戻してもらえらる。

もつとも急行券を買う時、すでに二時間以上遅れていることが分っている場合はこの限りでない。

☆乗車券と手荷物 乗車券面の区間内なら、特殊のものを除いて手荷物を一人三個まで託送できる。しかし一個の長さは二メートル、容積は〇・五立方メートル、重量は三〇キログラムをこえてはならない。破損しやすいものや荷造りの不完全なものもだめである。



2 私鉄と私バス

☆運賃、私鉄の運賃は国鉄とは独自のキロ計算をしているのがふつうで、国鉄の運賃計算をそのままに適用できない。

しかし通用期間その他、大体国鉄の規則に従っているものと見て間違いがない。

☆連帯線と非連帯線 私鉄、私バスには国鉄線と連絡運輸をしている連帯線と連絡運輸扱いをしない非連帯線とがある。

連帯線の場合は、国鉄を通して切符が買えるが、運賃のほうは連帯線独自の運賃と国鉄運賃の加算となる。

☆私鉄の特急料金 私鉄にも最近ロマンス・

カーの特急がさつそうと走るようになった。それらの料金は、

* 小田急(新宿—湯本) 一〇〇円

* 東武(浅草—東武日光—鬼怒川温泉) 一五〇円

* 近鉄(名古屋—上本町) 一二〇円(名古屋)

——中川) 七〇円(名古屋—山田) 一〇〇円

○特別室(展望車) 座席指定料金(上本町—

宇治山田) 一〇〇円

山田・中川) 一〇〇円
私鉄の急行には、急行券は不用である。

3 船と航空機の切符

国鉄に属している航路の乗船券は、ふつう三、二、一等の三等級に分れている。もつとも、一等

を欠く場合も、一、二等のない線もあるし、特別二等のある線もある。ところが会社航路の乗船切符は、四等級ぐらいに分れているのがふつうである。近距離の連絡船などは等級の別はない。

例えば大阪—別府航路では、三等、和二等、洋二等、一等の四段に分れているし、東京—釧路の定期航路では、三等、特別三等、二等、一等の四段となっている。なかには東京—大島航路のように、三等、指定席、二等、一等、特一等と五段になつているものさえある。

汽船の場合は、国鉄のようにキロあたりの平均運賃というものはなく、会社と航路によつて運賃はまちまちである。

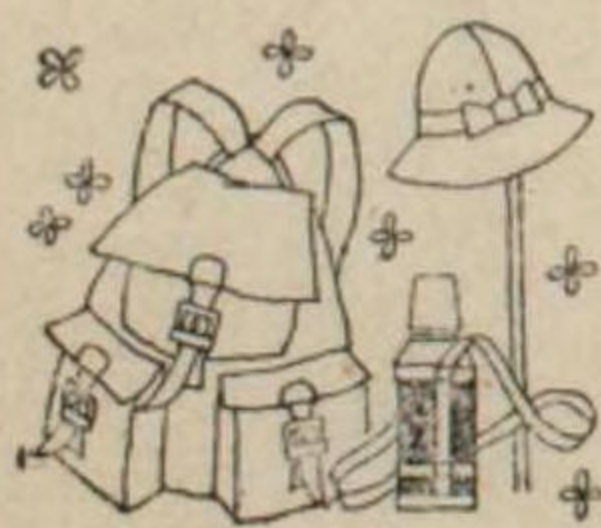
しかし例えば四段階A、B、C、Dとなつてい

る場合、BはAの二倍、Cは三倍、Dは五倍とふんでおけば大した間違いはない。

小児の運賃は十二歳未満は大人の半額、四歳未満は一家族につき一人は無賃、二人以上は大人の運賃の四分の一というのがふつうである。

☆乗船申込み 乗船切符はふつう出帆日の一週間前から発売している。国鉄の乗車券を求めるときには、行先さえいえばよいのだが、乗船切符の場合は、乗船申込書に、氏名、年齢、男女別、職業、本籍、現住所、上陸港、行先地、住所などを記入して申込まねばならない。

乗船切符にはふつう氏名が記入されているから、国鉄の券のようには他人に譲渡できない。



☆乗船券の払い戻し 乗船切符を求めてか

ら、乗船を見合わせる事になつたら、必ずその船の出帆前に旅客運賃の払い戻しを受ける必要がある。

払い戻しには一人につき、三等十円、その他の等級は運賃の二割五分を取消料として取られるのがふつうである。

☆乗船切符を紛失した場合 乗船切符を紛失した場合は、改めて運賃を支払つて乗船切符を再購入しなければならない。

その時、証明書をもらつと、後日紛失した切符を発見した場合、運賃の払い戻しができる。

その請求は切符発行日から三十日以内に限る。この際手数料として運賃の一割が取られるのがふ

つうである。

☆乗船切符と手荷物 船室にはふつう旅行に必要な手回り品二個までは持込みができるが、それ以外のものは手荷物にしなければならない。乗船切符を提示すれば、ある程度までの荷物は手荷物扱いをしてくれる。

☆等級のない航空券 航空券には等級がない。これは等級のやかましい海の旅といちじるしい対照である。海外への航空旅行については「外国旅行案内」(交通公社編)にゆずり、空の旅を国内に限り、日本航空の航空券について見れば。例えば札幌と福岡間の片道の運賃は二万一千七百二十円だが、往復の場合は復路が一般に二割引となり、往復運賃は三万九千九十六円ですむ。

航空券は、搭乗の一週間前から日本航空の営業

所または代理店で発売している。座席は、航空券を買つと同時に保留されることになる。

同伴の三歳未満の小児で座席を使用せず膝の上に乗せる場合は、一人に限り無賃、三歳未満の子供でも、座席を使用する場合、それに三歳以上十歳未満の小児は、大人の半額となつてゐる。

☆搭乗の取消し 航空券を求めて後、都合によつて搭乗を中止する場合には、日航社の営業所または代理店に取消しの通知をする必要がある。

通知が、乗るはずになつてゐる機の出発の二十四時間前までなら運賃の全額、会社の指定した集合時間までなら運賃の四分の三、集合時間を過ぎ

てももらえる。しかし航空機の出発後の通知では、払い戻しはきかなくなる。

☆飛行中止のとき 天候不良その他止むをえない事情で欠航の場合は、運賃の全額を払い戻される。

途中不時着して、前途の航空が不可能になつた場合、それに運航が遅延したため連絡機との接続が不可能になつた場合は、未搭乗区間の運賃全額を払い戻してもらえる。

☆回数券 十回分の運賃を払い込めば、十二回分の回数航空券が利用できて、割得になる。

☆家族割引 全線にわたつて 夫君が同伴する夫人の運賃は三割



引、夫妻の同伴している児童は十八歳まで半額の特別割引がある。

☆航空券と手荷物 身回り品以外、一人一五キロまでの小荷物は、航空券の提示によつて無償に扱われる。

4 交通公社発行の券るい

大金の旅費をもたずに、小遣だけで気軽に旅行する方法としては、交通公社の発行する旅行小切手といろいろの券るいを利用するに限る。

旅行小切手のことには前に述べたが、公社発行の券るいには、次のようなものがある。

☆JTB旅館券 交通公社が国鉄推薦旅館と協定して発行する宿泊と食事用の証票で、ふつう

にいうクーポン券である。

公社案内所に旅館券の発行を依頼すると、案内所は旅館に連絡して、宿泊の日時、料金その他希望通りの条件で予約した上で、旅館券を発売してくれる。

旅館券には一切の予約事項が記入されていて、これが現金に代つて支払いの役目を果す。

これを持つて行けば、満員で断られる気づかいもなく、茶代の心配も要らず、多額の現金を持ち歩かずにすむ。旅館券の料金には税金も含まれてゐるから、その心配も無用である。

なお予約旅館を指定せずに、その土地ならどこでも使える土地名だけを指定した旅館券も、希望によつては発行してもらえらる。

一旦発行してもらつた旅館券をキャンセル（取消す）するときはどうしたらいいか。

すぐ、も寄りの交通公社案内所に申し出て旅館に連絡してもらつう。

* 予約日時の三日前までに取消しの申出をすれば……券面預り料金の全額

* 予約日時の二日前以降に取消しの申立てをすれば……券面預り料金の八割に相当する額

* 列車、汽船などの事故で取消したときは……券面預り料金の全額

の払い戻しが受けられる。
ただし一件について十円の手数料と、通信実費が差引かれる。

☆船車券 船車券とは、国鉄を除いた会社線

（私鉄、電車、汽船、バス、ハイヤー、ケーブルなど）の乗車船用として、交通公社が発行する証票である。

例えば京都で東武鉄道の乗車券を予め買っておきたいというような場合、発行されるもので、この船車券はその会社線の乗船車に当つては、一般の乗船、乗車券と同様に取扱われる。

☆観光券 社寺佛閣の拜観、観劇その他旅行中の見学、慰安、娯楽用として交通公社が発行する証票が観光券である。これを求めておけば旅先で一々支払い、購入の手数も省け、ことに団体旅行には至極便利である。



5 切符のしまい場所

短距離の旅行なら、洋服の切符ポケットに入れてもすむ。しかし長距離の旅行の場合は紛失の危険もある。それに切符の枚数も何枚にもなつてかさばるし、回遊券の場合などはとても入り切らないだろう。

定期入れ、札入れなどに入れて、内ぶところに入れるのが安全であろう。婦人の場合はハンド・バッグのポケットと、大体場所がきまつている。

切符はしまいになくしやすすいもの。大事をとつてしまいこみながら、検札などの場合、大あわてすることがしばしばある。いつも一定の場所にしまつておく習慣をつけておくことが望ましい。

目下使用中の切符、あるいは間もなく使う切符と、使用までに間のある切符とを分けておくほうがいい。前者は身近くしまつておくし、後者はカバンなどに納めておいたほうが安全である。

乗物心得帳

III

1 列車の場合

☆列車の選び方 混む

列車をねらうのはスリぐらいのもの。誰でもすいた列車をのぞむのは人情である。同じ運賃を払う以上、すいた列車でのんびり旅行したいのは当然のはなし。

同じ東京・大阪間でも、わりにすいた列車というも

のはかならずある。めくら減法に乗りこまずに、駅か交通公社の案内所に問い合せてみるのが肝心である。

しかし、すいた列車一辺倒ではすまない場合もある。ある目的地にタイムリーに到着することが必要な場合がそれだ。

例えば社用で東京から福岡へ出張するとする。用事はどうしても午前中に片付けなければならぬとなると、どんなに混んでいても、博多に朝のうちに着く列車を選ばざるを得ない。このタイムリーに着くこと、そしてできればすいていること、この二つが列車を選ぶ規準である。

☆夜行と昼行 夜行列車の旅は疲れることはたしかである。寝台か特別二等が利用できれば別として、三等の夜行は、車中でもぐつすり眠れる自信のある人以外は、つかれるもの



と見ておくべきで、翌朝から仕事や見学をはじめ
る場合、推賞はできない。

しかし、いわゆる列車ホテルで、宿賃を浮かせ
る目的なら、はなしは別である。

はじめて通る線である場合は、車窓に未見の景
色を送迎できる、昼間の汽車旅行を楽しむにこし
たことはない。

☆急行と緩行 普通列車を「鈍行」などと冷
笑して、何でも急行、急行よりは特急と、速い汽
車ばかり乗りたがる人がある。

近代人は誰でも多少スピード・マニアにかかっ
ているから、無理もないとはいえるが、目的地に
ついてから、何時間も時間をもてあますくらいな
ら、タイムリーに着く普通列車すなわち「緩行」

を選ぶべきだ。

何も急行料金を浮かせようというだけではなく
緩行は、「路傍の小石のように黙殺」されるに違
いない小駅にも親しめるからだ。乗り降りする土
地の人々の生きた姿に接しうるのも緩行の功德で
ある。急行では都市から都市へと旅するだけであ
つて、ほんとうの国土の旅行にはなり得ない。

地方地方の自然環境、農山漁村の人々の生活様
式などを車窓から味わうためには、急行は余りに
スピードがありすぎる。

☆すいている特殊列車 特殊列車というのが
東京—佐世保(下り一〇〇一・一〇〇五の二列
車、上り一〇〇二・一〇〇六の二列車)上野—
青森、函館—札幌間(下り一二〇一、上り一二

〇二列車)を走っている。

もともと進駐軍の専用列車だったが、今は一般
に開放されている。この列車は時によつて、一般
向の切符がない場合もあるが、大体すいている。

一、二、三等編成の急行列車で、一、二等寝台
と食堂がついている。切符は八日前から買えるか
ら、交通公社案内所に問合せてみるといい。

☆列車の名称 特急、急行、準急などに列車
の名がついているものがある。そのうち、主要な
のは知つておくと便利である。

- つばめ(東京—大阪、下り一、上り二)
- はと(東京—大阪、下り三、上り四)
- かもめ(京都—博多、下り五、上り六)
- 明星(東京—大阪、下り一一、上り一二)

- 銀河(東京—神戸、下り二三、上り二四)
- 彗星(東京—大阪、下り一五、上り一六)
- 安芸(東京—広島、下り二一、上り二二)
- せと(東京—宇野、下り二三、上り二四)
- 阿蘇(東京—熊本、下り三一、上り三二)
- げんかい(東京—博多、下り三三、上り三四)
- きりしま(東京—鹿児島、下り三五、上り三六)
- 雲仙(東京—長崎、下り三七、上り三八)
- 筑紫(東京—鹿児島、下り三九、上り四〇)
- 有明(門司港—熊本、下り一〇七、上り一〇八)
- 大和(東京—鳥羽、下り二〇一、上り二〇二)
- 一、上り二〇二)
- たかちほ(東京—都城、下り五〇一、上り五〇二)



いずも（大阪—大社、下り七〇一、上り七〇二）

みちのく（上野—青森、下り二〇一、上り三二〇二）

〇二）

青葉（上野—仙台、下り二〇一、上り二〇二）

きたかみ（上野—青森、下り三二〇五、上り二〇二）

〇二）

越路（上野—新潟、下り七〇一、上り七〇二）

北斗（上野—青森、下り二〇三、上り二〇四）

鳥海（上野—秋田、下り四〇一、上り四〇二）

北陸（上野—大阪、下り六〇一、上り六〇二）

日本海（大阪—青森、下り五〇一、上り五〇二）

高原（上野—直江津、下り三〇五、上り三〇六）

アルプス（新宿—長野、下り四〇七、上り四〇八）

黒潮（白浜口—難波天王寺、下り、日曜三六三、

上り、土曜三四〇〇）

熊野（新宮—天王寺、下り一〇五、上り一〇六）

ゆのくに（大阪—金沢、下り、土曜三五〇五、

上り、日曜三五〇六）

はつしま（東京—伊東、下り、土曜三八一九）

あまぎ（東京—伊東修善寺、下り、土曜三八二一、

上り、土曜三八三八）

いこい（東京—伊東修善寺下り、土曜三八〇一、上り

休日三八〇二）

いでゆ（東京—伊東修善寺、下り三八二三、上り三

八二四）

大雪（函館—旭川、下り一、上り二）

まりも（函館—根室、下り三、上り四）

石狩（小樽—名寄、下り五、上り六）

エルム（室蘭—札幌、下り二〇五、上り二〇六）

せと（高松棧橋—宇和島窪川、下り五、上り六）

南風（高松棧橋—高知、下り一〇五、上り一〇六）

〇六）

☆列車番号 列車にはおのおの番号がついて

いる。これを心得ていると万事に都合がいい。

下りのつばめが一列車で、上りのつばめが二列

車。これでも分るように下り列車の番号はすべて

奇数で、上りはすべて偶数である。

全国の列車が、みんな違った番号がついていれば、一目瞭然できもちがいいが、世の中に同名異人があるように、列車にも同番号異列車があるから注意を要する。

例えば、東京—大阪間のつばめが、一、二列

車なのに、函館—旭川を走っている大雪も一、

二列車を名乗り、高松棧橋—宇和島窪川間のせとが

五列車であるのに、小樽—名寄間の石狩もおな

じく五列車なのである。

一般にいつて、一千台の数字のつくのは臨時列

車である。特殊列車は一〇〇一、一〇〇二のよう

に千台であるが、これも本来、臨時列車だからで

ある。

東北本線は百番台、常磐線は二百番台、信越線

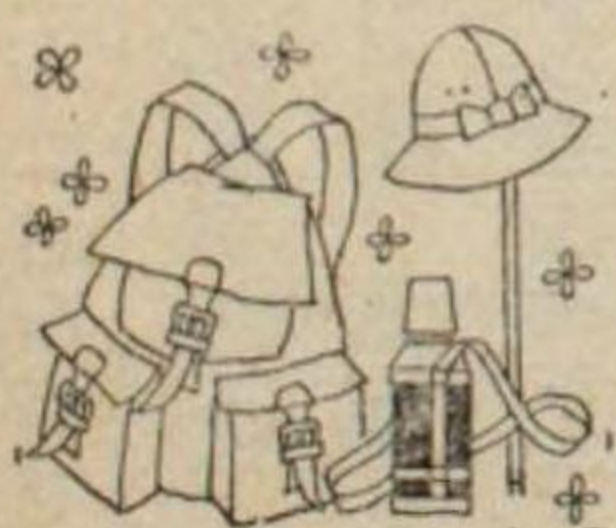
は三百番台、中央線は四百番台、上越線は七百番

台がふつうだが、あながちそうば

かりとは限らない。

東京発を見ると、一列車から四

列車までが特急。十台は大阪止



主要旅客列車編成

イ=一等車 ロ=二等車 □ハ=二・三等合造車 ハ=三等車
 ネ=寢台車 ニ=荷物車 シ=食堂車 ユ=郵便車 テ=展望車
 特イネ=一等寢台特別室 特ロ=特別二等車
 (例 イネ=一等寢台車 イテ=一等展望車 ハシ=三等食堂合造車)

東
海
道
・
山
陽
・
九
州
線

← 特急1列車大阪行	特急2列車東京行(つばめ)			
ハニハハハロロシロロイテ				
← 特急3列車大阪行	特急4列車東京行(はと)			
ハニハハハロロシロロイテ				
← 特急5列車博多行	特急6列車京都行(かもめ)			
ハニハハロロシロロハ				
下り	上り			
← 急行11列車大阪行(明星)	(明星)急行12列車東京行→			
ニニユ特ロ特ロハハハハハハハハ				
← 急行13列車神戸行(銀河)	(銀河)急行14列車東京行→			
ニ特イネイネロネロネ特ロ特ロハハハハハハハハニ				
← 急行15列車大阪行(彗星)	(彗星)急行16列車東京行→			
ニイネロネロネ特ロ特ロハハハハハハハハハ				
← 急行31(501)列車熊本行(阿蘇)都城行	(阿蘇)急行32(502)列車東京行→			
ハニニ特ロハハハハハハハハハハハハハハ				
東京-門司	(*ユ---31列車のみ連結)	東京-都城	京都-都城	京都-大分
東京-博多	(*ニ---32列車のみ連結)			
← 急行33列車博多行(げんかい)	急行34列車東京行→			
*ユニ特ロハハハハハハハハハハハハハハ				
東京-門司	(*ユ---34列車のみ連結)	京都-門司		
← 急行35列車鹿児島行(きりしま)	(きりしま)急行36列車東京行→			
ニイネロネ特ロ特ロシハハハハハハハハハハハハ				
東京-博多	東熊東下京下	東本京岡都岡		
← 急行37列車長崎行(雲仙)	(雲仙)急行38列車長崎発東京行→			
*ニニユロネ特ロ特ロハハハハハハハハハハハハ				
門京東長東門東博東佐	(*ニ---38列車のみ連結)	東一佐東鳥京鳥	京一徳京瀬都福	
← 急行39列車博多行(筑紫)	(筑紫)急行40列車東京行→			
ユニイネロシ特ロハハハハハハハハハハハハ				
東京-博多	東京-博多			
← 急行21列車広島行(安芸)	(安芸)急行22列車東京行→			
ニ特ロハハハハハハハハハハハハハハ(*ハ---東京-岡山)				

り、二十台は山陽線止り、三十台になるとずつと足が伸びて九州にまで達している。東海道線の中途止りには三百台の列車が多い。

☆車輛の選び方 列車が衝突する場合、機関車から数輛が顛覆したり、追突の時は後部の何輛かが破壊される実状から、この部分への乗車は危険が多い、よろしく中央の車輛を選んで安全を計るべきだというものもある。

しかし鉄道従業員が平気でかような車輛に身を委ねており、高級車も前後に連結されているところを見ても、あまりこれは気にする必要はなからう。

食堂車の連結されている列車の場合、食堂車に近い車を選ぶと、食堂に通うのには便利ではある

が、一方食堂車に通う人がひんばんに通るので、わずらわしいから、それも考える必要がある。とにかく、長距離旅行の場合などは、でたらめでなくて、一応、車輛を選んでから乗るべきである。例えば特急のはと、つばめの場合などは、二等乗客の場合だが、九号車を選ぶがいい。それは後部車から二輛目で、後についているのは一等の展望車だから、落着いた気分でいられるだろう。

☆主要列車の車輛編成 全国を走っている主要列車の車輛の編成はつぎのようになっている。

特急、寢台車、特二、着席券のある列車などの場合は、切符を買うとき、車輛の指定ができるわけであるから、何号車が一番好ましいかを予め研究しておくべきである。

東海道・山陽・九州線	←急行201列車 湊町行(大和) (大和)急行202列車 東京行→ 二 ハ ハ ハ ハ ハ ハ 特口 口 特口 ハ ハ ハ ハ ハ ハ	東京一名古屋 東京一鳥羽
	←急行23列車 宇野行(せと) (せと)急行24列車 東京行→ 二 *二 ハ ハ 特口 特口 口 ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ	東京一米原 東京一大社 (*二…23列車のみ連結) 東京一岡山 東京一姫路
山陰線	←急行701列車 大社行 急行702列車 大阪行→ ハ二 ハ ハ 特口 口 ハ ハ ハ ハ	東京一大社
上越線	←急行701列車 新潟行(越路)急行702列車 上野行→ ハ ハ ハ ハ ハ 口 特口 二	
上越北陸線	←急行601列車 大阪行(北陸)急行602列車 上野行→ ハ ハ 特口 ハ ハ ハ ハ ハ 口 特口 二 二	上野一金沢 上野一今庄
北陸線	←急行501列車 青森行(日本海)急行502列車 大阪行→ 特口 ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ 口 二 二 二	大阪一富山 大阪一秋田
東北・常磐線	←急行101列車 仙台行(青葉)急行102列車 上野行→ ハ *ハ ハ ハ ハ ハ 特口 口 ハ シ ハ ハ ハ 二 *ハ	上野一院内 上野一上野 (101列車 院内) (102列車 上野)
	←急行201列車 青森行(みちのく) (みちのく)急行3202列車 上野行→ ハ ハ 口 ハ ハ ハ 特口 特口 口 ハ シ ハ ハ ハ ハ *二	上野一仙台 仙台一青森 201列車上野一網走 3202列車 釧路-上野
	←急行203列車 青森行(北斗) (北斗)急行204列車 上野行→ ハ ハ ハ ハ ハ ハ 口 口 特口 特口 特口 口 二 二	204列車のみ連結 203列車のみ連結 上野一根室
	←急行3205列車 青森行(またかみ)急行202列車 上野行→ ハ ハ ハ ハ ハ ハ ハ 口 特口 二 *二 二 *二…202列車のみ連結	上野一盛岡 3205列車のみ連結 上旭釧上上旭 野川路野野川
奥羽線	←急行401列車 秋田行(鳥海)急行402列車 上野行→ ハ ハ ハ ハ ハ ハ 特口 口 口 二 二 二	上野一山形 上野一福島 401列車のみ連結
北海道	←急行1列車 旭川行 急行2列車 函館行→ *ハ *ハ ハ ハ ハ ハ ハ 口 特口 二 二 *ハ…函館-札幌	
	←急行3列車 根室行(釧路・根室向普通列車) 急行4列車 函館行→ ハ 口 ハ ハ ハ ハ ハ ハ シ 口 特口 特口 二 二	函札札釧函池函釧 函釧 函釧函札上釧上根 館幌幌路館田館路 館路 館路館幌野野室

☆座席のとり方 窓ぎわに座席をとるのが常識となつてゐる。特二の場合、窓ぎわの座席番号は奇数、通路がわは偶数となつてゐるから、券を買う場合、その心得が必要。

といつても窓ぎわが万能というわけではない。夏の汽車旅では、窓をあけるので、窓ぎわの席は煤煙に見舞われやすい。それでわざわざ通路がわに席をとる用心深い人もある。向きは進行方向の席をとるのがやはり常識である。車中の場所は中央がふつうだが、用の近い小児や老人を同伴する場合は、便所近くに席をとるべきはいうまでもない。例えば東海道線や山陽線の場合、海がわがいか、山がわがいか。景観のいい方を選ぶべきは

当然だが、そればかりでは決められない。夏ならばなるべく日の当たらない方、冬ならその反対と、前もつて考えておく必要がある。またどつちがわが駅売りの、ものを買うのに便利かも考慮に入れる必要もおきる。

特急、寝台車、特二の場合などはかならず座れるし、着席券のある場合も、発車の五分前までに行けば座席は待つていてくれる。問題はそれ以外の場合である。始発駅でかならず座ろうと思えば、少なくとも発車三十分前に駅に行つていなければならぬ。途中から列車に乗りこんで、満員で席のない場合は、車掌に申し出て席をさがしてもらふこと。そ



れでなければ、ちよつと気はずかしくとも、自分で、間もなく下車する人を探し出して、席を予約すること。かならず座ろうと思えば、それだけの心臓は絶対に必要である。

☆下級車への乗換え 二等の乗車券を持つていて、二等が満員で、三等がすいている場合は、車掌に申し出て、三等に乗換えるがいい。差額の運賃は返してもらえぬ。なお下級乗換えは、満員の場合と事故の場合に限っている。

☆着駅、方向、径路の変更 車中で、着駅変更、方向変更、径路の変更が必要となつたら、早速車掌に申し出て、車掌はすぐその手続きをとつてくれる(手数料一〇円)。

☆荷物のおき方 特急の一、二等は荷物をあ

☆停車時間 主要駅を除いて、三十秒停車が原則である。主要駅の停車時間は、時刻表でも分るし駅の放送でも知れる。

停車時間がたつぷりあるときは、荷物の不安のない限りホームを散歩すること。これが汽車での長旅にあきない秘訣である。ホームでそばを食べさせるような駅では、ちよつと立食いするのも、また一興である。

☆急病 車中での急病などの場合は車掌に連絡すること。車掌は救急函を持つていて応急の薬品は備えてある。また場合によつては、車掌は列車乗客中から医師を探してくれることもある。

☆食堂車の利用 食堂車のついた列車も大分ふえた。定食時間以外に、食堂車へお茶や飲物を

ずかつてくれるし、寝台、特二にも荷物室があつて、そこで保管してくれるから問題はない。

自分で荷物を処理するときは、かならず網棚にのせること。座席におくのは、他人めいわくであることはいうまでもない。

終点駅でゆつくり下車する場合はその心配はないが、途中駅の場合は、あわてて、荷物を置きわすれがちである。だから、網棚にのせるとき、全部で荷物が何個かをよく確認することだ。それでも不安だつたら、綱かひもで、荷物全部を一まとめにしておくこと。

下車駅の一つ手前の駅まで来たなら、荷物を網棚から下ろして、座席の下へでもおいておくべきである。

のみにいつでも気分転換に大いに役立つだろう。朝の定食は百五十円、昼、夜の定食は二百四十円、ランチ二百四十円で、ほかにお好みの一品料理もいろいろできる。

タバコ、観光絵ハガキ、切手、ハガキなども売っているから、たいへん便利である。

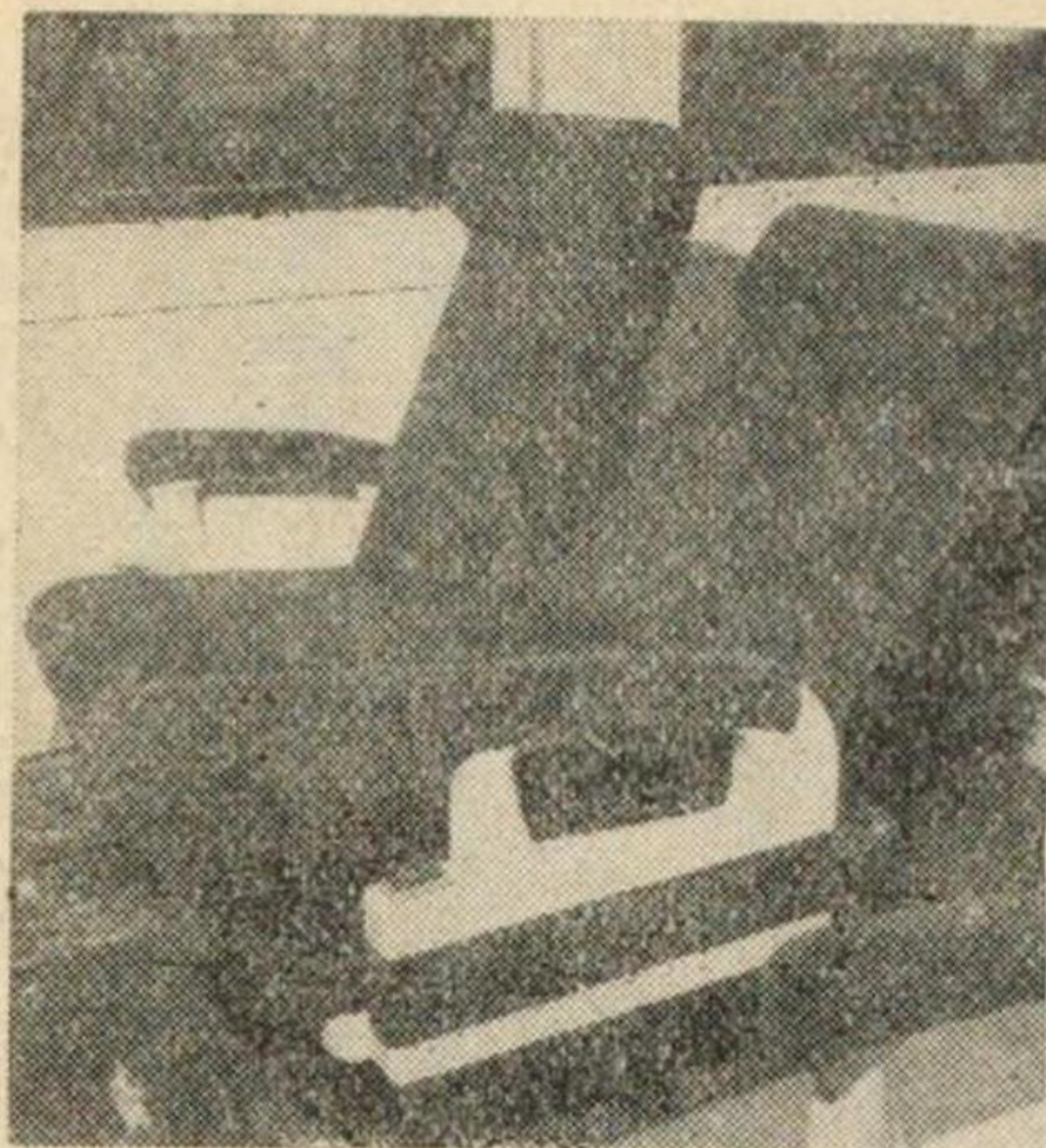
つぎの各列車には食堂車が連結されている。数字は列車番号。

- 一、二(つばめ)。三、四(はと)。五、六(かもめ)。
- 三、五、三六(きりしま)。三九、四〇(筑紫)。
- 一〇〇一、一〇〇二。一〇〇五、一〇〇六。二〇〇一、三〇〇二(みちのく)。
- 一〇〇一、一〇〇二(青葉)。
- 三、四(まりも)。

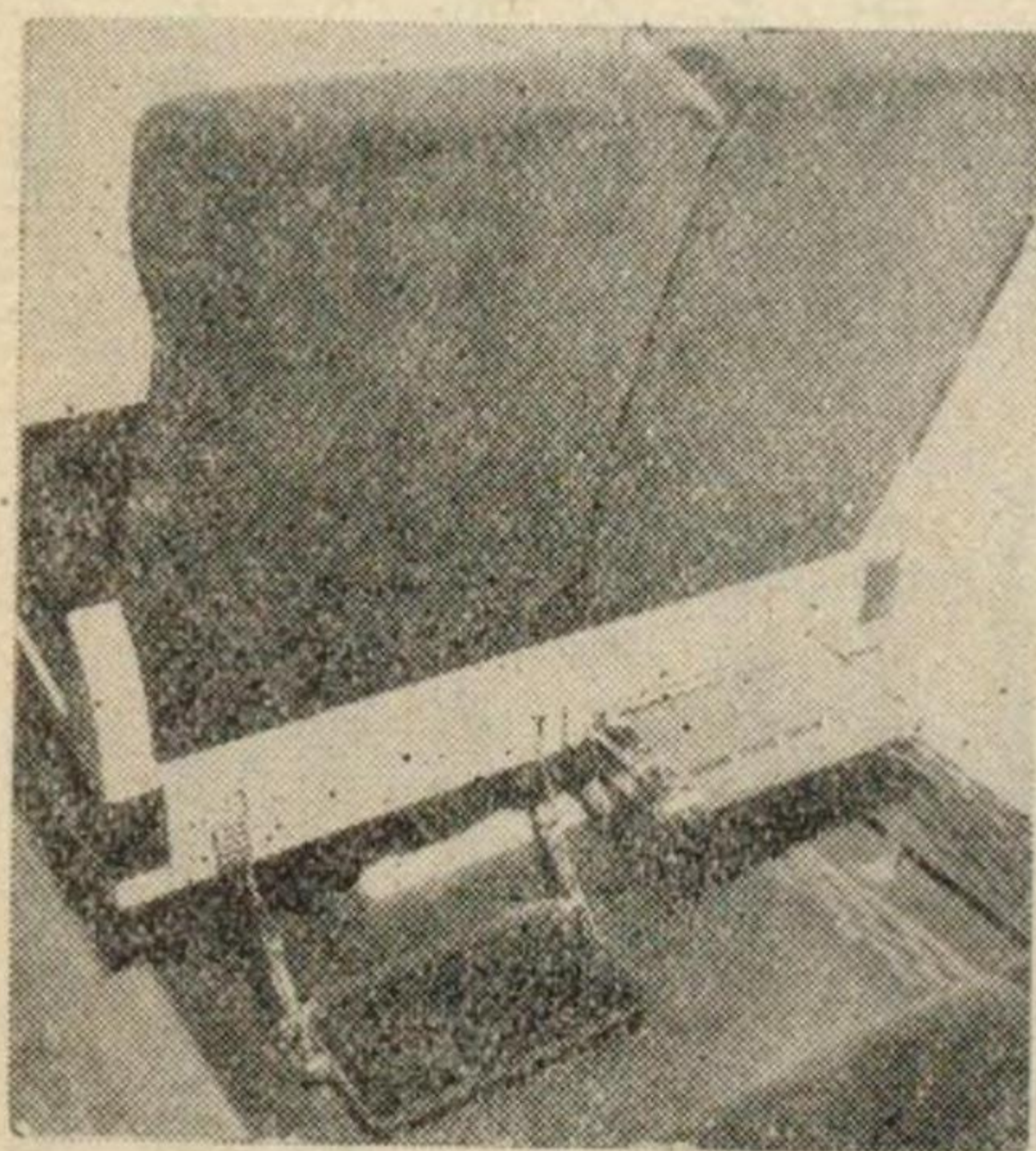


☆席を立つ時 洗面所とか食堂車に行くので、席を立つ時は、席の上に、時刻表などを置いて、近所の人に頼んで立つこと。カメラなどの貴重品は持つて立つほうがいい。

イギリスの列車で、ある日本人が空席だと思つてすわつたら、実は人がいる席で、わきに立つか



特二座席の前



特二座席の後

けてあつたステッキが、身がわりだつたのを、見落してはじをかいたというはなしがある。日本ではステッキでは無理、もつと目に立つものを置く必要がある。

☆特二座席の使用法 特別二等車の座席は国鉄自慢のクライニング・シートである。まず座席にすわつて、アームの下にあるボタンを押しながら、背中で背寄せのシートを後に押しすと、シートは後へと傾く。元へもどきたい時は、またボタンを押し。

前の席の裏がわの端についているペダルを踏むと、足かけが下がってくる。二枚板になつてゐるから、上の一枚を直角に立てる。自動車の補助イースを立てる要領である。

アームの下に蓋付きのすいがら入れがついてゐるし、座席の上には読書用照明があつて、スイッチで自由に点滅できる。

☆寝台の心得 寝台は上段が奇数番号、下段は偶数番号。上段が安く、下段が高い。

もちろん下段のほうが希望者が多い。ことに和装の婦人などは、上段の場合には、はぎもあらわにはしごを上下しなければならぬので、下段を望むわけである。

しかし、列車寝台の場合は、上段のほうが線路

面に遠く、騒音が少ないので、安眠しやすいといつて、とくに上段を望むものもある。

寝台の使える時間は、二十一時（午後九時）から翌日七時（午前七時）までの列車運転時間中とさだめられている。

☆郵便車 乗つてゐる列車に郵便車がついてゐるときは、そのポストに郵便物を入れられる。

列車の向う方面に郵便物を出すときは、これを利用すると、早く着くのはいうまでもない。ポスト備付けの列車は、時刻表に〒で示してある。

☆赤帽と一時預け 主要駅には赤帽がいる。乗車、降車のさい自分で荷物はこぶのがわずらわしかつたら、赤帽に頼むこと。荷



物一個につき十五円の定めとなつている。

一たん下車した駅から、また乗るような場合は、荷物のお伴をしないで、荷物を一時預けするのが旅の秘訣の一つ。

携帯品預り所は大ていの主要駅にできている。一日一個十五円、六日をこすと倍額となつてゐる。

☆駅弁 食堂車は限られた列車にしかついでないので、長旅にはどうしても駅弁のごやつかいにならざるを得ない。

戦前はどこの駅の駅弁がうまいといつて、それを買うのが旅の一つの楽しみでもあつたくらいだった。最近になつて駅弁もどうやらいただけるようになつたから、以前のように地方地方の特色あ

る風味のあるものが復活するのも間近いことであ

ろう。地方によつては等外米と銘うちながら、これが等外米かと疑うくらいの飯のことがある。

駅弁は七十円から百円がふつう。駅弁を売つてゐる駅は時刻表に「弁」で示してある。

☆駅売りの品 駅弁がいやだつたら、サンドウィッチ（五十円）、牛乳（二十五円）、ゆで玉子（三十五円）などで間に合わせることに。

その他、キャラメル、ガム、タバコ、新聞、雑誌などを売つてゐるのはいうまでもない。茶を売つてゐるところでは、湯のさしかえもしてくれり。季節には地方特産の果物も味わえる。

しかし駅売りの楽しみは、地方地方の特色ある名物を車中にいながらつぎつぎと求められるとこ

ろにある。車中で味わう駅売り名物によつても名物にうまいものなしの俗説が、信じるに足りないことを発見することがしばしばあろう。

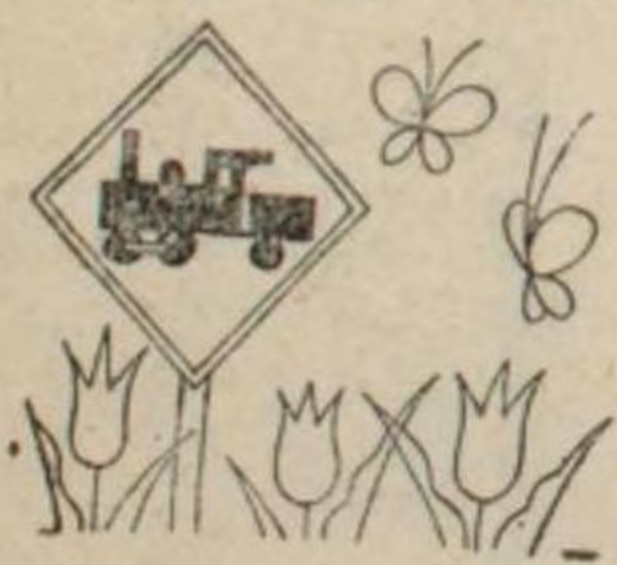
2 バスに乗る時

☆バス旅行の心得 バスに乗る時バスに乗りおくれるという言葉があるが、汽車を降りて連絡のバスがなかつた時ぐらい、惨めなことではない。泊らなくてもいい土地に一泊して、翌日のバスを待つという手違いがおきる。それから先の旅程も狂うし、旅費の予算にも甚大な影響がある。旅に出る前に、連絡のバスの発車時間を調べておくことは、安心して旅行のできる一項目。主要バス線の時間は、時刻表にもものつてゐるが、それ以外は

交通公社の案内所にただすこと。どうしても分らぬとき、もしくは、あやしい時は、朝早く着く列車を選べば間違いない。

☆バスの座席 バスの座席は運転台から後へ二番目が一番動揺が少ない。大体からいつて前のほうが楽で、話をすると舌をかみそうになるのは後の席である。酔いやすい人は、前のほうへ席をとるのが安全である。

ところが、火災などの事故のときのための非常口は大てい車の後部に設けられている。それをおもんばかると、後部のほうが安心ということになる。まあその辺をにらみ合わせて席を定めることである。



☆乗車番号券

長路のバスなどの場合、出札口で切符を買うと同時に、乗車番号の札を渡される。乗車のさいは、その番号順に乗るわけ。したがって、これがないと乗車できないことになる。国鉄と通し切符になつている場合、その切符を示し、乗車番号券をもらうのを忘れてはならない。

☆事故にそなえて 運転手にむやみに話しかけることは禁物、運転を誤らせるおそれがある。非常の場合の外は、運転手に言葉をかけてはならない。酔つてさわいだあげく、若い運転手を餘りにも刺戟するような話題を高声にまき散らすのも間違いのもと。

登山バスや海岸線に行くバスで、崖ぎわのはらはらすような所を走る時、手や頭を出すのも禁

物。片がわの景色がいいというので、急に一方の

窓に乗客が片よつたりして、思わぬ災難をおこすこともある。

バス中は完全にノー・スモーキングであるが、遊覧バスなどでタバコを許している場合もある。それ以外はしばらくの辛抱。その代り降りた途端の一ふくは千金にも換えられないのだから。

事故のあつた場合は、どこまでも冷静を保ち、脱出をはかること。狭い出口に全員がどつと一時に殺到するため、あたら生命をむざむざ失うこともある。ひとりひとり静かに身を挺してのがれ得るだけの余裕があることもあるから、最後まで冷やかに情勢を判断して処すべきである。

☆駅構内ハイヤー 駅に降りてハイヤーに乗

る時は、構内ハイヤーを選ぶのが安全である。構内ハイヤーはEのマークをつけていて、駅長の監督下にあるから、不当の賃金をふっかけられる心配はない。

3 汽船に乗る時

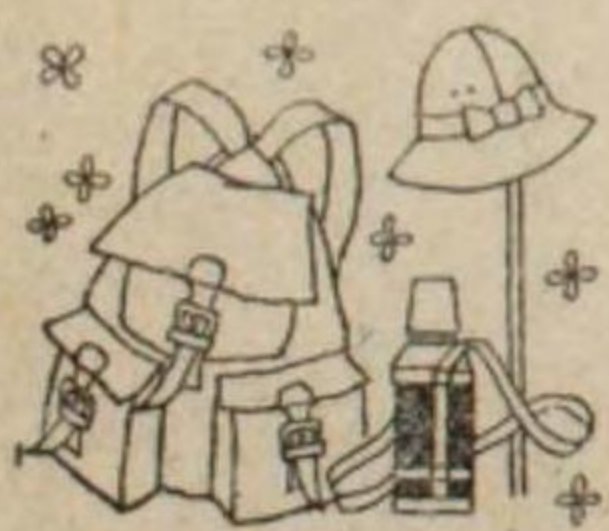
☆船を選ぶこと 同じ航路で同じ会社の船でも、大きいのもあり小さいのもあり速いのもあり遅いのもあり、新造船あり、老朽船ありである。ことに新造船と老朽船とでは、設備、装備その他に雲泥の相違がある。

船をきめる場合、自分の日程とにらみ合わせ、できるだけ良い船を選べば、大差ない船賃で、はるかに楽しい船旅が味わえよう。

同じ航路を二つ以上の会社が経営している時は、おのずから競争もあり、会社会社でおのおの特徴を呼びものにしてサービスに努めているから、自分の好みと旅行条件に合致するほうを選ぶべきである。というのは、船は他の乗物とは違って、船室や公室に船ごとにプランや設備に独自の趣向をこらしているからである。

☆船の等級 汽車の一、二、三等の等級の差にくらべて、汽船の等級の差は実に激しい。それは設備からサービスまでことごとくに、階級社会のモデルといえるくらいである。

例えば一等船室は上甲板にあつて、窓からの光線も明るく入り、いながらにして海も遙かに眺めら



れる。美しいベッドには、毛布が珍しい形に折り飾られ、専用の扇風機、洗面台、飲用水もそなえられている。机とイスのセット、ハンガー、小戸棚までもある。それに呼鈴一つで、ボーイが現われ、御用をうけたまわってくれる。

船室に閉じこもるのにあきたら、遊歩デッキを散歩したり、公室のソファで本を読んだり、そこにある遊び道具を使うのも自由である。ことに食堂のサービスなどは、陸上の高級ホテルに比べて、劣らない場合がある。

ところが三等船客はどうかというと、船底に近い、いんうつな感じのところへ押しこまれる。広い大部屋の雑居で、空気からして変にくさくさにつている。しかも大きな船では、三等船客は一、

二等船客の遊歩するデッキには上るのが許されないので鉄則である。

もつと極端なことをいおう。海難つまり沈没などの事故の発生した場合には、船ではまず一等船客からボートに乗せる。ついで二等、それから次第次第に下におよぼす原則である。地獄の沙汰も金次第という言葉が、露骨に実現されるのは船の上であるといえる。もつとも板子一枚下は地獄の船のことだから、無理からぬ次第かも知れぬが。

☆三等より二等　だから、短い連絡船は別として、ちよつと長い船旅の場合は、三等よりは二等、二等よりは一等と、ふんばつすべきである。事実、青函連絡船を利用する場合、汽車の等級より一段上の等級を取るのが常識となつていくくら

いである。

もちろん三等の大部屋船室にも、庶民的の気分がただよつていて、捨てがたいところもあるが、長い船旅の場合は、交通機関の性格の外に、旅館あるいはホテルとしての性格をおびるから、専用の、あるいはやや専用に近い船室がほしくなるのは当然である。

だから長い船旅では、無理しても一級上の切符をふんばつすべきである。

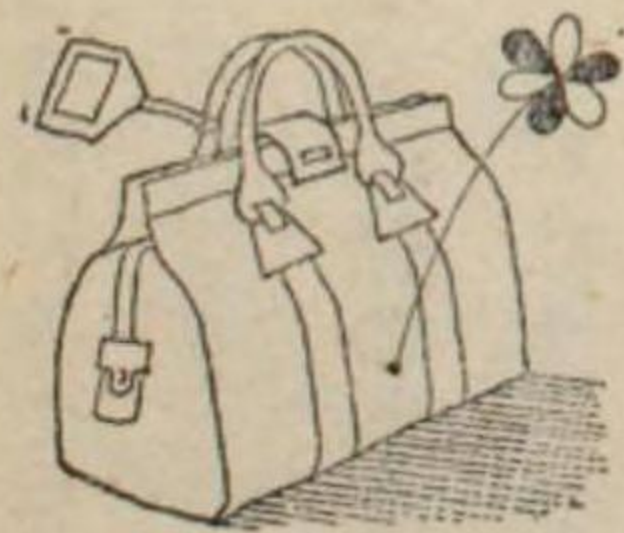
汽車では、三、二、一等の三階級に分れているが、船では、もつと小さきみに区切られる。三等に特別三等がある航路もあり、二等に洋室二等と和室二等の別がある航路もある。この区別も使いようによつてはかなり便利である。

たとえば、和室二等は洋室二等より安い、そ

れだけでなく、大ぜいの子供づれだった場合にはこのほうが都合がいいし、イスやベッドに苦手の婦人客にもこのほうが喜ばれるわけである。

☆乗船の心得　汽車なら、九時発の列車にギリギリ九時かつきり、発車ベルの鳴るさなかに、すべり込んで、辛うじてセーフということもあり得る。

ところが船のほうはそうは間屋がおろさない。船の出帆時間は、ともつなを解く時で、ギリギリにかけつけたのでは、タラップはすでに外されている。汽車と違って飛び乗りという手は利かない。どうしても少し早目に乗船するよ



うに心がけたほうが安心である。

ことに、東京港から出る釧路航路の船などは、沖がかりになつているので、ランチを利用して乗船する。そのためどうしても出帆二時間ぐらい前に乗船場に出向く必要がある。

とにかく船の出帆時間を列車なみに考えることはつつしまねばならない。

☆船の動揺 船の前後にたてにゆれるのをピッチングというが、ピッチングのもつともひどいのは船首で、次が船尾、何といつても中央部が一番動揺が少ない。

左右のゆれのローリングも、両舷に近いほど多いから、これまた中央がいいということになる。船席を指定する場合は、できるだけ中央を選ぶこ

とであるが、ジーゼル機関の船では中央にまた別

種の振動があるから、それも考慮に入れること。たとえ三等の雑居部屋でも、できるだけ船の前後左右からみた中心に席を占めれば、シケになつても割合に楽である。それにつけても、いい場所を占めるために、早目に乗船すべきである。

☆デッキと公室 船旅の場合、狭いキャビンに閉じこもり、退屈しているくらい愚劣なことはない。大きな船には、食堂とかサロン、読書室、遊歩デッキなど、公共のスペースがいろいろある。健康で船酔いを感じない限りそれらを利用すれば、船旅の醍醐味を満喫できよう。遊歩デッキに出て、大海原の朝夕の変化を眺めたり、送迎する小島を算えたり、デッキ・ゴルフや輪投げに興

じたりしていると、あまりに早く目的港に着くのが心残りに感じられるだろう。

船の食堂は上級船客の専用になつているのがふつうだが、大島航路や大阪―高浜航路などのいわゆる観光船などでは、等級による使用の差別を撤廃している。

☆船と食事 戦前は小さな航路は別として、ふつう船賃といえは、食事代を含んでいた。ところが今は沿岸航路がおもなので、汽車なみに食事は別となつた。弁当持参でもいいし、簡単な定食か一品料理を注文して、別計算で食べるというしくみになつている。

食事料を含む長い航路、例えば東京―釧路、横浜―那覇航路などが、表むきは主食持参で、副食

だけとなつているのは、主食統制の影響である。

☆非常時の心がけ 万一の場合を考えて、救命具の置き場所、そのつけ方（船室の壁に写真入りで出ている）、自分の乗るべき救命ボートの番号と位置などを、乗船後、すぐ調べて置くこともたいせつである。その外、船内のいろいろの注意書きも精読しておくべきである。

船を造るだけでなく、船を運行するのも近代科学の総力の結集である。初めての船旅や、学童をつれた場合などは、事務長に頼んで船内見学をさせてもらうのも興味があるし、よい勉強にもなる。リーダー、コンパス、海図、信号旗の使用方、又エンジン・ルーム、船の台所、船



員室など、ふつうは立入禁止区域だが、事務長は仕事のあい間に案内してくれよう。

☆船酔いと予防 汽車、自動車では平気な人が船では酔う場合がある。かといつて、船は酔うものときめてしまう必要はない。

金田一京助博士がアイヌ研究の帰路、青函航路で猛烈なシケに出あつた。他の乗客がみんな苦しんでいるのに、博士ひとりシケも知らずの高いびきで、翌朝ほかの乗客から話を聞いてはじめて、シケのあつたのを知つたので、それ以来、船には酔わぬという自信を得たというはなしがある。船は酔うものときめる必要はさらさない。

ところが中には、船に乗つたとたん、まだエングジンもかかつていないのに、気持をわるくして青

くなつてい人もある。船酔いには神経がかなり手伝ふことはこれでも明らかだ。

船酔いが病気でないことはどんなひどい船酔いになやんでいても、上陸すれば、トタンにしやんとすることでも分る。

ひどくシケれば船員でも酔うもの。まああまり船酔いを気につけぬことが船酔い予防の第一原則である。それでも気にかかる人は乗船前に鎮静剤か船酔い止めの薬をのんでおくことである。

胃腸に故障があると酔いやすい。船旅の前に胃腸を整えて置くほうがいい。また近視、乱視の人で、度に合わない眼鏡をかけて読書する時、産後で身体の弱つた婦人の場合、睡眠不足、空腹なども、船に酔う原因となる。

軽い船酔いはデッキに出て、外気に当れば、動揺が身体に馴れるに従つて、ケロリとなおるものである。

ひどいときは船床に入つて、頭を少し低くし、熱いタオルで温め、鎮静剤をのんでねる。もつと激しい時は船医の手当を受ける外はない。

よくつんぼは船に酔わないといわれる。聴覚と船酔いは密接な関係があるらしい。気持がわるくなる前に、耳に栓をして聞えぬようにしておくのも、予防法の一つである。

古くからのいい伝えには、梅干をへそにはつて置くといいという。注意力がそこに集中して、神経をおこさせぬ功德があるのだろう。また酒に酔つておけば、船に酔わぬと号する人もある。もち

ろんこれが効を奏する人もあることだろう。

☆家族づれの船旅 家族づれの場合、列車とちがつて船では一緒にまとまつていられる。ことに幼児をつれて、おしめその外、いろいろと手回りの品のかさばる家族旅行の場合は、荷物の置場にも、授乳にも、子供をねかしておくにも、何かにつけて船が都合がいい。

汽車でも船でも行けるといふところでは、こんな場合は船の旅がすすめられる。といつても家族中に特に船に弱い人がある場合は、避けたほうがいいのはもちろん。もつとも子供は船に強いのがふつうであるが。

☆小舟に乗る時 船旅といつても何も一万トン級の豪華船とは



限らない。「天龍下ればしづきがかかる」の天龍川下りの舟のコースもりつばな船旅である。

鉄道開通以前には栄えた川舟のコースも、今は天龍、球摩、木曾、保津川ぐらゐに残るだけになつてゐる。

こういう急流を下る舟行は一種のアクロバットなのだから、船頭のおおさばきに任せ、どんな危険な場所にさしかかつても、絶対に落着いて立上りなどしないこと。船頭だつて乗客と同様に命が惜しいのだから、ゆめゆめあやまちはないはず。

はしけ、渡し舟、小汽船でも間違ひがおきることがある。下船の場合とか、シケた時とか、片舷へわつと船客が寄り集つて、転覆の惨事などおこす。自分も冷静を保ち、人にも注意を与えるだけ

の冷静が必要である。

4 航空機に乗る時

☆日航の飛行場 現在の日本航空のコースは札幌―三沢―東京―名古屋―大阪―岩国―福岡となつてゐる。

飛行場は、都市の日航の営業所から相当離れてゐるところもある。

- * 札幌……千歳飛行場（距離四四・五キロ）
- * 三沢……古間木 // （ // 三・二キロ）
- * 東京……羽田 // （ // 一七・五キロ）
- * 名古屋……小牧 // （ // 一四・〇キロ）
- * 大阪……伊丹 // （ // 一四・五キロ）
- * 岩国……岩国 // （ // 四・三キロ）

* 福岡……板付 // （ // 一〇・〇キロ）

飛行場と営業所との間は、乗客は無賃で送迎する。ただし送迎人は、一人につき札幌―千歳間、一九〇円、名古屋―小牧間、四五円、払うことになつてゐる。おそくともバスの発車時刻の一〇分前までに営業所に現われる必要がある。

そしてまず航空券を係員に示した上、手荷物の計量をすませて、それから係員の案内で送迎バスに乗るのである。飛行場に着いたら、係員の案内に従つて、待合室で待つこと。

送迎バスによらずに飛行場へ直行されても御自由。ただし、古間木、小牧、伊丹、岩国の諸飛行場は、日航社の自動車以外出入できないから注意が肝要である。

直接、飛行場に赴かれる場合は、航空機出発の二〇分前に到着のこと。しかし、千歳飛行場にかぎり四〇分前までに到着の要がある。飛行場内の日航事務所で、航空券を係員に示し、手荷物の計量をすましてから、待合室に入る順序である。

☆搭乗から着席まで 係員の案内に従つて静かに順序よく乗りこむこと。機内の座席は別に指定はない。眠つて行きたい人は隅の方の席へ、下界の眺望を楽しみたい人は翼の邪魔しない席へ。並んで席を希望する場合は、スチュアデス（エア・ガール）に申し出ること。席についたら、ベルトを締めておく。許しがあるまで、タバコはしばらく我慢する。



ベルトで体を座席に締めるのは、離着陸の場合とそれに機体のはげしく動揺する場合で、いずれもスチュアデスの指示によればいい。

下界の風光を賞でるといので、一方の窓ぎわの座席に一せいに立寄つて来るのは危険きわまりない。

なお途中、降機地の飛行場に降りて、休憩または散歩する時は、自分の席に、「御使用席」の札を置いて立つのを忘れぬこと。

☆航空路の安全性　たまには大島事件のようなこともあるが、空の旅のアクシデントの公算は極めて少ないというのが正当である。

現在の航空は高度三〇〇〇—五〇〇〇メートルで、幅二〇キロのラジオ・ビーコンで誘導され

ながら、下り便は偶数、上り便は奇数フィートによる高度を維持して航空する。だから定期航空機は、ちよつと大空にかかつたレールを滑るよう

に、いつも一定のコースを飛ぶわけである。航空機そのものの高性能化に加えて、地上の航空保安施設も完備しているのので、天候や昼夜の別、視界の有無に関係することはさらになく、空の旅の安全性は昔とは大違いである。

萬一の場合も、不時着飛行場が近くのところ

に設けられているので、何の不安もなく、航空旅行が楽しめるというわけである。

☆機内にて　万一をおもんばかつて、機内に

座席の上の棚には、帽子、外套、カバンなどの軽い手回り品以外は乗せられない。手回り品として許されているのは、婦人用ハンド・バッグ、書類カバンまたは小形風呂敷包一個、外套または肩掛一枚、雨傘またはステッキ一本、膝掛け一枚、望遠鏡一個、読み物、飛行中の小児食物などだけである。

機内の通風と暖房は、適宜に調節できるようになっている。

飛行中の食事時には、軽い食事、その他の場合には菓子または果物と飲み物が供される。

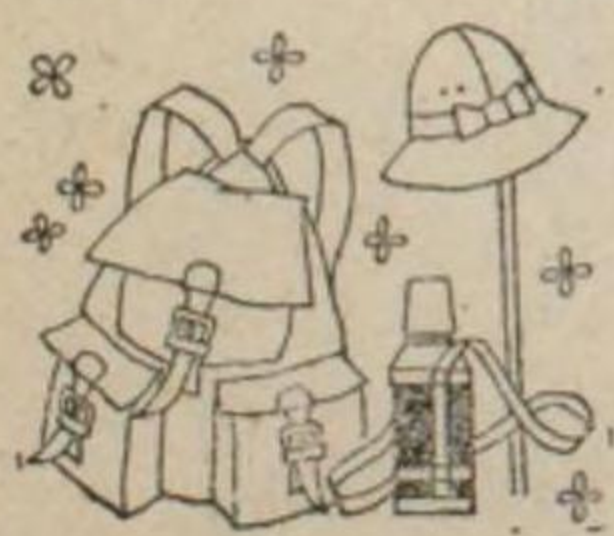
機内には新聞、雑誌がいろいろそろっているから、あわてて買って持ちこむには及ばない。

航空機上でもタバコは自由。ただし離着陸の合

図のあつた場合は遠慮しなければならぬ。もつともタバコといつても、葉巻とパイプ・タバコは厳禁だから、その覚悟が必要である。

高度の関係で、酔いが早く強くなるから、飛行中は酒は我慢するにこしたことはない。もつとも高々度飛行をする外国航空路の使用機には、気圧加減装置があるので、そんな心配は無用だのとこのとである。

離着陸の時、高度つまり気圧の急変で、耳鳴りや耳が痛く感じられる。その時は、唾を呑みこむか、あくびをするか、あるいは鼻を手で押えてかむかすると楽になる。またスチュアデスがチューイング・ガムを配るから、それをか



んでいても同様の効果がある。

高度の変化のため、万年筆によつてはインクがもれて、服をよごすこともある。インクは少な目に入れて何かに包んでおくほうが無難だ。化粧水の入った瓶の蓋などもぬけてしまうから、飛行機用のネジ蓋の瓶のものを持つて行くべきである。

☆動揺と酔い 昔の飛行機とちがつて、今の航空機はほとんど動揺しない。だが時おり気流の工合で、上下に動揺することもあるが、さして心配するには当らない。

●気分のわるい場合にそなえて、空酔袋が座席に用意されている。常備薬も各種とりそろえてあるから、遠慮なくスチュアデスに請求するがいい。

下駄ばきの乗客は、機内では備え付けのスリッ

パにはき換えること。なお靴ばきの人がスリッパ使用の希望ある場合は、スチュアデスに申し付けることである。

☆化粧室 化粧室は客席の後部にある。ただし機が地上にある間と離着陸のさいは使用どめになつてゐる。使用ずみの手ぬぐいは必ず所定の場所に置くこと。

5 乗物の酔い

☆乗物に強い弱い 各種の乗物のなかで、誰でもつとも警戒するのは船酔いだが、それは前に触れた。

船以外でも、航空機、バスでも酔う人があり、人によつては汽車、さては市電に酔つてゐること

もある。

乗物に強いというのは、先天性もあるらしく、はじめからおなじ航空機に乗つて、平気な人もあれば、まいる人もある。しかしそればかりでなく、慣れも関係するらしい。われわれには汽車で酔うなどということは、ちよつと考えにくい、はじめて汽車に乗つた人は往々にして、気持をわるくしている。

だから慣れて乗れば、船でも航空機でも酔わなくなるものだ。酔やしないかとおそれる気持をなくすことが、乗物の酔いには一番いい予防法である。

☆酔いへの配慮 前にも述べたが胃腸に故障のあるとき身体の衰弱している場合は酔い易い。

手当をしてから旅行することである。睡眠不足も

またその一因。旅立ち前も、旅行中も、睡眠をたつぷりとるように心懸けること。旅行中、徹夜でマージャンをしたり、二次会、三次会とはしごするなどはとんでもないはなしである。

長途のバスの場合、動揺の少ない席を占めるのも、酔いやすい人のたしなみである。

どうしても酔いに対する不安のある場合は、薬品を用いて、自信をつけるといい。それについては後節の「旅の衛生と医学」を参照のこと。

6 暇つぶし

☆退屈しのぎ 乗物で退屈するとすれば、まあ長途の汽車旅行



ぐらいなものであろう。航空機の旅は短時間だし
船旅なら座席にしばらくはなすではないから、
退屈ということはない。

☆読書 新聞、雑誌はすぐ読みおわつてしま
う。何冊かの書物を持ちこんで、車中で読んで時
間を消している人もある。ふだん読書の時間のな
い人なら別問題だが、ふだんでも本の読める人な
ら、もつたいないはなし。旅は書齋の延長ではな
く新奇な人生経験の場であるはずだから。本なら
刑務所についても読めるわけだ。

☆よもやまばなし まあ、本を閉じて、乗客
同士のよも山ばなしに耳をかたむけるがいい。も
つとも、それはとりすました上級車ではのぞめな
いが。

ふつう、平凡な景色と見捨てられているところで
も、刻々と変る景観はわれわれをあきさせない。
車窓の眺めは、何も自然にだけ開けているわけ
ではない。農家の屋根のとりどりの形式を心にと
めて、次々と送り迎えしているうちにも、昼の旅
はあつけなく終つてしまおう。
それに耕地の種々相、農作物の異同、都会地に
入れば工場の煙突の数を算えているうちにも、時
間はまたたく間にすぎる。

トンネル、鉄橋などの鉄道施設も見のしがた
いし、駅駅のフォームにしても、とりどりの個性
があつて、飽くことを知らない。

☆旅と一体に 旅人がほんとうに旅と一体に
なれば退屈はないはずである。そうなれば意識的

国言葉丸出しの会話を聞いていると、これが日
本語かと怪しまれることもある。自分のふだ
んの世界とまるでちがつた社会の断層にぶつかる
こともある。インテリらしいすまし方をやめて
話しかけられたら、受け答えもしたほうがいい。
よも山ばなしに花が咲く間に、四時間や五時間
は知らぬ間に過ぎてしまう。

☆車窓の眺め よも山のはなしで、旅の退屈
をしのぐのは夜にかぎりたい。昼の間はあなたを
少しも退屈させない楽しみがあるはずである。そ
れは移り行く車窓からの眺めである。

といつて何もいい景色ばかり、名山、名河ばか
りを眺めろというのではない。はまなすの咲く砂
丘、すすきの招く平原、月見草の群れ咲く河原、

に暇をつぶす必要はさらさらないわけだ。旅行者
が駅から駅へ運ばれる荷物に過ぎない時に、退屈
がおこるのである。

もつとも碁敵や将棋相手と同行する場合、携帯
用の碁盤、将棋盤をひろげるのは当然だろうし、
家族づれの場合トランプに興ずるのも自然のなり
ゆきだろうが。

☆フォームと食堂車 長い停車の駅では、降
りてフォームを発車ベルの鳴るまで歩くのも気分
転換になる。シベリヤ横断鉄道などで旅行者の行
う手である。

食堂車のついでに列車では、
食堂に飲みものを攝りにゆくのも
一興であらう。上戸の人は、一瓶



をカバンに忍ばせてゆくのも、近所めいわくにならぬ限り、旅のうさをはらういい玉ほうきにそういない。

7 車中のエチケット

みんな旅をしているのである。自分ひとりの旅ではない。エチケットを守るとは、結局、自分の旅を楽しく明るくすることにもなる。

☆車中をよごさぬこと 座席は家庭の居間、通路は家庭の廊下に当る。そこへ唾をはいたり、すいがらを投げるのは正気の沙汰ではない。ポイイが掃除に来て、はき集めるのを見てるとよくまあこんなにごみを出すものとあきれれるほどだ。一しよに旅を楽しむ車内なのだ、できるだけ清浄

を保ちたいものである。

* 唾やたんはたん壺にはくべきである。できれば、紙かハンカチで受けてほしい。

* 紙くずなどのくずるいを足もとや通路に散らかさぬこと。新型三等車には座席の横にくず入れがあるから、せいぜい利用してほしい。

* ゆで卵や、南京豆のからなどは、紙袋に入れるか、新聞紙につつんでしまつて、下に散らかさぬこと。

* チューイン・ガムのかすや、アイスクリームの容器の蓋は、床について掃いてもなかなか取れぬから、下に捨てぬこと。

* すいがらをやたらに捨てぬこと。窓わくの間に灰皿の代用にするのも火事のもと。また車窓外

にすいがらを投げるのも、火事の種だから禁物。

* 退屈だといつて、羽目板などに恋人の名など落書しないこと。

* 羽目板や壁にポマードのごてごてした頭をもたせかけぬこと。光つた跡は、いくら洗つてもそこだけ色が変わるから。

* 子供を靴のまま席に立たせるな。たたみの上の土足と同じわけになる。靴をぬがすなり靴カバーを準備して行つてはかすこと。

* 弁当がらも投げ散らさず、ゆわいて、席の下におくこと。

* あきびんも席の下へおくこと。窓の外へ投げたりすると、保線工夫のけがのもとになる。

☆近所めいわく 車中は公共の場所で、私室

ではないのだから、近所めいわくにならぬように心懸けたいものだ。

* 夏など乗車する早々、シャツ一枚のステテコ姿になる人がある。近所の婦人客などにはめいわく至極のはなし。靴をぬいでスリッパになるのも考えもの。スリッパは本来、寢室でのはきもの。

* 窓を年中しめ切つておくのも考えもの。といつて、寒がる老人や、髪の乱れをいとう婦人もいることだから開ける前には、同意を得て、めいわくをかけぬようにすること。

* 二人分の座席を占換して、たぬき寝入りをする人、荷物を網棚にのせずに、一人前の人間あつかいしている人、いずれもめいわく



この上なし。

* 近所の人がいやな顔をしているのに、タバコの煙をもうもとさせているのも心ないわざ。窓を細目にあけるなり、人に煙のかからぬよう心懸けることである。

* まわりの人が寝静まつているのに、酒の酔いにまかせて、さわいだり、歌をうたつたり、さては聞き苦しい話にまで発展するのは、あさましい限り。酒は静かに飲むべかりけりである。またやたらに近所の人に、まあ一杯と強いるのも慎むべきこと。

☆洗面所と便所 洗面所と便所はあまり長く占領しないようにすること。便所も洗面所もよごさぬように心懸けたい。便所は停車中は使用しな

いことになつてはいるが、これを忘れている人が多い。洗面所の水は流しつばなしにしないこと。

☆食堂車で 食堂車へ行く場合は、服装をきちんと整えること。スリッパばきなどは大禁物。帽子は脱いで行くことはいうまでもない。

定食時間中に、酒びんを林立させて、後から来た客をたちん坊にしておくなども心ないしわざ。酔いにまかせて、女ボーイにお酌を強要するに至つては言語同断、食堂をキャバレーと混同してはならない。

8 船中のエチケット

☆船はホテル 船中のエチケットも、その精神は車中のエチケットと変りはない。しかし船は

交通機関というだけでなく、ホテルの性質をもつていることを忘れてはならない。

一歩船室を出れば、そこは往来と同じことなのである。浴衣に細紐、つつかけスリッパで平気で廊下を歩いたり、ロビーのソファアに毛ずねもあらわに、あぐらをかいたり、デッキを肌ぬぎでブラついたりすることは狂気の沙汰である。

☆立入り禁止区域 船には方々に立入り禁止区域がある。ここには絶対に立ち入らぬこと。救命ボート、救命具などをいたずらするのも禁物。

☆食堂のエチケット 船の食堂は正装して出なければならぬ。ねまきのままなどは絶対に慎むこと。もつとも今は昔ほどやかましいエチケットも要求されないがそれでもわずらわしかつたら、

食事を船室へ運んでもらうほうがいい。

☆婦人の身だしなみ 船の階段は傾斜が急だし、タラップを渡つたり、はしけに乗り移る場合を考えると、婦人の服装はできるだけ足さばきのよいものが望ましい。和服の婦人がストッキングをつけるのも、エチケットの一つであらう。

9 乗物とチップ

☆列車の場合 特急の一、二等では降車のさい、ボーイに百円のチップがふつう。特二も同様。いずれも荷物の世話になるから。もつとも子供づれなどで、よけい世話をやかした場合は気ばること。



寝台車の場合は二百円が相場である。

☆船の場合 別府航路などの場合、下船に先立つて、係りのボーイに、一等五百円、二等二百円のチップを出すのが相場になっている。

大体船賃の一割が最低額であるから、釧路航路なども、そこから割出せばよい。長い船旅、主として海外航路の場合などは多くの人の世話になるので、個々にやらずに事務長に一括して渡すのがふつうである。

☆航空機の場合 航空機のスチュアデスにはチップの心配一切無用で、出すと断られるから、はじをかかぬ用心が肝要。

☆タクシー、バスの場合 外国ではタクシーにもチップがいるが、日本では不要。ただし観光

地等の貸切ハイヤーには待時間が計算に入らぬから、チップをやる必要がある。額は最低、料金の

一割だが、それもサービスのいかんによつてである。

バスの場合、遊覧の貸切バスを除いて不要。もつとも、観光バスで美声をはり上げてサービスにつとめた女車掌をねぎらうのも旅の一興だろうが、これは若い男は避けたほうがいい。変にとられるのが落ちだろうから。

旅館・ホテル案内所

V

1 投宿から

出発まで

☆宿の選び方 乗物と

旅館、これが旅行の二大要素だが、今宵の宿をどこに定めるか、これがなかなかの難問。まさに旅行技術の最高峯の一つともいえよう。いい宿であつた場合、翌朝の旅の足どりも一そう

軽くなるうが、期待に反した場合は後あじがいたつてわるい。どつという宿を選ぶか、これが思案のしどころである。

☆一流旅館 金さえあれば一流旅館、これが

定石である。しかし一流旅館の中には、何々造りといつて、豪壯な建物や、何々風呂といつて浴場を売りものにしてゐるわりに、サービスの点で落第のものも少なくない。誇大な宣傳、広告にまよつてはならぬ場合が多い。それに、ふつう以上の料金で泊れば気持がいいが、安い料金で泊ると、ひどい目にあうことがある。

☆定宿 行きつけた定宿があるならば、そこが一番、気どころが知れていい。格付けからいへばいわゆる五級旅館たる奈良のH館の如きが、天下の学者、芸術家に愛好されるのも、この定宿的良さのしからしめるところである。



☆中間を選ぶ はじめて足を踏み入れた土地に定宿があろうはずはない。一流旅館で、二の膳三の膳と豪華をほこる旅でもなく、そうかといって、あまりひどい宿にくすぶるのもいやという場合、どうしたらいいか。

その場合は、はやる宿とはやらぬ宿との中間を選ぶことである。いわば二流どころに落着くのだが、そんなところに泊つて、最高料金で王者のよくな待遇を受けることもまれではない。

宿は何も、何々旅館に泊つたというのをみえにするためのものでなく、自分の好みに合い、気分合つところに泊るのが本筋なのだから、一流とか特級とかの名に拘泥するのは愚劣なはなしである。

☆情報のあつめ方 はじめての土地の駅に降

り立つた時、どんな旅館が自分に向くだろうか、その予備知識が何もない場合は、どうしたらいいか。

まず駅長室を訪れて、駅長か助役に相談してみる。駅に案内掛がいる場合は、そこでもよい。自分の泊りたい種類の旅館、予算条件をぶちまければ、それに相当な宿を紹介してくれる。

駅のない土地だつたら、警察署、駐在所でもよい。署長さんや駐在さんが電話までかけてくれれば、好遇はほほ誤りなし。

なにも聞くとこころが無ければ、町の大通りの大商店などに聞くのもわるくない。

ただし、バスの運転手や車掌に聞くのはやめた

ほうがいい。一軒を推賞すると、外の店から恨まれるので、なかなか口を割らないし、教える場合は、今度は客引的傾向をおびるからである。

☆国鉄推せん旅館 全国の相当の都市とか遊覧地の温泉の旅館なら、国鉄推せん・交通公社協定旅館を選ぶのが、まず安全である。国鉄が交通公社と協力して全国の旅館の中から優秀なものを選定したのだから、設備、サービスは優良で、料金は適正のはずである。

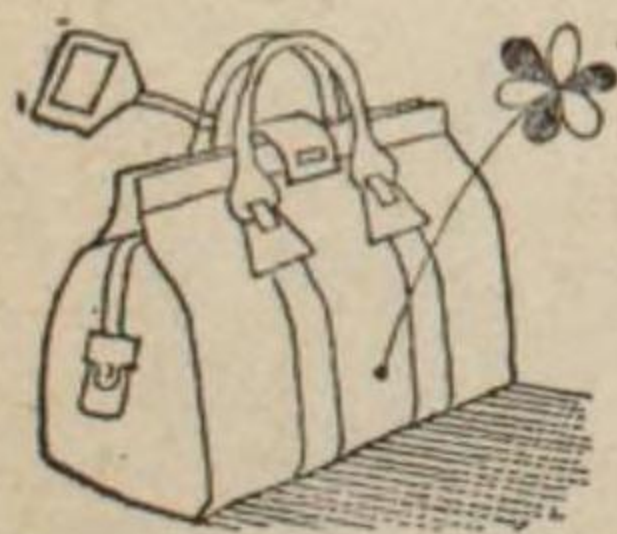
☆一げんを断る旅館 特級、一流旅館の中には、フリの客、関西の言葉でいうと「一げん」の客を門前払いにする店もある。

そんな格式張つた店にわざわざ泊る必要もないが、たつてそこに泊りたい場合はどうしたらいい

か。

その店に顔の先輩とか、会社の上役などからの紹介状か、それまで泊つた有名旅館からの紹介状を持つて乗りこむことである。しかし、できれば前もつて紹介状にそえて到着の予定を知らせ予約しておくほうが安全である。その場合、住所、職業、地位、それに自宅とか経営の会社、商店の電話番号などを印刷したものを通信に使つと、旅館側でも安心する。

もしその店が国鉄推せん旅館になつているのなら、交通公社案内所から交渉してもらえば、何の苦もなく泊めてもらえる。もちろん向うが満員の場合は話は別だ。



☆フリの客として 予約もなく、紹介状もない時は、本当のフリの客として、乗りこむわけだが、前にもいつたように、駅長などから電話でもかけておいてもらつたほうがいい。

それも面倒、単刀直入に乗りこもうというのなら、駅から宿の玄関口まで自動車を気ばることである。自動車の効果は案外テキ面である。

もし、その店が本当に満員の場合、その店が良心的である以上、頼めばどこかすいた旅館を紹介してくれるにそういない。

☆満員で宿がとれぬ時 行楽シーズンなどにぶつかつて、どこの宿からも満員と断られたらどうするか。決してあわてるには及ばない。やはり警察署か駐在所を訪れて、事情を説明するのだ。

必ずどこかわりにすいている宿を見つけてくれる。しかし、この場合は、合部屋の覚悟ぐらいはしなければならぬ。警察を利用するのを何か官権にたよるようで気の進まぬ人もあるらしいが、何も遠慮にはおよばない。今の警察は、民衆のためのものであるから。

☆客引の功罪 旅のわずらわしいものの一つは、客引である。駅前や船着場にたむろしていて客を見るなり包囲攻撃で自分の宿へ引つぱろうとする。旅好きの泉鏡花もこれだけはほとほと手を焼いたとみえて、「高野聖」の中には客引をのろつていいる部分がある。

今はそういう客引もあるまいが、以前は身体は一方の客引に取られ、荷物は別の客引に奪われる

という悲喜劇もあつた。そうかと思うと一人の客を奪つて二人の客引が八百長げんかをする。客はうつかり敗けたほうの客引に同情して、その思つぽにはまつてしまう。

まあ、客引の甘言は信用しないほうがいい。ただ自分が泊ろうと思つている旅館の客引が、印ばんでんなり、旗なり、腕章なりで分つたら、それを利用すること。道案内と荷物持ちの意味である。

ことに信用のできないのは、旅館の旗を持たぬ客引である。たとえばどんなにりつばな旅館組合の制服を着ていようと、こういう客引の中には、権利金をとつて、他の旅館の番頭に客を売りつける悪質のものがあるからである。

☆玄関先で 玄関先に立つた時、出て来た番頭は途端にまずチラリと靴を見て、客の値踏みをする事が多い。また、いくらリュウとした身なりをしていても、靴を脱いだ瞬間、靴下のかかとに穴があいていたら、それこそ足元を見られる。靴と靴下に注意することが、宿屋でなめられない秘訣の一つである。

☆宿賃の交渉 前もつて交渉ずみの場合、あるいはクーポン券持参の時は、その要はないが、それ以外は、部屋に通される前に、宿賃の交渉をするのが本筋である。

このごろは、そのために玄関わきに応接室が設けられている宿屋がある。応接間には疊敷を示した



各室の図と料金表が示されているのがふつうである。

そこで宿の主人なり番頭なりに、予算とこちらの希望する程度の部屋を説明して交渉すべきである。宿屋のほうは「上、中、下」とか「梅、竹、松」などと、抽象的な格付けだが、部屋はどう、食事はさほど望まぬ、寝具はこうなどと具体的に交渉する心臓があれば申分がない。

自動車で乗りつけた手前上、玄関わきの交渉ができない場合は、一旦、座敷に通されてから交渉にうつるわけである。

☆部屋の選定 どの部屋に通すかは番頭めがねでその辺が適当というわけで通されたのだから、気に入らなかつたら、遠慮なく外の部屋を見

せてもらうべきである。同じ値段の部屋でも、こつちの気持ちにもつと適合するのがあるかも知れないから。

ことに婦人だけの場合などは、女中部屋の隣がいいとか、老人づれの時は、便所に近いほうがぞまじいとか、いろいろの条件があるはず。

天下りの割当てに盲従しないで、予算の範囲内においても、こちらの要望を主張するのが本当である。

☆宿賃の構成 ここで宿泊料というものを解剖しておこう。晩めしと朝めしの代、部屋代、それに寝具、ゆかたの使用料などを合算したのが宿泊料である。だが晩めしを食わぬ半泊りでも、朝めしを取らぬ早立ちでも、さほど宿賃にひびかな

いことを忘れてはならぬ。

☆旅館券で泊る時 ふつういうクーポン券、正確にいうとJTB旅館券で泊る場合は、わずらわしい宿賃の交渉はなしで済まされる。それに前もつて交通公社から連絡してあるから、満員で断られるというおそれもない。

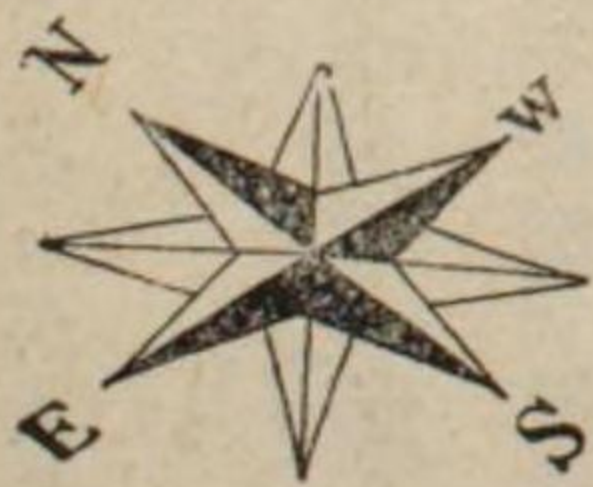
旅館がわとしても、宿賃のとりはぐれの心配もなく、ふつうの客のように電報で申込んでおいたまま梨のつぶてというような気づかいもない。旅館券の客を歓迎すべきはずである。

旅館券で泊る場合、事務的にいえば、玄関先で旅館券を渡すのがいいが、それがやりにくかつたら、交通公社から連絡のあつたはずの誰々と名乗ること。これがお互に誤解のおこらぬ最上の方

法である。

部屋へ通されてから後に、女中に旅館券を渡して、旅館券の客であることを明らかにしても、決しておそくはない。しかしこの場合、このお部屋ではどうもと、部屋換えを命ぜられることもあり得ることを覚悟しなければならぬ。

☆旅館券宿泊の不安 昔は、旅館券を持つて行つたらあんどん部屋に放りこまれて、ひどく冷遇されたとか、食事の副食に手をぬかれたとかいう苦情があつたらしい。しかし今はそんな心配はない。というのは、冷遇されたという申し立てがあつた時は、公社は調査の上、もし本当ならすぐ旅館券の発行を中止し、国鉄推せん



旅館を取消すなどの処置がとられるから。

しかし冷遇の心配はなくても、好遇を望むことは無理の場合もある。それも所により、旅館にもよるが、旅館券の料金（それも茶代、税金を含めて）が、宿泊料の平均を下まわっているところからのこと。もちろん、旅館券の客が好遇される事例のほうがはるかに多いのはいうまでもない。

☆宿帳と名刺 泊つた以上、一度はつけなければならぬ宿帳だが、部屋に通るとともに、女中に名刺を渡しておけば、自己紹介もすむし、宿帳記入の手数も省けるといふもの。もつとも年齢その他、名刺にない事項は書き加えてやる必要がある。

☆部屋の名と女中の名 通されて今宵のわが

部屋と定めた以上、部屋の名を聞いておくこと。

「菊の間」とか「八番」とか、ちようどわが家の町名番地みたいなものだから。

係の女中は自ら名を名乗るのがふつう。一夜さのビジネス・ワイフの名は、いかにそれが、松だの竹だのと平凡でも、親しく呼ぶのが礼儀である。また帳場との電話交渉の場合など、その名を使うと、どのくらい事務簡省になるか分らない。

☆ゆかたとどてら 女中に手つだつてもらつて洋服をゆかたに着かえる。寒い時分だつたら、その上にどてらが重なるはず。宿屋そなえ付けのゆかたるいで、身丈の合わない人や、とくにけつべきの方は持参のねまきに着かえること。

宿屋のゆかた、どてらといえは、身丈の短いも

ので、少し背の高い人にはつんつるるときまつていたが、北陸のサービスで名高い温泉地では、最近は大中小のゆかた、どてらをそろえ、女物用のものまでととのえてあるという。そういうサービスのいい所へ泊るなら、何もねまき御持参の気苦労はいらないはずである。

着換えのとき、ズボンのポケットのものは全部取り出して置く。それを忘れると、女中が洋服かけに逆さにつるすとき、バラバラと落ちて、ものによつては恥ずかしいものをさらけ出すこともある。

プレスや寝おしをしてくれる親切な女中もあるから、眼鏡ごと寝おしなどされないように、御注意が肝要である。

☆貴重品 何をおいても、貴重品（もちろん

金を含めて）を帳場にあずけること。旅館によつては貴重品預り袋の用意があつて、客に封印してもらふようになつている。そんな用意がなくても、女中に託して、帳場にあずかしてもらふのが旅客のためでもあり、宿屋の責任を軽くするわけにもなる。

部屋の額の裏に貴重品を隠すなどという、こそくな方法は、現代では流行おくれである。

☆荷物も帳場 荷物も整理して、手回りになくは困るもの以外は、できるだけ帳場に預けてしまふのがいい。近ごろは旅館荒し専門のぬすつとが出没するから、そのくらいの用



心は必要である。

☆盗難の用心 一体その部屋は、他人のちん入に対して、どのくらいの防備がしてあるか、雨戸の棧はどうなっているか、入口の戸にかけがねはついているか、などは調べて置くべきである。ことに婦人客の場合、これはゆるがせにすまされないことである。

☆洗濯物の依頼 貴重品や整理した荷物を預けようとしているうちに、翌朝までに洗濯しておいてもらうものが、まとまるはずである。それを一まとめにして早々女中に託すこと。かがつておいてほしい靴下の小穴とか、落ちたシャツのボタシなども、指示して、つくろいを同時に依頼したほうが能率的である。

☆便所と浴場 便所、洗面所の位置などは女

中のほうから教えるのがふつうであるが、忘れてしまうようだったら、初めから聞いておくこと。洋式便所などの場合には、使いなれない老人や子供に使用法を教えて置く必要もある。

湯は温泉に泊つたのならいつでも入れるから、問題はないが、ふつうの宿の場合は、呼びに来るまで待つている必要がある。呼びに来るのは女中がふつうだが、風呂番の番頭の場合もある。呼ばれた場合、ぐずぐずしていると、先方でも都合があるから、別の客を入れてしまつて、後まわしにされることもあるから、その覚悟でさつさとでかけることだ。風呂場へ行く時、腕時計、さいふなどは持つて行つてはならない。風呂場に置き忘れ

たら失くなるものと思つたほうがたしかだから。

番頭が背を流そうといつたら、遠慮する必要はない。もつとも流しつけないで、くすぐりたい人は断ること。風呂番の番頭にはチップを出すのだが、あとで女中から渡させてもいいし、帳場に立て替えさせてもいい。自ら風呂場まで持つて行つて渡すまでのこともない。

アベックの場合は、風呂番は流そうとはいわない。しかしチップの要ることは同様である。

湯と水との蛇口から、自由に加減できる所では問題がないが、そうでない所で、あつすぎたり、ぬるすぎたりしたら、遠慮なく風呂番にいつけること。

☆避難の注意 大きな旅館に初めて泊るのだ

から万一火災でもあつた場合、とまどいするのは必条である。ことに三階建、四階建の雲上に鎮座する場合は、万一の場合を考えておく必要がことに強い。

宿への出入りのおり、浴場への往復の場合、階段の工合、非常口の所在などに気をくばつておくこと。二階などの場合は、窓を開けてみて、窓からの脱出も可能かどうか一おう調べて置くほうがいい。

就寝のおりも、着物などは一カ所にまとめて置いて、とつさに着られるようにしておくのが万全である。

☆外出の時 いったん宿をとつてから、人を訪問するとか、事



務打合わせのためとかで、外出する場合もある。

その時は自分の予定を女中に知らせ、何時に帰るから、風呂、食事は何時ごろ、床は何時にのべてほしいと命じておくこと。予定を知らさずに出すると旅館がわめいわくするだろうが、それ以上に客の方が時間をむだに使い、神経をむだに使わなければならなくなる。

☆飲みものの注文 長途の汽車旅行から解放され、一風呂あびてくつろいだ後は、一盞傾けたくなる人も多からう。

飲みものの注文は、食事のはこばれる前にして置くこと。ビールなり、日本酒なり、日本酒なら、あつ爛、ぬる爛と、好みを指示して注文すること。婦人たちならばサイダーを希望するかも知

れない。膳がはこばれた後に注文すると、女中に

二重の手数がかかるばかりでなく、せつかく熱い内にとの板前の苦心も水の泡、冷えた焼魚をつまみ、冷えた汁をすすらねばならなくなる。

また相当、量のいける人は、予め三本なり四本なり予定量を申渡しておくこと。もちろん一ぺんには持つて来ないが、次々とお爛ができてくるから手持無沙汰の心配は解消する。

☆お得意カード これは初めて泊つた店のはなしだが、中にはお得意様カードを備えていて、一度泊つたら、その客の嗜好を全部カードに取つてある店もある。そういう店へ二度目に行つた場合、だまつていても、あつ爛、ぬる爛は先方で心得ているわけ。もちろん甘党で、酒のいけぬ

場合も登録されているのである。

☆酒を断る法 今はそういう旅館も減つたはずだが、客に酒を強いる店がある。店というより女中がお相手したので、強いるのかも知れないが、温泉地、遊樂地などには現在でもままある。

いける口だつたら、一本ぐらいとるのが客のチケットのうちかも知れないが、奈良漬を食つても赤くなるという種類の人はどうしたらいいか。酒はいらないよと、あつさり断るのも曲がないと思つたら、女中の運んで来た茶菓子をむしやむしや食いながら、僕は元来このほうが好きなのでね、といさえすれば、怨敵退散である。

☆酒のお酌 こちらが女づれでない限り、お酌と給仕は女中がするのが常則。年かさの女中で

いけそつだつたら、一杯ぐらいいさすのが世間並みの常識だろう。しかし女中相手の酒よりは感心できないのはいうまでもない。

こつちが女づれの場合は、最初の一杯ぐらいついで引下がるのがふつうである。

☆食事に當つて 飯は最後まで女中が給仕してくれるのが正式だが、中には最初の一杯だけ盛つて、あとはごゆつくりどうぞと引下がつてしまふところがある。それは決して冷遇でも何でもなく、その店の流儀なのだから腹を立てないこと。

若い食いざかりの人などは、窮屈な給仕よりどのくらい気安いか知れたものではない。

女中はだまつて飯を盛る、こつ



ちはぼそぼそ飯をかむでは、およそ索寞たるものである。食事中は軽い対談があつたほうが飯も楽しく、喉を通るといふもの。年齢や出生地を聞くのが紋切方でいやだつたら、地方の名物、名所、変つた風俗などを聞くのもよからう。食膳に出た見知らぬ魚や、山菜などの名だの産地を聞くのも知見をひろめるに役立つ。

食事の対談中に、明日の出発時刻などをそれとなく暗示しておくのも策の上なるもの。

☆ご馳走の選択 高級旅館に泊つた場合、二の膳、三の膳と現われて、ご馳走は食いあますにきまつている。その場合、やたらに箸をつけずに選んで食うべきである。山の中のマグロのさしみだの、エビのフライなどはまづ敬遠すること。

発するようだつたら、出発時間、起床時間、朝食の希望時間などを就寝前に女中に通じておくこと。それでも不安だつたら、帳場の方へ電話で知らせておくのが安全である。ついでに明朝、読みたい新聞も頼んでおくほうがいいだろう。

☆土産物の依頼 旅館から土産物を調べてもらうのだつたら、その晩のうちに帳場に連絡するのを忘れてはならない。もつとも高級旅館には土産物の売店があるのがふつうだから、特殊のもののほか、帳場に頼まなくても済もう。

☆自動車とバス 明朝、自動車を利用するようだつたら、前の晩のうちに依頼すること。バスを利用する場合は、バスの時間をよく確かめておくこと。バスも前から申し込まないと席の取れぬ

その土地でなければ食べられないもの、或いは土地の自慢のもの、変つた茸とか、木の芽とか、湖川の川魚などというものに集中攻撃を加うべきである。それにも女中のアドバイスは、大いに必要なわけである。

また地方には、最後にひかえた漬物に地方色あふるる珍味のあることを忘れてはならない。

☆寢床が敷かれたら 寢床が敷かれたら、枕元に腕時計その他のものをまとめておく。灰皿や水さしは女中が忘れないだろうが、スイッチの所在だけは、はつきり確かめておくことを忘れてはならない。

☆明日の予定 明日も続けて泊るようだつたら、その旨を伝えるのはいうまでもない。明日出場合があるから、その場合は、やはり前夜に申し込むようにしておかねばならない。

☆支払い 朝食の膳の時、勘定書を頼むのがいい。朝は客が一せいに発つので、帳場は大混乱であるから、早目に頼んで置いたほうが無事というもの。かりにクーポン券持参でも、飲物代などの支払いは必要である。

支払いに必要な金は帳場にあずけてあるはず。ここで貴重品や荷物を帳場からもどしてもらつことにしよう。

☆勘定書の内容 勘定書の内容は三つの要素から成つている。宿泊料とサービス料と立替金である。ここにいう立替金とは、たの



☆茶代の問題 有名人になると有名料というわけに茶代もはずむ必要があるが、ふつう人の旅行には出さないほうが常識である。茶代の有無で差別待遇するような旅館は、そんな噂を聞いただけで泊らないのがいい。

もつとも宿泊料に比べて、旅館としてのサービスが格段によかつた場合は、その補償の意味で茶代を出すのは至当であろう。

☆長期滞在の支払い 長く一つの旅館に滞在する場合は、宿賃を三日目ごとに支払うのが不文律となつている。長滞在でかさんだ宿賃をふみ倒して、逃げ出す背徳漢もいまだに跡をたたないためである。

☆取消しの場合 宿泊を直接旅館に申し込ん

く使うのは慎むべきである。温泉旅館などでも女中を使うのは十一時までとなつている。ふつうの市中の宿なら、もつと早目に女中の使用は切上げられるはず。

一ぺんにいいつければいい用事を、何度にもいいつけるのも、女中の虐待といえる。なるべく一ぺんにまとめていくつかの用事を頼んでしまふこと。

電話で帳場に通せばすむ用事を、いちいち女中を呼んでいいつけるのも心ないわざである。あなたのビジネス・ワイフはいたわつて使うべきもの。何しろ彼女は、翌日はまた他の客にサービスを

する任務を負わされているのだから。お客風を吹かせて、いばり散らすのが、女中に

で置いたが、都合で取消す場合は、宿泊当日の午前中に旅館に電報で知らせること。もし通知がない場合は、旅館としては部屋を予定しておいて、他の客を謝絶することもあるわけだから、旅館にめいわくを及ぼすことになる。

交通公社から旅館券が出ている場合は、取消しは公社案内所に対して行えばいい。案内所から旅館に連絡してくれる。

2 旅館でのエチケット

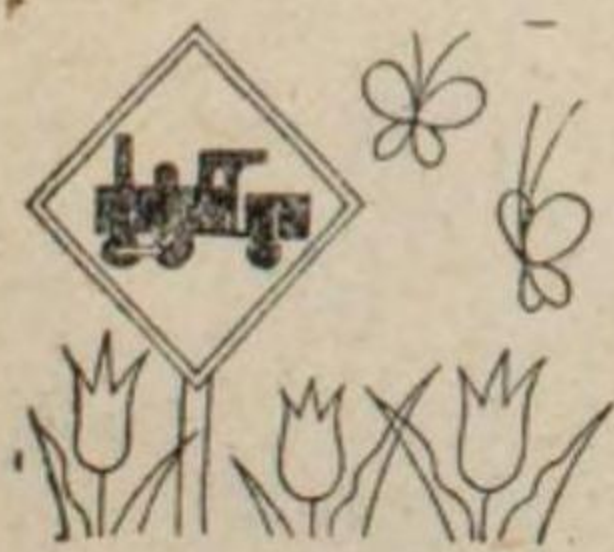
☆従業員をいたわること 旅館の従業員はすべていたわりの心で使うのが近代人のたしなみ。労働基準法などむずかしいことをいわなくても、早朝、深夜、極端な時刻はすれまで、遠慮会釈な

が一番嫌われる。たとえ金に糸目はつけなくとも、サービスに手を抜かれ、後で赤い舌をペロリが落ちというもの。

女中は、自分の家族と同様、感謝の心で使え、ほめながら、おだてながら使え、そうすればサービスは必ずよくなること疑いなし。

☆女中が気に入らぬ時 番の女中がどうも気に入らないことがある。これは人間同士の好き嫌いで、どうともしかたがないこと。そのとき彼女を傷つけずに、他の女中と代えてもらいたい時はどうすればいいか。

帳場に申し出て、番の女中はどうも、自分に気分が合わないから代えてほしいというのである。も



ちろんその時、彼女に落ち度があるわけではないが、と付加えるのが、エチケットというもの。

大旅館の場合は、女中の助手をしている年若いおすけ番というのがあるから、本番の代りにおすけ番をよこしてくれと申し込んでもいいわけである。

☆他人のめいわくにならぬよう 洗面台、浴

場、便所など公共的に使用するところを汚さないこと。湯に入る前には、かけ湯してから入ること。湯にぬぐい、タオルを湯のなかに持込まぬことはいうまでもない。便所が汚れていたら帳場へ知らせしておくこと。

旅館のゆかた、どてら姿のままの外出は慎むべきこと。ことに婦人のどてら伊達巻姿はみぐるし

い限り。もつとも山中の、人目に立たぬ温泉街の

場合などは除外例。ゆかた、どてらでどこの旅館の客と分るから、金を払わなくても信用でどんな物でも売つてくれる功德がある。

夜更けまで飲みつづけて、女中、芸者を相手の放歌高吟、さては唐八拳。まわり近所の善良な旅行者の安眠をおびやかすものはこれにとどめをさす。こういうエチケットを心得ぬ徒輩には、帳場を通じて断乎抗議を申し込むのも、一種のエチケットである。

徹夜の、ポンの掛声、牌をかきまわす騒音、こられた隣近所の安眠の妨げ。自戒をのぞむ次第である。

☆記念品か戦利品か 夕食の膳に出た盃の形

が気に入つた、記念に貰いたいと女中に頼んでも

らいうけるようなのが本当の記念品である。帰りがけに無断でスリッパをカバンに納め、ゆかた、

どてらを失敬するに至つては、どう考えても記念品の範囲を逸脱している。団体客の場合、座ぶとん、花びん、懸軸まで紛失することが往々あるそう

うだ。
こんな客があればこそ、旅館が客を警戒し、一げん客を拒む旅館などさえ生じるようになるのだ。旅館からの戦利品はやめてほしい。

しかしこの冊子の読者には、この種のエチケットは説かないほうがエチケットかも知れない。

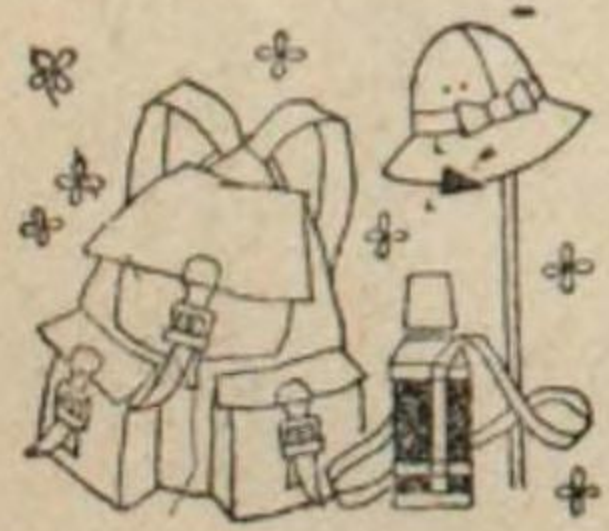
☆子供つれと老人 小さな子供つれで旅館に泊る時は、油紙かビニールの布片を寝床に敷いて

寝小便の用心をするのもエチケットの一つ。

老人がひとりで旅館に泊るのも、旅館がわとしては急病その他の心配があるので、同伴者がついて泊るべきである。

3 ホテルに泊る時

最近では全国津々浦々にホテルと称するものがめつきりふえた。都会ではいわゆる「連れ込み宿」それに外国の兵隊の集まつている所では、俗称「パンパン宿」が全部といつていくらい、何れも「ホテル」の看板を出し、温泉マークのネオンを屋上に明滅させている。しかしここで扱うホテルとはこの類でなく、旅客の宿泊を



専門とする、洋式の建築で洋式の施設をそなえ、経営が堅実で、内容が健康であるのを指すこととする。

☆ホテルの長所　ホテルのいいところは単独の客でも泊めてもらえることである。一般には、女性との同伴を歓迎する傾向が多いけれど、ここでは単独だからといって謝絶されることはまずない。

一般に日本旅館の部屋は開放的で家族的であるが、ホテルの部屋はプライベートを特色としている。その代りにホテルでは、ロビーや読書室を利用するわけである。

だから、女のひとり旅などには、ホテルが一番安心である。しかもサービスをするのが若い男子

ときているから申し分ないわけ。

☆カウンターで　ホテルの玄関のドアを排してはいると、正面なり左右なりに、カウンターがあつて、そこで事務をとつている。

空室の有無をたずねると、だいたい正直に答えてくれる。教室がある場合にはその選択はこちらがすればいい。ここでははつきりその料金を教えるところもあるが、こちらからきいてもおかしくない。

アベックの場合は、ダブルベッドのついた部屋を選ぶこと。適当なダブルベッド付きの部屋がないときは、シングルベッドを二つ並べるようにしてくれる。

それで話がまとまれば、旅客はそこに備付けの

帳簿または用紙に、住所、氏名、年齢を自分で書くことになつている。外人のために横書きの形式になつているから、日本の文字もそれにしたがえばよい。

☆部屋へ　記入が済むと、ボーイが荷物を提げて、その部屋へ案内する。ここでその部屋が気に入らないならば交換することもできるが、不満がなければ、ボーイにその旨を伝える。そうするとボーイはカウンターから持つてきたその部屋の鍵を渡してくれる。

☆部屋の鍵　この鍵の保管は、旅客の責任である。外出の場合は、室外から鍵をかけて、そうして忘れずにその鍵をカウンターに預けておくのである。これは必ず実行する義務があり、また永

い慣習だから、ホテルに泊る以上、心得ておかねばならぬエチケットの第一であるといえる。

また就寝に際しては、室内からその鍵を使用する。よく昼間など、部屋に起きていながらドアに内部から鍵をかける人がいるが、これはやめてほしい。ボーイが用件があれば、だまつて入りはしない、必ずノックして入室の許可を乞うからである。

☆部屋の料金　部屋の料金はその位置や面積などによつて相異がある。さらにホテルの等級によつても違うから、まつたくまちまちである。しかし、わが国の現在の物価状態では、最低八百円くらいと思わなければならない。そ



れでいて、あるいは裝飾もないまるで事務室のよ
うな殺風景な部屋であるかも知れない。またそれ
にバス——沐浴設備——が附属していると、どう
しても千五百円くらい払わなければならぬ。

☆食事料　ホテルには、昔は歐式と米式との
両システムがあつて、一は食事を含み、他は部屋
代のみというような別が行われていたが、今日
わが国ではほとんど室料の外に食事を払うこと
になつてゐる。だいたい朝食が三百円くらい、昼
食五百円、夕食七百円が相場のものである。

ただしホテルに泊つたからといつて、そこで三
食をとる必要はないので、外出先で土地の料亭に
はいつてもいいし、名物の食料をあさつてもい
いし、麵るいで我慢して帰宅してもいいのであ

る。それ故、器用にすれば、ある意味ではホテル
の方が経済につく。

信用のおけるホテルでは、三度三度食事をとら
ぬからといつて、嫌な顔をするようなことはない
はずである。

☆食堂　ここでまたエチケットに觸れるが、
ホテルでの食事は原則としては、食堂に足を運ぶ
べきである。簡単な朝食などは自室へボーイに運
ばせてもいいが、食堂の扉が開いたとの通知を受
けたら、早からず、遅からず、適當の時間を見は
からつて、食卓につくべきである。

この場合には、必ずキッチンとした服装を着けて
いなければならない。背広ならば、清潔なシャツ
とカラー、それにネクタイも結むべきである。夏

など開襟シャツでも許される場合もあるが、純白
に洗濯したのを着用してほしい。ただし夜食の時
は四季を通じて上着をきて席につくべきである。

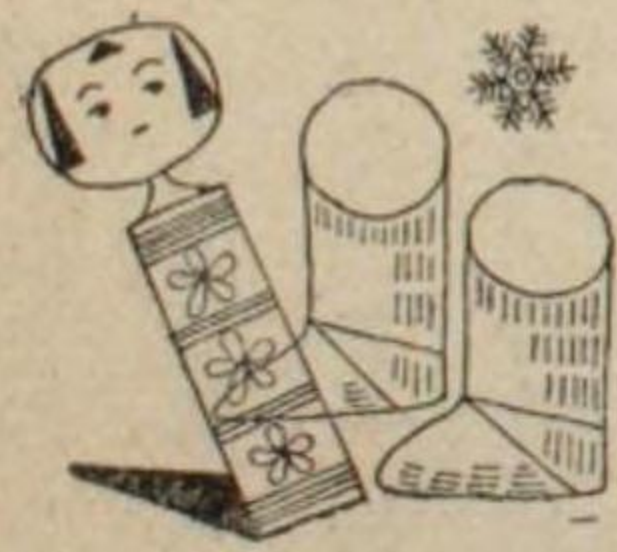
案内によつて指定された椅子に坐る前に、手を
洗うことを忘れてはならない。ホテルによつて食
堂専門のボーイがいるところもあるが、部屋ボー
イがこの時間だけ服装を変えて給仕するところも
ある。

同じ食堂でも大洋を航海する汽船のそれでは、
第一テーブルは船長と乗客数名、その他はこれに
準じて座席が前以て定められていて、それに従わ
なければならぬが、陸地のホテルの食堂では、
展望のきく卓、光線のあたる卓など、それを希望
すれば需めに応じてくれる。

再び昔話になるが、以前はここでメニューがあ
つて、そのなかからスープ、魚類のもの、獣肉の
もの等々を一品ずつ選んで注文するのがしきたり
になつていたが、いまはたいがい定食の形式であ
るから、面倒くさくない代りに、あじきない気分
もおこる。

☆食堂の酒　食事に際して、酒類を注文する
のも随意である。ビール、日本酒、葡萄酒など好
みに従うべきだが、その量を過してはいけない。
食堂において泥酔しないこと、これまたそのエチ
ケットである。

ここでは微酔を帯びる程度にと
どめておいて、さらに飲み足らな
いところはホテルの酒場に足を歩



んで、酔いを満たすべきである。ここではウィスキー、ブランデーのような強烈なものの注文にも応じる。

結局、食堂は早々に引き揚ぐべきであつて、話はずんだり、酒に酔つたりして、いつまでも頑張つていてめいわくをかけてはいけない。

☆食事料金の支払い　食堂では、その料金はその都度支払わないのがふつう。しかし、宿泊者以外のものの食堂利用の時は、その都度支払うことになつてゐる。また酒場では現金を支払つてもいいが、そのビル（勘定書）にサインしておいてもよろしい。

☆来訪者の場合　もし来客と面接する予定があつたら、前もつて部屋つきのボーイに自分の名

刺を渡しておくのも調法である。身分によつては待遇におのずから差別のできるのは人情であるからである。そしてその来訪に接したら、すべて部屋へ通させないで、ロビーで会うとか、酒場で話すとかすべきである。ことに異性の来客は、自室に招き入れることを絶対に避けること、また事情があつて、室内で面接する場合には、ドアを半開きにしておくことは勿論で、ここで扉に鍵をかけるなどは完全にエチケットに反することを銘記してほしい。

☆勘定の支払い　ホテルの勘定は出発に際して支払うのが原則である。室料、食事料、酒場の支払い、喫茶の費用、その他電話電報の立替など、すべて合計したものを請求されるから、一応

眼を通してから支払えばよろしい。

この際一割程度のサービス料を加算してあるのがふつうであるが、部屋付のボーイにチップを与えても笑われはしないから適宜に。

1 見物

☆用件の旅でも 遊覧

や見学の旅なら、見物が目的なのだから、問題はないが、公用、社用、商用などの用件の旅でも、時間の許す限り、見物するよう心がけるべきである。旅に出るとついおつくうになつて、また今度にと思つてやめてしまつて、その今度がなかなかめぐつて来ないことが多い。それは折角のチャンスを逸し、悔を後にのこすことになる。旅先ではおつくうがらず、

できるだけ小まめに見物しておくのが、旅行技術の一つである。

時間の許す限り、といったが、なかなか時間は許されないのがふつう。だから、少々時間は無理しても、といい直したほうがいいかも知れない。

朝十時からその土地の支店で会議があり、午後三時に終る予定だとする。会議が終つてから、その土地の見物をしようと思つていると、会議はするのびて夕方になり、それから酒席へ招かれてとうとう見物できずにしまつたというような例はいたつて多い。そういう時は、朝少々ねむくとも、できるだけ早起きをして朝のうちに、見物をすませてしまつて、それから用件にかかるというようにすること。

要するに、少し無理をしても、よくばつて見物

することなのだ。事実、今後その土地の土を二度踏む機会はめぐつてこないかも知れないから。

☆ハイヤーと遊覧バス 余裕があつたら見物

にハイヤーを飛ばすこと。この手を用いれば用件の旅行でも、見物のしそこないはない。この場合のハイヤーは、旅館に頼んだほうが安全で、ぼられる心配はない。

また最近遊覧バスが各地に走つて、バスガールが美声を張りあげ、美文調の説明を聞かせている。時には地方俚謡までサービスしてくれる。特別の研究とか、見学でなくて、一通りの名所旧蹟の見物程度なら、これを利用すれば、時間の経済にもなる。

定期の遊覧バスや観光バスが利用できる地方は次のところ。

東京、静岡、京都、奈良、大阪、白浜、別府、札幌、淡路、佐渡。

☆見物の目当 関西へ修学旅行に行つた学生に印象を聞くと、お寺とお宮ばかりでちつともおもしろくなかつたという。実際、日本人の見物なものは、従来あまり名所旧蹟に偏っていたのではあるまいか。旅先の見物対象は、もつと範囲をひろげて考えるべきである。それはもちろん旅行者の職業、経歴、趣味によつて違ふのは当然だが、見物は「過去」のものだけでなく、「現在」のものも含まれるべきである。



県庁の所在地には大ていその県の商工陳列館があつて、その県の商品、工産品の現状が一堂のもとに眺められる。郷土博物館などもその土地の過去と現在を知るに便利なところである。

工場施設なども、つてを求めて見学するのも参考になろうし、各種の取引所、市場なども地方の商況を知るのに見落しがたい所だろう。特色のある社会事業施設なども訪れてみたいもの。

地方特異の民俗、習慣もいい見物の対象だし、いいチャンスにめぐり会えば、古い伝統をもつ地方行事に好奇の眼をみはることもできよう。秋田のおぼこ、佐渡のおけさ、鹿児島のおはら、など地方地方の俚謡に郷土の歌声をたずね聞く余裕もほしいものである。

こつこつ現在の日本の観光なるものは、「はくせい」の観光である。生きた生態に触れない観光である。何もスラム街を観光しろというのではないが、旅行する以上は、訪れた町々の生きたいぶきに觸れるのが本当ではあるまいか。

☆高所からの大観 下村海南氏だつたと思うが、知らぬ都市を訪れた場合、まず高所から市を大観して、その市の特徴、印象をつかむことにされてる人がある。近代的な高層建築の屋上からでもいいし、城下町で城が残つている場合は、天主閣から、あるいは眺望のきく丘の山から、いずれにせよ都市の大観は高所からつかむに越したことはない。そうして見てはじめて、仙台が森の都と呼ばれ、松江が水都と称される理由が生きてつ

☆都市の印象 旅先でおとずれる町々は、おのおの別な体臭がある。ちよつど人間の顔が一人一人違うように、町は一つ一つ違う感じを与えるものである。

ふつ々の旅行者は、駅と駅前近所、そればかり場ぐらいで、その町の印象を決定してしまふ。しかしこれは全然浅薄な観察である。都市の生活様相というものは、もつとはるかに奥深い。奈良市の場合でいえば、奈良の公園の部分しか遊覧客は歩かないが、本当の奈良市民の生活は遊覧客の眼のとどかない所で、しずかに根強くいとまがっているのだ。宇治山田市でもおなじこと、遊覧客は観光面しか見せられない。市の本当の生態はいわゆる観光ルートでは觸れることができない。

かめるわけである。この場合、市街図を携行すれば、さらに理想的である。

☆地方の色とにおい 地方を旅行する場合、そこに東京、大阪などの大都市的なものを探し求めて歩くのは、何も意味がない。それなら、何も旅行しなくて満喫できるわけだからだ。

地方の都市を訪れたら、その土地土地の色とかにおい、地方色とか郷土色とかいうものをかぎ、味わい分けるのが本筋ではあるまいか。
金沢や松江に残る武家屋敷町の品位と落着き、長崎に漂う紅毛情緒、札幌の開拓史的雰囲気、こつこつものに触れずに過ぎる旅行者があれば、気の毒というほかはない。



駅前のパチンコ屋は日本中、どこでもおなじこと。パチンコ屋の武者修行では、通行者であつて、本当の旅行者とはいいがたい。

ところが、土地の人というものは、案外自分の土地の良さ、郷土の特色を知つていない。本当の田舎でして、などと大都市文化の尺度から自分の土地を測つている場合が多い。

四つの島しかない狭い日本でも思いがけない所に思いがけない掘り出し物がある。これこそ「日本発見」である。そしてその発見こそ旅行者のみならず許された特権でもあるのだ。

☆国宝と天然記念物 古美術、古建築などに少しでも興味のある人は、旅先の国宝や重要文化財は見のがさぬこと。史蹟名勝天然記念物に指定

されているものも見て損になるものはない。国立公園、国定公園は、わざわざ行つてもいいようなもの、それが旅先のついでに訪れられるなら、どんな無理をしても、その一端なりともぞくべきである。

2 昼飯など

☆昼飯はどうする 朝と晩の食事は旅館でとるが、昼飯はどうしたらいいか。汽車中なら、駅弁か、食堂車を利用するのが定石だろう。しかし大都市の生活者は、ふつう朝はパンぐらいの軽い食事に慣れているので、旅館で米の朝食を十分撮つたら、昼はさほど、重い食事の必要はないことが多い。車窓から求められる地方特産の果物とゆ

で卵ぐらいで間に合う場合が多かるう。戸塚文子

女史などはゆで卵の礼讃者で、女史によると、人間はうそをつくが、鶏はうそをつかないからいいというのだ。上戸の人は、一合の酒を水とともに撮つただけでも昼はしのげる。というのは、旅行中、昼飯のために時間を潰すのが惜しい場合がままあるからである。

☆名物の食い物 時間と金に余裕があるならば、地方地方の名物の食い物をあさるのも旅のよい思い出になるう。これらのなかには、駅前で、あるいは盛り場で、簡単に食べられるものもあるが、土地の高級料亭ののれんをくぐらねば味わえぬものもある。

〔東京〕すし そば うなぎ 天ぷら

〔横浜〕中華料理

〔土浦〕うなぎ

〔白河〕そば

〔松島〕うなぎ かき あなご

〔秋田〕しよつづる はたはた

〔長野〕そば

〔金沢〕ごり料理

〔高山〕山菜料理

〔福島〕つぐみ そば 茸

〔諏訪〕しじみ汁 ふな

〔浜松〕うなぎ

〔名古屋〕きしめん

〔一宮〕なまずかば焼

〔岐阜〕あゆ



〔桑名〕 はまぐり

〔松坂〕 牛肉

〔大津〕 ふな料理

〔京都〕 いもぼう すつぽん 押ずし さばず

し 普茶料理 にしんうどん きつねうどん

〔大阪〕 押ずし かき船料理 まむし きつね

うどん

〔神戸〕 中華そば 牛肉

〔堺〕 そば

〔松江〕 七珍味(しじみ、すずき、こい、わか

さぎ、しらうお、うなぎ、えび)

〔鳥取〕 松葉かに

〔富山〕 さけずし

〔和歌山〕 すずめずし

〔尾道〕 たい かばやき

〔広島〕 かき うおすき

〔下関〕 ふぐ料理

〔門司〕 ふぐ料理

〔小倉〕 ふぐ料理

〔博多〕 水たき たい料理 しらうお料理

〔長崎〕 中華料理 しつぽく 水たき

〔高知〕 かつおたたき

もちろん、これは昼飯にかぎるわけではなく、

浅宵、盃をあげて、土地独得の歌舞とともに味わ

えば、情趣ひとしおなものも含まれている。

☆構内食堂のある駅 主要駅の構内に食堂の

ある所がある。発車を待つ間に利用するのにも便

利である。

〔東海道線〕 東京 新橋 横浜 沼津 豊川

名古屋 京都 大阪 三の宮 神戸

〔北陸線〕 富山

〔篠ノ井線〕 松本

〔山陽線〕 岡山 福山 広島 徳山 下関 呉

小郡

〔関西線〕 奈良

〔紀勢西線〕 東和歌山

〔東北線〕 上野 郡山 仙台 一ノ関 盛岡

青森

〔奥羽線〕 弘前

〔磐越西線〕 会津若松

〔総武線〕 両国 銚子

〔鹿児島線〕 門司港 門司 熊本 鹿児島

〔長崎線〕 長崎

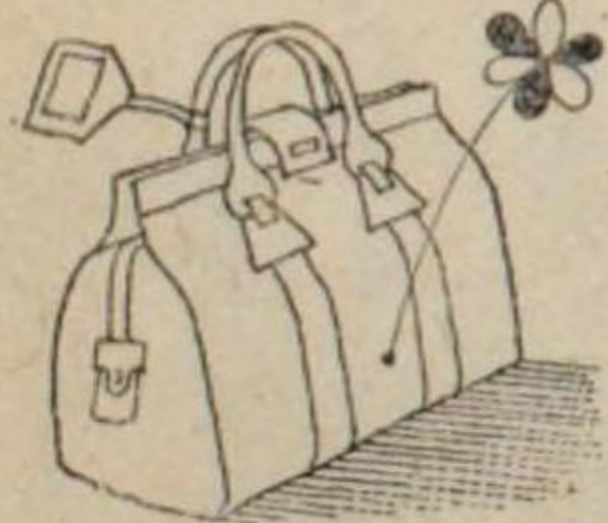
〔高崎線〕 高崎

3. 旅と収集

旅のおもいで、後日の追憶のために、記念の品
品を旅先で収集して帰るのも興味があるものであ
る。

それかといつて旅館に泊るたびごとに、そのの
灰皿を失敬し、酒盃をあたためて、自宅の部屋に
それを並べたり、飾つたりするのは、悪趣味どこ
ろか、不徳義な行為だから、賛成
できないのは当然である。

☆ラベル 昔から外国を旅行
すると、その鞆にホテルのラベル



を貼つてくれる習慣がある。図案色彩にその国々の特徴があり、都市や海港のにおいが、いつまでも漂つていて、おもいでのためには絶好の記念になる。

わが国では糊でべつたりと貼るのは、あまりよろこばれないとみえて、紐で結ぶのがはやるようであるが、これなど公用、社用さては商用で、いつも東奔西走、旅を続ける人には適当な収集目標としてすすめてよいものである。

☆郷土玩具 だいたいコレクションというものは、これに限らず、何かの標準とか範囲とかをきめてかかつて、類似したものをたくさん集めるのが興味深いものなのだ。

それには郷土玩具などはどんなものだろうか。

クションをすすめてみたい。

つまり仮りに一週間の旅行とすると、その一週間の間に手にはいるスクラップを克明にためてみるのだ。例えば汽車に乗つて、食堂車の案内ビラを配つてくれば、早速それを、地方紙を買えば、そのタイトルを切抜いておく。さては駅で車窓から買った弁当、すし、サンドウィッチ類の包紙、酒瓶のレツテル、名産の説明書のたぐいまでしまつておく。

宿に着けば、その旅館の名のついた印刷物から領收証のようなものまで、さらにそれが観光地であれば、宣伝の意味で頒布しているパンフレットのたぐいまで、どんな印刷物でも手当り次第にあつめておくのだ。

歴史性もあり、地方色もあるのが、意味があるといえる。そしてまず最初には漫然と収集してもおもしろいものだ。しかし少し蓄積すると、おのずから系統を立ててみたいという意欲がわいてくるものだ。つまり「馬」なら馬、「土鈴」なら土鈴で、その地方地方による僅かな相違に興味をいだくようになる。

☆スクラップの収集 それはひとり玩具にとどまらない。ようかんの包紙でも、駅弁の表紙でも、マッチのレツテルでも、ある相当の数量になると、途中で止めにくくなるところに魅力があるわけだ。

しかし機会と時間と経済的な余裕とがなくて、めつたに旅に出られない人には、次のようなコレ

☆記念のスクラップ・ブック それを一回の旅行ごとに、スクラップ・ブックにきれいに貼るのだ。その間に絵ハガキや写真を交えるのもおもしろい。何年、何十年か経つてみると、交通路の変遷から物価指数までがわかる、好個の記念帳が一冊残ることになる。社寺の納経の集印や、名勝スタンプの収集とはまた別の味わいのある追憶の材料といえよう。

4 メモランダム

☆一冊の手帳 ふだん日記をつける習慣がない人でも旅先ではメモをつけておくがいい。そのために一回の旅行に一冊の手帳をあ



てておく。何も人に見せるような文章を書く必要はない。その日の天気、旅館の朝晩の献立、女中の名、バスの発着時間、途中の感想、なんでも、断片的でいいから、書きつけておくがいい、あとになつてから思いがけない時、参考になるし、いい思い出にもなる。

☆支出のノート 旅先でかかった金も、手帳に記しておくこと。これもいい記念になる。納経の印に十円出したとか、あんまにいくら払つたとか、つまらぬこともあとになるとおもしろい。この支出簿は税務署に見られても、心配は無用だから、細大もろさず記入しておくほうがいい。もつとも家庭争議をひきおこすような支出は、上手にごまかしておくことを忘れてはならない。

5 旅先の通信

☆列車と電報 列車から電報をうとうとする時は、頼信紙に書いた電文に電報料を添えて、電報取扱駅のフォームにいる駅員に託せばいい。電報取扱駅は時刻表に〒の記号で表示してある。主要駅には電報の腕章をつけた駅員がいるから、それに渡すこと。なお列車車掌に頼んでも、取扱つてくれる。電報をうつつた時は、そのメモを手帳にとつておくがいい。

自分の乗っている列車に、返電をもらいたい時は、列車番号を知らせてやること。

列車中にいる人にあてて電報をうつつ場合は、次のように書く。

(例)

ナゴヤエキ……………配達希望駅名

コ5・48ツウカ……………配達駅通過時刻

(列車の名称でもよい)

オオサカユキ……………列車の行先

二トウ……………客車の等級

ヤマダアイコ……………受取人名

列車へ電報をうつつ場合、どこでその電報が配達できるか分らないことがあるから、電報取扱駅の電報取扱の窓口に行つて、相談したほうが安全である。

☆電報料金と略号 普通電報は十字以内、五〇円、五字増すごとに十円増し。指定略号は語数に算入する。

ウナ(至急)……………電報料と同額

チラ(追尾) 受信人の行き先に移動がある時、

受信人を追つて送達されるようにする……………

……………追送一回毎に電報料と同額

ムナ(留置) 着信局に電報を留めおくもの……………

……………五円

ヤム(局待) 発信人が発信局で受信人の返信を

待つているもの……………五円

☆ムナとヤム ムナすなわち局留置や、ヤム

すなわち局待などは、旅行者には調法な取扱いである。局に留置かずに、駅あてにうつつて、駅に留置してもらつこともできる。

なお、手紙を局留置にして出す



のも、旅行者との連絡方法として便利である。

長い旅の場合、いつごろはどの辺を旅行しているか予定は分つてはいるはず。出立前に、いつごろまでなら、京都のどこに、いついつまでなら長崎の何氏方にと、連絡先を家に書き残しておくだけの用意は忘れてはならない。

☆旅便り 旅に出た場合、ふだん無沙汰している所へなど旅の便りを送るのもいい思ひ付き。相手が興味を覚えそうな絵ハガキを見つけて、それに便りをしたためるのもおもしろい。宮島のしやもじ、長崎のたこ(はた)のおもちやなども切手をはつて郵便に出せる。

6 身だしなみと救急

☆洗面所のある駅 汽車の長旅をおえて、フ

ォームに下り立つた時、その町に人を訪問する用件はなくとも、一応、顔、手などの汚れを落し、鏡の前に立つて、髪を整え、ネクタイを正したいもの。ことに夏の旅行には顔が洗いたくなるのは自然の要求だろう。トンネルですすけた顔で、旅館の玄関に立つのも気がひけよう。駅に洗面所のあるところは、時刻表に☉で表示されている。

☆赤十字のマーク 駅の構内に赤十字のマークのもとに、日本赤十字社の医師、看護婦が派遣されていて、車中の急病、旅先の事故にそなえてゐる。派遣所のあるのは、次の主要駅で、奉仕は無料。

〔東海道線〕東京 桜木町 静岡 米原 大阪

〔篠ノ井線〕松本

〔関西線〕亀山

〔東北線〕上野 宇都宮 福島 仙台 盛岡

青森

〔常磐線〕水戸

〔信越線〕高崎

〔奥羽線〕山形

〔羽越線〕酒田

〔鹿児島線〕門司 博多 久留米 熊本 鹿児島

島

〔長崎線〕佐賀 長崎 佐世保

〔日豊線〕大分 宮崎

お土産

VII

1 選び方

旅から帰るとき、何にもお土産をもたずに手ぶらで帰つて来る人がよくある。

旅先から山のようなお土産を持ち帰つて社交の具として悪趣味への反撥からでもあろうし、かさばるものを持つのはばかばかしと感じるからでもある。

ある。
旅のたのしみに胸をふくらませて帰る当人が、留守を守る家族に、隣近所の人に、さては知人友人に旅のお土産をおすそわけするのがお土産のはずである。

☆無意味なお土産　いよいよ帰路につくといふとき、あわてて駅前の土産屋か何かで、内容もよく吟味もしないで、おなじ箱詰めを数十と買い上げ、帰宅してから、おなじ品を一律にお土産として配っている人がある。しかし、こんなお土産は、無意味なお土産というほかはない。

☆もらう側に立つて　お土産を選ぶときは、もらう側に立つて、どんなものが喜ばれるかを考えてから選ぶこと。左党の友人がようかんを配ば

う。
☆旅のにおい　たしかにお土産は社交の具ではないはず。上役へのつけとどけでもないはずで

られてもありがたくないし、甘党の知人がうに、塩辛のような酒の肴ではめいわくすることもあろう。相手の人、相手の家庭をよく考えて気をくばつて選ぶこと。こうした心のこもつたお土産なら、金銭の多寡によらずに感謝されるだろう。

☆お土産の豪華版、安価版　お土産は旅のにおい、旅の空気をわかつものだから、地方地方の特色のある産物を選ぶのが本格である。

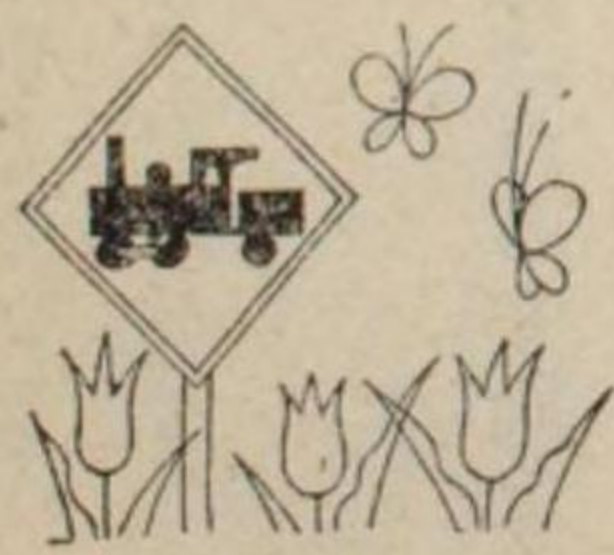
札幌へ行つた人が、そのシーズンに新巻鮭を同地の百貨店から鉄道便で送らせるとか、長崎を訪れ、べつこつ細工のシガレット・ケースとクシとを買い、それにからすみとカステラをそえて知友に送らせたりするのは、地方色の出たいお土産だが、大衆にはやや縁の遠い豪華版であろう。だ

が、頭の働きよう一つで、そんな金も使わずによい土産もできるのだ。

例えば、友人に石の収集に興味をもっているものがあるとする。そういう友人への最上のお土産は、旅先の河原で拾い上げた色美しい一つの石ころであろう。

知人にマッチのレットルの収集家がいるとする。彼に対しては、旅行中ずつと集めて来たマッチの空箱にまさるものはあるまい。貝殻のコレクションに凝っている高校生にその珍奇な品種を捜し出して来てやれば、絶大な感激をひきおこそうというもの。

お土産には金を使うばかりが能ではない。頭をはたらかせれば、



一文の金を使わなくても、まごころのこもつたお土産ができる。

旅先ですつと買いあつめて来た絵ハガキは、平凡ながら家庭へのよい土産である。家庭のだんらの席上で、順番にそれを披露すれば、旅のアルバムが開かれることになる。都会の主要建造物と繁華街、由緒のある神社仏閣、さては温泉、海岸、山岳、河川、湖沼と土地で自慢の風物はすべてその写真におさまつていて、土産ばなしをいよいよ生彩あらしめるだろう。

ことに家庭に学童がある場合には、社会科の研究資料にも役立つから特に歓迎されよう。

また家庭によつてであるが、年寄りに神社仏閣のお札とかお守とかが喜ばれることが多い。もち

ろん、神仏への信仰のない老人には向かないし、宗旨が違つては拙い場合もあるから、そのころは頭をはたらかせる必要がある。

土俗玩具なども、人によつては喜ばれる安価な土産である。ことにコケシ人形の収集に興味をもつている少女に、その新しい形態のものを見つけて来てやつたりすると、ひどく喜ばれることがある。

☆味覚のお土産 地方地方の風味を土産とするのは、やはり旅のにおいを分ち合うのだから、贈られてうれしい。

菓子でいえば、金沢の長生殿とか福岡のけいらんそうめんのような高級品でなくても、京都の八つ橋、豆板、大阪の粟おこしのような大衆版でも

相手によつては結構。

しかし、できれば季節のものをお土産にしたほうがまごころがこもるわけ。京都へ旅したとすれば、すぐきとか、さてはまだ赤土の乾かない筍とか、まだ笠のかたい松茸とか、季節季節のものを携えて帰るのも豊かな気持にあふれた土産である。

一般に食通といわれる人々によろこばれるものにも、東京の海苔、名古屋の守口漬、大阪のとりろこぶなど、各地の名産は枚挙にいとまないほど多く、土地土地の味わいをほこつているわけである。

☆いつまでも調法なお土産 風味のお土産は一時の味覚をたんのうさせるだけのもの。それにくらべて、什器のいは、物によつては一生道具に

もなり、旅のよい記念品となつて残ろう。

京都の清水焼、佐賀の有田焼などに限らず、各地には各様の特色のある陶磁の器がある。陶磁器がこわれやすいと思うなら、漆器に代えてもよからう。会津若松、能登輪島など、方々に有名な産地がある。少し奮発して吸物椀五客でも求めて帰れば、家庭の重宝として、永年の便利でもあり、好個の旅の思い出にもなるう。

あるいは高松の松盆、別府の竹盆など、これを五客分揃えるのは、少しぜいたくな土産かも知れないが、余裕がある旅なら喜ばれる家ずとである。

しかし、これでは金高がかさむという向きには、茶盆一枚でも結



構。日光や箱根などの、木地細工で丈夫なものは一生道具である。それも悪趣味なでこした彫刻などのないものがよく、ただ地名ぐらい彫つてあるものなどが好ましかろう。

なお地方地方の民芸品、郷土玩具にもよい土産となるものが多い。洗練された工芸品よりも、土の香のただよう民芸品、郷土玩具の方が土産にふさわしいのはいうまでもない。それに値段のやす上りなもの、何よりである。

☆お土産はどこで買うか　ところが、そのお土産をどこで買い求めるかが、また技術の問題である。

高級な旅館には土地のお土産品の売店のあるところもあるし、その帳場に依頼して調製させるの

も、確かに安全で便利である。

それが思わしくないと考えたなら、都市では駅の売店とか土地の百貨店を探すのも一つの手である。そして繁華街とか目抜の大通りとかを歩き回つてみて、信用のおけそうなその専門店を見つけて出すのも興味あることだ。

☆有名店で求める　お土産にはその土地によつて代表店、有名店がある。多くは老舗であつて歴史と伝統をまもつていて、信用のおけるものだから、それをまず探し求める必要がある。看板とか、広告とか、土地の人々の噂話によつてそれを判断するのがいい。

☆避けたほうがいいもの　ここで注意しなければならぬのは、その土地の製品ではない、即

ち他所からの輸入品を欺まされてつかまされることだ。

当今は遊山に人の出さかる場所を目当てに各種のいわゆるお土産品を大量製産して卸す商売が発達しているので、地名が違い、商標が違つても、なか身が全く同じ品というものはらんしている。東京できの、いわゆるお土産品を、鼻高々と東京へ持ち帰る紳士諸君もまれではない。しかしちよつと心を用いれば、それが輸入の土産品であるかどうかは、すぐ看破できるはずである。

上げ底もそうだが、容器ばかりかさ張つていて、内容が貧弱な土産品も後をたたぬ。それにようかんなるいなどには品質が粗悪で、数日後には腐敗するものさえある。こんなものをお土産でございと

進呈したのでは、はじをかくのはてきめんである。どんな内容だか調べてみるだけのまごころがぜひ必要である。

伊豆の島で、特産のはずの黄八丈だのバター、椿油などが、東京にくらべて高いことがある。産地だからやすいときめてかかるのも危険である。おなじ品物がやすく大都会で手に入るなら、そんな品をお土産にするのはばかげているのはいうまでもない。

☆お土産は直送　車中に戦利品のように土産の山を持ちこむ人もあるが、こんな愚劣なことにはない。これではお土産のお伴の旅行になつてしまふ。



お土産はそのつど買った店から、自宅なり、贈り先などへ直送させて、身軽に旅をつづけるべきである。また自分で宿で荷造りして、帳場に発送をたのんでもよい。送れぬものはやむを得ないが、送れるものは送つて、手まといを少なくすることが旅を楽しくする秘訣の一つである。

旅の衛生と医学

VIII

1 健康な旅

俳聖芭蕉の句に「旅に病んで夢は枯野をかけめぐる」というのがあるが、実際、旅先での病気くらい、不安であり苦痛であるものは少なからう。不案内の土地、顔見知りのない土地で病に臥すほど心細いことはあるまい。

その旅行が公用であつたり、商用であつたりすれば、途中でその目的は頓挫するし、物見遊山のそれならば折角の楽しみも水泡に帰してしまふ。

それ故、たとえば東海道五十三次を徒歩で、駕籠で往来した昔にも、道中で病気にかからぬ用意をくだくだ書き誌した書物も出ているくらいだ。旅に出れば水が変る。その水にあたつて病気をする。これはいい古された言葉だが、生活がかわり、環境がことなれば、身体に違和をおぼえるのはありがちな次第、ことに旅先では、ほんのちよつとした油断から病に侵かされやすいもの。注意して健康で旅をつづけたいものである。

☆感冒と手当 早い話が、汽車の速度は相当のもの。上野を出た夜行列車は、翌朝には仙台よりさらに北の方を走っていることになる。東京の暖かい夕靄につつまれて出かけた乗



客は、東北の冷たい朝霜に身ぶるいするといふこともありうるのである。

気候の激変は第一に感冒の原因になる。ことに冬季、車室がスチームで暖められている時、降りて急に外気に触れた時などは往々にして風邪に罹りやすい。それ故、常にこれに対処する心掛けが必要になる。

精神の緊張がちよいとしたりはずみで弛んだ時によくやられる。車室でうとうと居眠りをした時などその例といえる。

温度の激変に気づいた場合、それが降車して外気にはじめて触れるとしたら、ハンカチなどで、しばらく慣れるまで、鼻口を押えているなどの注意が必要である。

ガラガラ鳴らさなければいけない。

こんな手当をしても、発熱したり悪寒を覚えたりすることがあるが、その場合、携帯した薬品があればその厄介になる。しかしどうしても感冒薬の入手困難な時は、すぐ宿について寢床をのべてもらつて、安静をはかるにこしたことはない。この際、食欲がなくとも、消化のよいものだけ適当に選んで腹をみたし、そのうえ葛根湯とか梅干湯とか砂糖湯とか熱いところを一、二合飲んで眠りに就くのが一番簡単なやり方である。感冒も軽いうちならこんな手当で一、二回でぬける。

☆不眠症と手当　次いで旅で悩むものは不眠症である。部屋がかわり、寝具がかわると寝つきがわるくなり、睡眠が浅くなる。ことに神経質の

それに被服の調節が肝要である。車室では外套を脱いでいて、少しは寒いのを我慢しておいて、外気にふれる時、それを羽織るとか、セーターを脱いだり着たりするとか、それをマメに行うことによつて相当に感冒の予防ができる。

こつという寒暖の差は、距離によつておこるばかりでなく、土地の高低によつても甚だしく違つてくる。山岳地帯では、夏でも涼しいこともあり寒いこともある。これまた風邪の原因となる。

すこし怪しいと自覚したら、すぐ手当をすることだ。それには、うがいが第一である。薬品の持ち合せがなかつたら食塩水でも結構だから、それでうがいをすることだ。それもぶくぶくと口に含んですぐはき出すのでは無意味であつて、咽頭で

人にこの傾向が強いし、旅馴れない人に多いものである。

手当としては、平凡ながら神経を太くすること旅馴れをすることだが、一晚ぐらい眠れなかつたといつて、いらいらしたり、くよくよしてはいけない。睡眠は人間の本能だから、三晩めくらいになれば、いやでも応でも、ぐつすり寝込んでしまふようになるものだ。

それにしても、寝具を軽くしてみたり、枕の堅さをなおしてみたり、他から洩れてくる光線をさえぎつてみたりなどのわずかな工夫でたやすく寝つくこともあるから、寝つきのわるい時には、その原因を一応考えてみる必要があ



る。

それでも観光地などに泊つた時、おなじ屋根の下で夜おそくまでドンチャン騒ぎをされたり、都会の駅前の旅館で、汽笛からはじめて自動車の騒音雑音等々で悩まされて、まんじりともできずに悲鳴をあげることがある。こんな時には催眠剤の持ち合せがあればよかつたと後悔することもなきにしもあらずである。

☆便秘と手当　また旅を長くつづけると、便秘をおこしやすい。日程に追いまくられて落ちつかないこと、食物の関係、便所の不馴れなどが原因となるが、このまま放置すると、気分が重く、折角の楽しみが半減する。

緩下剤で調節する手もあるが、旅館で供される

食膳をうまく選んで食べることによつても、ある

程度予防できるのである。とかく宿亭の料理はきれいごとにてきていて、魚、肉、鶏卵などがその材料であるから、脂肪や蛋白にはこと欠かないかも知れないが、便通を催すために必要な繊維質などが不足するから、膳部の上にある野菜のいから新香まで十分食べるように心掛けるべきである。また果物によつてビタミンBなど摂取することも必要である。それでもなお便秘の傾向があるようだったら、いよいよ下剤の世話になるのであるけれど、旅の途中リンゴを売っている店を見つけたら、それを買つて皮ごと食べるのも一策である。

☆指頭消毒器　リンゴをかじるのに、洗わなければ気のすまないような潔癖な人だったら、前

もつてアルコールを綿にしたしたのを持ちあるいて、それで外部を拭いて食べるがいい。

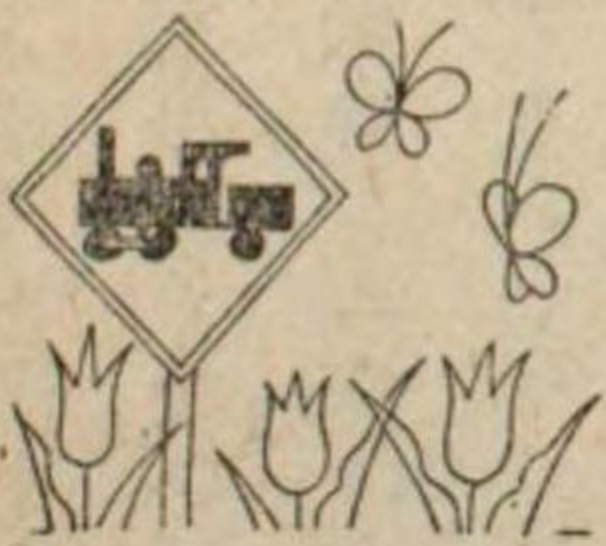
医者が往診にもつてある指頭消毒器というものがある。百貨店にも並んでいるが、小さな階円形のニッケルメッキ製の扁平なもので、携帯に便利にできている。蓋をあけて、その空間に脱脂綿を十分詰め込んで、アルコールをじくじくになるまでそそぎかけておく。

それを消毒ばかりでなく、こんな場合、ものを洗う代りに使うのである。これはまた列車などの便所に水が出ない時、手指を拭いておけば、清潔になつたようで気がすむから、旅行にはぜひ携帯すべきものと思う。

☆中毒の予防　途中の弁当とか、旅館におけ

る食膳とかの腐敗などによる中毒——場合によつてはプトマイン中毒とか、ゲルトネル氏菌による中毒というものまで含めて——があるが、そのなかには絶対に予防のできない、いわゆる不可抗力によるものもなくはないが、ちよつとした注意で避けられるものもある。

たとえば団体旅行に参加した時など、弁当の熱い飯に詰め合わせたおかずの玉子焼やかまぼこはとかく腐りやすいから、色や匂いがかわつていたら、まず敬遠するのが無難である。お膳についてからでも、季節によつてはそれに出るかのおの刺身などで蕁麻疹をおこすこともある。また茸のいにおこすこともなくはない。



それで鮮度のうたがわしいもの、いくらうまそうでも食い馴れぬもの、自分の体質に合いそうもないものは、箸をつけないのが安全で賢明だということになるわけである。

2 旅に携えたい薬など

未来の不測の出来ごとを予想して薬品やホウタイ材料などをたくさん携えてゆくのは、折角の楽しい旅行の気分を暗くさせるから、ほんの応急手当の準備にとどめたい。荷物としてかさばらぬように一石二鳥になるものを主として選んだから、ポストン・バッグの片隅に化粧道具と隣り合わせにでも詰めておいてほしい。

☆めぐすり　　まず汽車の煤煙、電化した路線

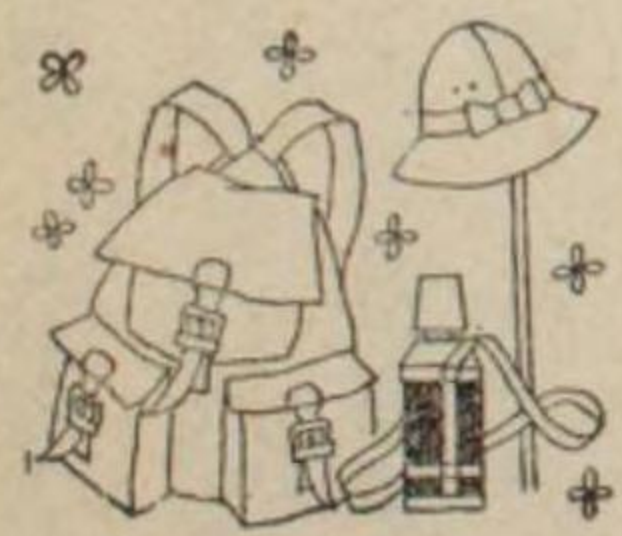
ではその心配はないが、黒煙がもうもうと渦を巻いて車窓から飛び込んでくる場所も少なくない。偶然その炭塵が眼にはいつた時の不快と疼痛はすごいものだ。こういう場合は少しもあわてず、静かに眼をつぶることが肝要である。数分間眼瞼をとざしていると、おのずから涙が湧いてくるからそれでその異物を洗い流すようにつとめるのだ。この際、掌でこすることは絶対に禁物。しばらく我慢していると、眼がしらから、黒い小さな塊が出るから、それを清潔なハンカチで拭きとればよいので、むりにあせつてはいけない。そのあとは、市販の点眼薬を一、二滴たらししておけば安心だ。それで「めぐすり」の携行が必要ということになる。

☆ヨードチンキ　次に、ヨードチンキの小瓶を持つてゆくことも、まんざら無駄ではないらしい。列車中や旅館内やあるいはその途中で小さな傷をこしらえた時、すぐ塗布しておけば安全、擦りむいても、足にまめをつくつても、打撲傷をうけても、「ヨードチン」万端でやれる。ことに菌くきがはれた時などにも使えるから、この点「赤チン」と愛称される「マーキロ」よりも調法である。

☆脱脂綿　旅行のあいだに登山するとか、長いハイキング・コースをたどるとかいう場合のほかは、いわゆるホウタイ材料を持ち歩くまでもあるまい。「ホウタイ」「ガーゼ」「三角巾」ときはあまりにおおげさすぎるかも知れぬが、少なくとも「脱脂綿」ぐらいはあつたほうがよからう。

ことに女性の場合には絶対に必需品である。それというのは女性特有の生理現象が、旅に出るとにかく狂いやすいからである。精神的または肉体的な動揺や刺激のために、予定している期日に変調を呈すから、その準備がないとめんくらつたり、あわてたりすることが度々ある。そのためには「携帯綿」などと称して売っている体積を圧縮したものが便利だろ、う。

☆アスピリン　夜行列車で安眠できなかつたり、旅館で、部屋や寝具がわが家と違つていたり、め熟睡できなかつたりした翌朝は、よく頭痛をおぼえることがある。それに宿酔いによる場合も考えられる。俗に地酒と称するもの



も、地方色があつて、風趣掬すべきところがあるのだが、あまり度を過すと、いわゆる頭ピンの症状を呈することがある。

こういう場合のため「アスピリン」の携行が望ましい。その〇・五の錠剤一錠で痛みは消える。またむし菌がいたみ出した時には、その少量を粉末にして孔につめると、急場は凌ぎ得られることがある。

☆鎮痛剤 最近の鎮痛剤には、市場にかなり優秀なものが出回っている。例えば「サリドン」「セダロン」「ピラビタール」「グレラン」の如きものであるが、こんな新薬はただ頭痛に効くばかりでなく、歯痛、胃痛、腰痛から筋痛、関節痛などすべての神経痛をその苦しみから救つてくれる。

突然におこる胃けいれんとか、腸けいれんなどの痛みにも注射の代用になるし、ことに婦人の生理痛にも効果があるので、「アスピリン」に代るものとして推賞される。

☆催眠剤 これに近いものに催眠剤がある。乗りものの動揺、混雑、騒音のために終夜眠りが浅かつたり、全く熟睡できなかつたりすることは旅ではよく経験する。旅館についてからでも、平素の寝室と条件がちがうために、一夜を輾転反側に過すこともある。こんな場合でも、よくしたもので、翌晩はぐつすり眠られるものだが、神経質な旅人は、こういう状態を幾夜もつづけることがある。これでは身体が弱つてしまうから、どうしても催眠剤を使わぬわけにはゆかなくなる。

連用することは習慣になつて有害だが、たまに一晩くらい用いるのはさほどわるい影響はないようだ。それには「プロバリン」の錠剤が適当だろう。その一錠をあたたかい砂糖湯などで服用してから床に就くのである。薬局で売つてゐる「カルモチン」でも間に合う。

ここでは催眠剤として紹介したが、それはもと鎮静、鎮痛の作用もあるから、この錠剤一個で、前に述べた頭痛から神経痛までも治し得る場合もあるから、まず旅行の必携薬とも称し得るだろう。それにいわゆる船酔いなどの乗物の酔い薬にも応用することができる。

☆船酔い、乗物酔いの薬 海洋の旅は快適なもののだが、しけてくれば、地獄の相を呈してく

る。船体の動揺、船室のペンキの悪臭、積荷の不快なおい、同室の一人が嘔吐を催せば、まるで伝染でもするようになり、われもわれもと吐き気で苦しむはじめるという状態におちいる。

この船酔いをはじめ、車、飛行機などの乗物酔いの予防薬として「シーシック」「トリブラ」「トラベルミン」などもあるが、もつとも簡単なのは「プロバリン」や「カルモチン」などをあらかじめ服用しておくことだ。つまり前もつて薬に酔つてしまつて、乗物に酔うのを忘れさせるのだが、これは相当に効果がある。

☆酒客必携薬 同じ酔いといつても、今度は酒の酔いの方に転じる。団体旅行とまでゆかなくと



も、大勢で旅に出るの酒はついその度を過しやす
いもの。こんな時に深酔いしてはいけないと警戒
するならば、前もつて「ノルモザン」のような硅
酸アルミ剤を飲んでおいて、酒席に出るようにす
るのも一策である。また万一、悪酔い、泥酔した
時にもこの硅酸アルミ剤は有効だし、さらに宿酔
による食欲不振にも使えるから、これは酒客にと
つては便利なものである。

☆下痢 旅に出ると、誰でもとかく便秘がち
になつて、一日一回というような習慣も乱れがち
となる。そのために気分も重く、憂うつになり、
食欲もすまなくなるので、その治療は肝要であ
る。そのためには、局方「ビサチン」と称する小
粒な錠剤がもつとも適切である。薬局にある「ミ

腸薬を携帯して万一に備える要はあるまい。

☆下痢どめ ただし、旅の途中で下痢をした
場合の用意は欠くことができない。といつても下
痢の原因はいろいろあり、症状もまたまちまちだ
から、それに適応する「下痢どめ」を予め準備し
ておくことは困難である。極端の場合は赤痢のよ
うな伝染病まであるのだから、うっかり便通をと
めてしまうと発熱したりして、病気の経過を悪化
させることもなくはないから、十分慎重を期する
必要がある。

それで「ビオフィェルミン」の錠剤などはまず無
難といえよう。あるいはこの粉末に、「タンナル
ピン」とか「次硝酸蒼鉛」とかを混合したものを
薬局でつくらせて持参することもよからう。

レバー」錠などその代表的なものであるが、こ
れを空腹時、ことに就床時に二、三錠服用してお
くと、翌朝には快い便通があつて、旅をさわやか
につづけることができよう。また食中毒などの場
合、これをヒマシ油に代用させて、四、五錠を一
回に使つて、下痢の役目をさせることもできる。

☆胃腸薬 平素から消化器の弱い人、わるい
人はなかなか用心深く、旅に出る時は必ず持薬を
携帯するのがふつうである。これには各人が常に
信用をおいているもの、愛用をつづけているもの
があるはずだから、特に品名をあげて推せんはし
ないことにする。

市販の著名品は山間の温泉場などの薬屋でも置
いてあるから、入手は容易のはず。それで特に胃

あまり下痢がつづく時は、一度下痢を使つて、腹
の内容をきれいに掃除してしまつてから、かよう
な下痢どめを用いるほうがよい場合もある。

とにかく、経過が思わしくない時は、必ず医師
の診断をおおぐこと。新薬に下痢に特効があると
いつて宣伝しているものもあるが、素人療法は危
険だから、どこまでも応急手当の範囲にとどめて
おくようにする必要がある。

☆食中毒の薬 夏の終りごろから秋の初めに
かけて、ところどころでよく集団食餌中毒が発生
する。観光団体とか学生団体とか
がその危禍にかかる場合が多く、
弁当などの内容に新鮮を欠いてい
る時など事件をおこして、新聞紙



面をにぎわせているが、これは業者の衛生管理、食品管理のわるいのはいうまでもないが、かような食膳なり弁当なりを、うつかり信用して食べるほうにも幾分の責任がある。

しかしその禍にかかつてしまった以上は一刻もはやく十分な手当を施さなければならぬが、自覚症状が軽少であるなら、本人みずから応急処置ができる。すなわち、胃にまだ残っている内容を吐き出すこと、それには塩水をのんで、あとは指を使つて舌の根もとをおさえて、嘔吐を催させるのである。

次にすでに腸に下つてしまつたと思われる内容は下剤を用いて排除してしまうことである。それには前に述べたが、「ビサチン」錠などを四、五

粒一度に頓用するのである。もつとも場合によつては「ヒマシ油」のほうが適することもあるが、急に臨んでは、それで十分な効果をあげ得られるだろう。

☆感冒の薬 旅行中にもつとも罹りやすいのは、咽喉カタルとか扁桃腺炎とかだが、いずれも風邪の初歩と思えば間違いない。これに発熱、鼻炎、咳嗽、頭痛などが伴つてくれればりつばな感冒と診断されるのだが、すべていわゆる「かぜ」は初期のうちには治してしまふのがたいせつだ。

感冒の治療法は、いままでは主として安静と保温と、それに単純な対症療法にとどまつていたが、旅中においてこういう養生は困難な場合が多いから、いわゆる「抗ヒスタミン」剤の使用が推

せんされる。それには市販の「ネオムルチン」錠などが適当なものと思われる。

もつともこの治療法は、早く抗ヒスタミン剤を与えるほど効果が顯著なので、発病後一時間以内に服用すると、その九〇%、同十二時間以内ならば七〇%が治癒すると報告されているくらいだから、少し早めに、どうやら感冒の気味だと思つたら、試みにすぐ使用すること。用量はふつう一回三錠ずつ、一日三回を食後に用いるが、頓服としてなら、症状によつて一回に三〜五錠くらいを使う。

この薬品は、感冒のほかに頭痛——偏頭痛をふくむ——神経痛、ロイマチス痛、歯痛にも効くことがあるから、携帯することも無駄ではあるま

い。ただし、錠剤のなかに含まれている主薬にいわゆる「ねむけ」を催す作用があるので、車窓などで、あまりいい気持でうつらうつらして、折角眼前に展開する明媚な風景を見のがしてしまふおそれがないとはいえない。

☆虫にさされたら 「かぜ」をひけば「アスピリン」という通念から、こんな「抗ヒスタミン剤」を主薬とした感冒薬にまで進歩したのは、もともと感冒を、その病原体のウイルス、またはその生産物である特異蛋白に感受性をもつ生体がおこす、アレルギー性反応であるとする見地から出発したのだが、他のアレルギー疾患の外用治療薬がまた販売されて、調法がられて



いる。例えば「レスタミン」軟膏の如きがそれである。つまりこれも、クリーム状をした抗ヒスタミン剤といえる。そしてそれは旅行の季節によつては、持つてきてよかつたなあとしみじみ感じるものがきつとあるに違いない。

まず第一にいろいろな昆虫に刺された時、つまり蚤、蚊、ぶよ、南京虫、家だに、蜂などによる灼熱感、搔痛感はこれを患部に直接塗布することによつて、すぐ消失するし、その発赤も、はれもやがて減退してゆく。ただクリームを用いるように薄く塗つておきさえすればいいのだから、旅中必携の薬品といえよう。それに蕁麻疹が出た時なども、うすく塗擦すれば、痛みもとまり、発疹も消え失せる。

敷布にまいて、蚤、虱の接近を防ぐのだ。また蚊帳をつつていない時、一、二匹の蚊がぶんぶん襲つてくるのは、寝苦しいものだし、さされれば癩の種である。こういう場合は、枕もとの空中に飛散させておくと、蚊の襲来を完全にくい止められる。

☆虫よけには 現在、旅館もようやく整備され、清掃も行きとどいて来たが、相当豪華な宿に泊つても、夏などは蚤や虱におそわれることが絶無とはいえない。まして辺鄙な土地の商人宿のようなどころに泊らざるを得なくなつた場合など、南京虫の襲撃は覚悟しなければならない。

こういう昆虫の被害を受けたときは、前に述べた「レスタミン」軟膏などですむが、あるいは積極的に、前もつて駆虫剤を持ち出したほうがはなしが早いかも知れない。これには「BHC」ペロ罐がいい。その粉末七五グラムをうすい罐におさめたもので、その容器を親指と人さし指でぺこんぺこんとおさえると、白い粉が霧のように飛び出す仕組になつている。寝具のまわりの畳にまき、

新婚旅行と旧婚旅行

K

1 新婚旅行

新婚旅行は一生に一度のはずのもの。二人の生涯の記憶に残るように、せいぜい楽しいものであつてほしい。新婚旅行は掠奪結婚の遺風だ、などほざく社会学者のいい分などには馬耳東風がよろしい。

☆旅行地はどこに 大

てい温泉地が選ばれる。東京の人の時は、熱海、箱根が定石となつているが、なかには伊東とか熱川さらに伊豆の南の温泉へと甘い旅路をつづける

カップルも見受けられる。

一方、日光、鬼怒川、那須、伊香保などというものもあれば、夏季、軽井沢の高原ホテルのベッドに新婚のさわやかな夢を結ぶ新人も現われはじめている。

関西では、有馬、城崎、白浜の諸温泉が多く選ばれるが、白浜から南紀一周と足をのす二人もまれではない。新婚の船路を、別府航路に託すのも流行であるし、縁結びの神、出雲の大社に詣でて、玉造の凝脂の湯に旅装を解くという古典派もある。

九州では雲仙、北海道では登別と層雲峡が生涯の思い出の地として多く選ばれている。

☆定石外のコース ろくに交際もなしに結婚

する場合は、一、二日ぐらいの新婚旅行がふつうだが、二人が深い交際のおつた仲、あるいは戀愛の末の結婚の場合、月並のコースでは物足らぬことも多いわけである。

ことに二人が同じ趣味で結ばれたような場合は、その趣味にあふれるコースこそ望ましい。

山好きの二人だつたら、北アルプスの縦走も、黒部の谿歩きも、苦難を共にした思い出のコースになろうし、古美術愛好の二人だつたら、大和の古社寺めぐり、京洛の美術行脚の旬日もめぐまれた追憶に残るであらう。

☆仕度と携帯品 　　こういう長期にわたる新婚旅行の仕度と携帯品は、本格的旅行に準ぜられるわけ。ここで説くのはいわゆる「新婚旅行」のそ

れである。

新郎は大した仕度も携帯品もいらぬ。洗面道具にタオル、レザーに、ブラシ、クシぐらいあればよい。その代り、新婦のほうのカバンの中はかさばっている。男もの、女もののねまき二枚、枕カバー二つ、それに洗面道具一式に化粧品——白粉、口紅、クリーム、ローション、香水——へア・ブラシ、タオル。

それに万年筆、ナイフ、ノート、封筒に切手、便箋、祝儀袋など。カメラは二人のうちどちらかが持つてゆくことにする。

万一にそなえての用意に、ガーゼとワセリン、脱脂綿、それに匂いのいいやわらかい懐紙。



こんなものがカバンをみたすのだが、和服でも洋服でも気軽に着て歩ける着替えの一、二枚は少なくとも必要。しかし一生に一度の思い出の旅だからといって、あの着物、この着物とよくばつてつめこんだのでは、カバン係の彼氏に最初から人生の重い荷物を持たさせるわけになるのだから、その辺はよく思案することが必要。

☆旅館で 宿はすでに予約してあるはず。玄関に立てば、一目で本当の新婚かどうか分るものさそうだ。女性が先に式台に足をかけたりするなどは絶対に慎むこと。

部屋づきの女中に、祝儀袋に心付けを入れて渡すのは新婦の役。一生に一度、まあはずむことだ。何しろ女中も「新婚さん」にはしんがつかれる。

御承知のはず。朝になつてからねまき姿で廊下を歩くような無作法な女性は、花嫁にはないはずである。

☆旅の記念 せいぜいカメラで、甘かつた日の追憶の種をとつておくことである。二人でよりそつた姿も撮つて置いたほうがいいから、カメラにはセルフ・タイマーをつけておくべきだ。夫婦げんかの後で、新婚旅行の写真のアルバムを眺めるのも、おつなものにそういない。せいぜい精を出してシャッターを切つておいたほうがいい。

また、宿先から、甘い文句の絵ハガキなど、二人して書いて、共通の知人、友人に送るようにすること。これもまた後日、色あせた夢のよき思い出になること間違いなし。

るもの。玉造温泉などでは、新婚さんの部屋に近づく時は、せきばらいをしながら行くという心のくばり方。せいぜいねぎらうことだ。心付けといえば、番頭、風呂番へもやるのを忘れないこと。彼氏がぬぎ散らした服を整理するのも新婦の働き。一生に一度、しおらしくやることだ。

一緒に温泉にはいろいろが、しなをつくつて遅らせようが、彼女の自由。食事の時、彼氏の飲物に協力するのもしないのも彼女の自由。この辺は一切干渉しないことにする。

翌朝、寝具は人手をわずらわさずに、彼女が押入にしまうこと。そこまでせずとも、せめてたんで部屋の隅に重ねるだけでもやつてほしい。

朝の化粧のことなど、わざわざいわなくとも、

2 旧婚旅行

ねこもいやくしも新婚旅行であるが、旧婚旅行とは聞き慣れぬ言葉である。だが旧婚旅行は、新婚旅行と同程度の意義を人生に持つている。

一言でいえば永年、連れ添つた夫婦の旅行が旧婚旅行である。いわば、映画「お茶漬の味」程度の夫婦ものの旅行をいうのだ。

偕老同穴を契り、二世を誓つたはずの夫婦でもけんかをするものである。俗に犬も食わぬというそれである。これもその生活の倦怠期ともなれば、相当に深刻な場面を呈することがある。こんな時期にこそ「旧婚旅行」によつて、



ピンチを脱すべきなのだ。経済事情もあろうが、一、二泊の旅行の費用ぐらい、あと数ヶ月の家計の遣り繰りで、何とか埋め合わせがつくはず。

☆どんなところへ 何年も同棲した夫婦である、お互の趣味も嗜好も、何から何まで知り盡した二人である。相手がどんなところへ行きたいぐらいのみこんでいるはずである。目的地をどこに選ぶかで、また戦端を開くのでははじまらない。妻の夢をたまには実現させてやるのが、世帯やつれ、世帯くずれから救う一番のちか道である。

☆旅館にて 新婚旅行のテンコールの気持で旅館の玄関に入ることである。かつて新婚の一夜を明かした宿を再びおとずれるのもわるくはなからう。わずらわしい家事から解放された一夜、二

夜は、どんなおそるべき妻の胸にも、新妻のころのしなやかな想い出をよみがえらせるにそついな

ハイキングの旅

X

ハイキングとは歩行を楽しむ旅である。往復は乗り物にたよるとしても、あとは歩くことが目的なのだ。楽しみながら、大地を踏みしめて歩く、軽い旅がハイキングである。一日二日のたのしいリクリエーションである。もちろん、さして高くない山を歩く場合もあるが、難行苦行をいとわぬ

登山とはその目的をことにしているはずである。
☆ハイキング・コース ハイキングの目的地は、平野、高原、山、丘、川や湖沼のほとり、海

辺と千差万別である。時季に応じ、道づれによつて、好きなところが選べよう。

ハイキング・コースは案内書に、いやというほど出ているが、月並みを避けたかつたら、自分で地図を開いて、おもしろそうなコースを作ってみるほうがいい。どうしてこんないいコースを人が気づかなかつたらうと、鼻高々になることも少くない。

しかしあまり欲ばつためちやなプランはくまないほうがいい。ハイキングは難行苦行ではないのだから、楽に歩ける程度のコースにとどむべきである。

☆服装 かく別あまりふだんと変つたなりをする必要もない。



上衣のかわりにジャンパーも便利である。季節によつては、上衣なしのシャツ姿でもいいが、その時はチョッキを着ているほうが、ポケットが多くて都合がいい。日の強い時は、半袖のシャツでなくて長袖にしないと、手首が日に焦けてつらいことがある。腰には手ぬぐいをぶら下げてもわるくはあるまい。あつい時なら、ピケの帽子、あとは無帽でもよからう。

女性の場合も特別のハイキング向の服装というものはないはず、スラックスのほうが足さばきはいいかも知れない。夏などはつばの広い帽子のほうが日よけになる。

☆リュックとカバン リュックなら、サブ・リュック、それでなければ肩からかけるようなカ

には持ち出すべからず。

☆地図 地理調査所の五万分の一の図は必要。地図ケースに入れたほうがいいだろう。地図はリーダー格だけが持つのでなくて、めいめいが持つてゆくことがぞましい。

☆磁石 山地のハイキングの時は、あつたほうがいいが、それ以外の時は、さして必要はあるまい。

☆食物 一日のハイキングなら弁当一食分。ただし山地、高原などの場合は少し余裕を見ておく必要がある。ほかに菓子、果物など好みに応じて。

☆水筒 水筒はぜひ必要。魔法瓶では歩くのに少し邪魔になるう。

バン。ボストン・バッグのように手にさげるカバンよりは避けた方がいい。女性もハンド・バッグよりはショルダー・バッグのほうがあがきがいい。

☆靴と靴下 靴はボロ靴でもいいから慣れたのをはくこと。新品をおろす場合は、靴ずれをおこしそうな部分に、セッケンをぬるがいい。ズックの運動靴でも差支えないが、登山靴までの必要はない。女性の靴はハイ・ヒールを避けて、フラットのものを選ぶこと。

靴下は、ツギの当つたのは禁物、マメの出来る原因となるから。本当は少し大きい目の靴をはいて、厚い靴下と薄いのと二枚重ねるといいのだ。

☆杖 なくていいが、持つていても調法。ただし、ゆめゆめピッケルの如きものはハイキング

☆コッヘルと飯ごう コッヘルと固形アルコールとを持つて行つて、飯ごうで飯をたくのもハイキングの楽しみの一つ。ただしこの場合、コース中に水の得られるところを確かめておく必要がある。

☆その他の携帯品 カメラ、薬品、少々のホウタイ材料、マッチ、ナイフ、紙、ハンカチ、時計など。夜にかかる場合は、ランプかランタン。

☆女性と太陽 日の強いとき、日やけを防ぐには、日やけどめのクリームをぬること。眼をまもるために、サン・グラスをかけたもハイキングの場合は、キザつぽく見えない。

☆足のいたわり ハイキング



は歩くのが中心だから、出かける前から足をよくいたわつて置く必要がある。

出かける前の夜、アルコールと塩の溶液のなかに、しばらく足を浸してから寝ると、翌日、足が軽いといわれる。冷水に少しみよ、うばんを入れた溶液でもよいという。

足の爪は少々短か目に横一文字に切つて置く。余り長くのばして置くと、靴に押されて、紫色となり脱落するおそれがある。

☆靴ずれの予防　ハイキングの出発前に、足や足指の間にタルカン・パウダーを十分たたきつけて置けば靴ずれができない。

あるいは、靴ずれのできそうな場所とこれに対応する靴下の裏表に、セッケンを少しぬらして、

こすりつけて置くのも、靴ずれの予防となる。

☆足弱を先に　一行中の足弱を先に立てて歩くこと。足の強い人が先登に立てば、そのペースで足弱はいよいよへばる。足弱を先に立てて、そのペースにみんなが合わせるようにするのが無事である。

☆歌をうたつて　ハイキングは歌とともに歩きたいもの。ことに疲れた場合、歌声に合わせて行けば、疲れも忘れて歩みもはかどるであろう。

一口に団体旅行といつても、いろいろの種類がある。隣近所のもが四、五人で温泉へ泊りがけに遊び

に行くのも団体旅行なら、善男善女が三百人、四百人と、一団となつて本山詣でに出かけるのも団体旅行だし、小学校の遠足も団体旅行といえよう。しかしここでは、相当の人数の場合を

時列車を出してもらう。国鉄では車輛の余裕のある場合、いつでも需めに応じる。六百人分の運賃の九割が貸切り料である。

☆車輛増結　それでなければ、ふつうの列車に車輛を増結して貰つて、その車輛を団体客専用にする。この貸切り扱いは、中人数の団体旅行に便利である。一等の場合は三十人分、二等は五十人分、三等は八十人分を支払えば専用できる。もつとも、今は三等の扱いは中止している。

☆団体割引　団体旅行の割引は三十人以上、百人以上の二段階に分れていて、季節によつて割引率がちがつている。団体乗車の場合は列車が指定されるし、六歳未満の幼児は人数

団体旅行の手引

X

考えてみる。

☆臨時列車など

列車を利用する場合、大人数だつたら、列車を借切つて目的地に直行する臨



に算入されない。

☆貸切り遊覧バス 最近の団体旅行でさかんに利用されているのは遊覧バスの貸切りである。列車のように立たされる心配もなく、ゆつたりと、乗換え、停車もなく目的地に直行でき、しかも好きな所に、好きなだけ停めてもらえるのが歓迎される理由だろう。一車、三十人乃至三十五人というところが適当。三十五人乗りで、十二時間借切つて、一万九千円ぐらいの料金である。

☆船の団体旅行 船旅にももちろん団体割引はあるが、船会社によつて割引率はおのおのちがつている。

☆船の貸切り 船一そう借切つての団体旅行はちよつと豪華であるが、人数が多く乗るのだから、

ら、実は割安ということになる。

例えば大島航路に使われている橋丸（一、八〇〇トン）は二十四時間で四十五万円、十二時間で三十万円貸切りに応じるといふぐあいである。

☆旅行小切手、クーポン券 団体旅行の場合には大金を携行するわけだから、なるべく旅行小切手に換えておくほうが安全である。旅館には交通公社から頼んで、団体宿泊券を発行してもらつておくがよいし、船車券、観光券なども団体旅行には利用範囲が広い。

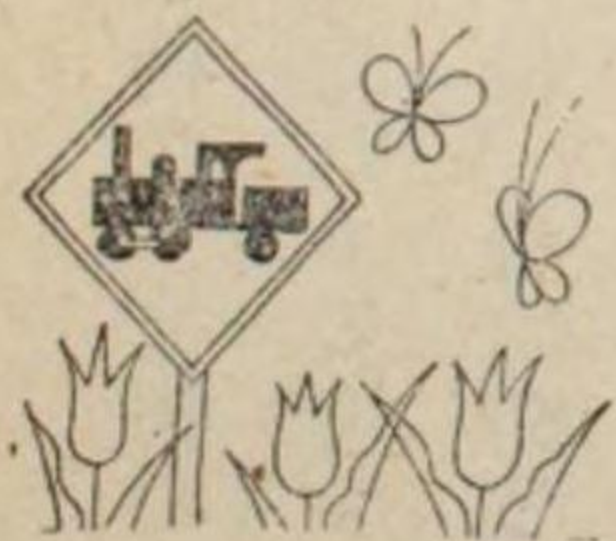
☆チップ 遊覧バス貸切りの団体旅行の場合には、運転手、車掌にチップを出す必要がある。旅館に泊る場合は、下足番にまでチップを出さねばならぬので、一括して帳場に渡し、従業員一同に

分けてもらうのも手であろう。基本は女中へのチップだが、大人数の場合は支払い額の五分程度。もつとも宴会でもして、手数をかけた場合は、別途に考慮することである。

☆引率者の心得 団体旅行にはどうしても引率者が必要である。引率者は眼に立つように、旗を持つなり、き章をつけるなりするのは無論である。引率者は団体の統制につとめ、規律を守らせる、という重任があるわけ。乗り物に乗る前、降りた時など、人員点呼などをして、人間の忘れものが出ないように心がけねばならない。また万一にそなえて、救急函も携行しておいたほうがよからう。もつとも船では引率者を無賃待遇して、その労をねぎらつているところもある。

☆団体員として 団体員も、何か団体の合い印をつけたほうがいい。たすきではあまり野暮つたいが、同色のリボンぐらいをつけておきたい。これがないとシーズンの遊覧地などでは、数団体が混合してしまつたり、遊覧バスに間ちがつて乗り込んだりしてしまう。

引率者の指示に服するのはもちろん、集合の指定時刻は完全に守らないと、他の団員の迷惑になる。旅行中も団体からはぐれないことが肝心。ふだん善良な紳士でも、団体をくむと、はめを外すのが多い。車中、旅館のエチケットは完全に守るべきである。団体の連中が乗り物の一隅を占拠して、傍若無人に高声で談笑したり



泥酔して卑猥な歌を唄つたり、さては同乗の女性を赤面させるような言葉を発するのは、よく見る図だが、団体客だからといって、そんな特権があるはずはない。宿についてからのドンチャン騒ぎも、団体客には往々つきもの。団体の名誉を恥かしめないよう行動すべきである。

☆団体旅行の心得 団体旅行で一番恐ろしいのは集団中毒である。もちろんそれは、旅館だの弁当調理者だのの責任だが、引率者をはじめ、団員の一人一人も十分の警戒をおこたつてはならない。

遊覧バスの貸切りの時などは、旅馴れぬ人や年寄り、胃腸の弱い人などを動揺の少ないところに乗せるようにして、酔わぬようにつとめたいもの

である。

☆荷物には名札を 団体旅行の場合、荷物の間違いがおこりがちであり、宿屋へ忘れものをすることも多い。カバンや傘などには、各自の住所、氏名をしるした名札をつけておくのを忘れてはならない。

△全国駅売り名物調べ▽

全国の主要駅のホームで売っている名物は、ほんとうに色とりどり、それに駅の売店のものを合わせる、もつと多彩のものとなる。 (調べは鉄道弘済会提供の資料によつた)

本州

- 〔東京〕 おくのほそみち しおがま 江戸ッ子あめ
- 〔横浜〕 花見せんべい ひき茶ようかん 甘なつとう しゅうまい
- 〔大船〕 栗ようかん
- 〔小田原〕 かんろ梅 梅ようかん 梅ぼし 笹あめ こけつこう かまぼこ 塩辛
- 〔湯河原〕 みかんもち
- 〔熱海〕 天の川 わさびもち 温泉まんじゅう

棒油

- 〔沼津〕 わさび漬 わさびしそ巻 羽二重もち 栗せんべい 茶せんべい
- 〔清水〕 追分ようかん 次郎長漬
- 〔静岡〕 わさび漬 せん茶 玉露 (かん入り) 安倍川もち 茶もち
- 〔浜松〕 浜納豆
- 〔豊橋〕 ゆたかおこし 焼きちくわ
- 〔名古屋〕 納屋橋まんじゅう ういろう からし漬 守口漬
- 〔岐阜〕 柿ようかん あゆらくがん あゆのかす漬 あゆみそ うるか 養老酒
- 〔大垣〕 柿ようかん
- 〔米原〕 固ぼうる 赤蕪漬 ふなの照焼き 小あゆの甘煮
- 〔大津〕 ふなずし かぶの長良漬

〔京都〕五色豆 八ッ橋 千枚漬 宇治茶
 〔大阪〕粟おこし
 〔神戸〕瓦せんべい 牛肉みそ漬
 〔明石〕でつちようかん
 〔姫路〕塩あじまんじゅう
 〔岡山〕きびだんご きびまんじゅう つるの玉子 中納言
 〔津山〕はつゆき
 〔福山〕ゆずもち ゆずようかん たいみそ 保命酒
 〔尾道〕かまぼこようかん
 〔糸崎〕たいみそ 酒どころ やつさせんべい
 〔呉〕千福漬
 〔広島〕柿ようかん 干柿 巻柿 初雪
 〔岩国〕錦帯せんべい
 〔徳山〕白ういろう

〔三田尻〕かまぼこ
 〔小郡〕白ういろう 萩のかおり 舌つづみ
 〔下関〕淡雪 かめの子せんべい うに
 〔浜田〕かまぼこ 乾魚
 〔松江〕三景せんべい わかくさ 山川
 〔奈良〕奈良漬 あおによし
 〔東和歌山〕三万五千石
 〔龜山〕関の戸
 〔山田〕赤福もち しょうが糖
 〔敦賀〕豆らくがん
 〔福井〕羽二重もち けんけら うに くるみよ
 うかん
 〔金沢〕まいづる 長生殿 加賀さま 浜千鳥
 くるみ煮 ふぐのすじ
 〔富山〕うす氷
 〔高山〕アルプス豆 くるみもち 山ごぼう漬

〔多治見〕菊ごぼうみそ漬
 〔諏訪〕すわこ豆 寒天
 〔松本〕蜂みつ ほしそば 茶そば ふき漬 わさび漬
 〔長野〕みすずあめ 栗らくがん かの子ようかん あんずしぐれ あんず玉だれ そばらくが
 ん さらしなそば リンゴ
 〔甲府〕月のしずく ぶどうせんべい 甲斐路のつゆ ブドウ
 〔柏崎〕たいの子の塩辛 ゆべし
 〔新潟〕ありのみ 七色みそ漬
 〔新発田〕養生糖 茶の子豆 ゆかり
 〔長岡〕雪らくがん 柿のたね
 〔湯沢〕笹あめ
 〔高崎〕いそべせんべい
 〔熊谷〕五家宝

〔大宮〕氷川ようかん
 〔上野〕雷おこし 江戸川巻せんべい 名所せんべい
 〔成田〕成田ようかん
 〔土浦〕わかさぎつくだに
 〔水戸〕梅ようかん 吉原殿中 水戸納豆 水戸の梅
 〔宇都宮〕日光ようかん 白樺ようかん 宮のもち かんぴよう
 〔白河〕白河そば おきなもち
 〔郡山〕うす皮まんじゅう 長齋豆
 〔会津若松〕庄助豆 東山ようかん なめこ
 (カン詰) べろせんべい
 〔福島〕あゆみそ ころ柿 巻せんべい
 〔山形〕のし梅 しぐれの松 かんろ梅
 〔仙台〕笹かまぼこ たいみそ 九重 政岡まめ

もしお糖 生かき (樽詰)

〔一の関〕 田村の梅 弁慶力もち

〔盛岡〕 豆銀糖

〔尻内〕 南部せんべい いか徳利

〔青森〕 リンゴ リンゴようかん

〔弘前〕 リンゴ 津軽あめ

〔秋田〕 もろこし ふき漬

〔大館〕 あげがらす

〔鶴岡〕 なら漬 からし漬

九州

〔門司港〕 塩ヶ浜 富久もち

〔博多〕 みそせんべい つるの子 にわかせんべい

い けいらんそうめん 石堂あめ

〔佐賀〕 丸ぼうる 逸口香 葉がくれせんべい

〔長崎〕 カステラ ザボン漬 柿ようかん

〔熊本〕 朝鮮あめ

〔鹿児島〕 文丹漬 文丹ようかん よう岩もち

〔宮崎〕 しいたけようかん つきいれもち

〔大分〕 湯の花せんべい

四国

〔高松〕 瓦せんべい 勝ちもち

〔徳島〕 鳴門わかめ

〔高知〕 大つぶ けんぴ

〔伊豫西条〕 別子あめ ゆずようかん ゆべし

北海道

〔函館〕 こぶがし おぼろこぶ すじこかす漬 鮭のり

〔札幌〕 名所ようかん 名所せんべい

〔旭川〕 旭豆 黄金豆

〔北見〕 はつかあめ 白樺せんべい はつか豆

〔釧路〕 名所焼 おぼろこぶ 花おりこぶ たら 松葉

△全国土産物調べ▽

〔北海道〕 アイヌ細工の熊彫、スプーン、フォーク

ク サケの新巻 クンセイ スルメ コンブ

バター チーズ トラピストのビスケット リ

ング すずらん はつか豆 旭豆 あつし

〔青森県〕 リンゴ 津軽塗 (馬鹿塗) あけび細

工 焼きちくわ 目屋人形 八幡馬 こぎん

(刺子)

〔岩手県〕 南部鉄びん 釜 紫根染 南部塗 竹

細工 うに 塩辛 豆銀糖 こけし チャグチ

ヤゲ馬つ子

〔秋田県〕 樺細工 能代春慶塗 フキの砂糖漬

秋田黄八丈 金銀細工 銅器 川連漆器 檜岡焼

〔宮城県〕 埋木細工 玉虫塗 かつお節 カキ

のり ちくわ 笹かまぼこ 九重 政岡豆 紙

布織 堤人形 松川だるま こけし

〔山形県〕 竹塗 鋳物 長井つむぎ 米硫 羽二

重 ホームスパン わら細工 絵ろうそく 御

殿まり こけし 羽黒山の面

〔福島県〕 会津焼 会津塗 相馬焼 ナシ サク

ランボ じゅんさい 白河そば 寒天 良齋豆

うす皮まんじゅう 白河だるま

〔栃木県〕 益子焼 日光漆器 木地細工 ふくべ

細工 かんぴよう

〔群馬県〕 高崎ハム 麦らくがん みそまんじゆ

う 伊勢崎めいせん

〔茨城県〕 結城紬 佐野織物 笠間焼 水戸うち

わ 和傘 天明鋳物 水戸納豆 のし梅 わか

さぎ

〔埼玉県〕 行田たび つりざお たんす 鋳物

いもせんべい 五家宝 草加せんべい 狭山茶

だるま ひな人形 秩父めいせん

〔東京都〕浅草のり つくだ煮 福神漬 雷おこし 多摩結城 めいせん 青梅織物 青梅和傘 象牙細工

〔千葉県〕房州うちわ 籐製品 成田ようかん 焼はまぐり ほしのり わかめ ひじき 田中ピワ

〔神奈川県〕鎌倉彫 下駄 箱根細工 貝細工 鎌倉ハム 梅干 かまぼこ ういろう 小田原 ちようちん

〔静岡県〕漆器 ミカン 茶 わさび シイタケ 石垣イチゴ わさび漬 浜納豆 栗せんべい 安倍川もち

〔愛知県〕瀬戸焼 硬質陶器 一閑張 七宝細工 守口漬 きしめん ういろう 上りようかん 納屋橋まんじゆう 八丁みそ せんす 鳴海し

るいかの煮干

〔石川県〕輪島塗 山中塗 九谷焼 大樋焼 加賀人形 加賀友禅 長生殿 かがさま

〔福井県〕若狭塗 めのう細工 和紙 羽二重 釣針 カレイ うに焼 小だい笹漬 羽二重もち けんけら

〔三重県〕万古焼 伊賀焼 真珠 松坂肉 伊勢えび しぐれはまぐり 赤福もち しょうが糖

〔奈良県〕奈良漆器 奈良うちわ 一刀彫 筆 墨 鹿角細工 赤膚焼 茶せん 奈良漬 三輪 ぞうめん あられ酒

〔滋賀県〕柳・籐細工 信楽焼 あゆのあめ煮 ふなずし 紅蕪漬 大津繪 大津絵人形 信楽茶

〔和歌山県〕黒江漆器 那智黒硯 碁石 和傘 ミカン 梅干 さらしくず 酒盗 かまぼこ なんば焼 小鯛雀ずし かつお節 和歌のり

〔京都府〕西陣織 京友禅 清水焼 粟田焼

ぼり

〔岐阜県〕春慶塗 いちい細工 波草焼 美濃焼 双物 和傘 ちようちん あゆ うるか 富 有柿 菊ごぼうみそ漬

〔長野県〕平沢漆器 柳細工 竹細工 あけび細工 木工品 わら細工 天龍峽焼 お六揃り

ンゴ わさび 唐がらし 更級そば 栗ようかん 栗らくがん タルミ製品 氷豆腐 みすず あめ

〔山梨県〕水晶細工 印傳細工 ブドウ酒 雨畑 硯 ころ柿 月のしづく

〔新潟県〕無異名焼 赤玉石細工 越後上布 小千谷ちぢみ 金属製品 ナシ 笹あめ ありのみ 越の雪 かんろ梅 竹製品 木目人形 スキー人形

〔富山県〕富山漆器 高岡銅器 かまぼこ ほた

高台寺焼 朝日焼 漆器 茶道具 丹波ぐり

松たけ たけのこ すぐき 千枚漬 宇治茶 八ッ橋 そぼぼうろ ちまき 豆板

〔大阪府〕栗おこし こんぶ 双物 塩味まんじゆう

〔兵庫県〕出石焼 麦稈細工 水仙 神戸肉 瓦 せんべい 一玉つばき そうめん 木彫人形

〔岡山県〕備前焼 花むしろ 倉敷段通 マスコ ット 白桃 二十世紀 オリーブ きびだんご 大手まんじゆう

〔広島県〕備後がすり 熊野筆 柿 ミカン 鯛 の浜焼 カキ ゆずようかん 宮島しやもじ

〔山口県〕萩焼 赤間硯 大内塗 大内人形 竹製品 ミカン 夏ミカン うるか かまぼこ うに マーメイド 舌づつみ

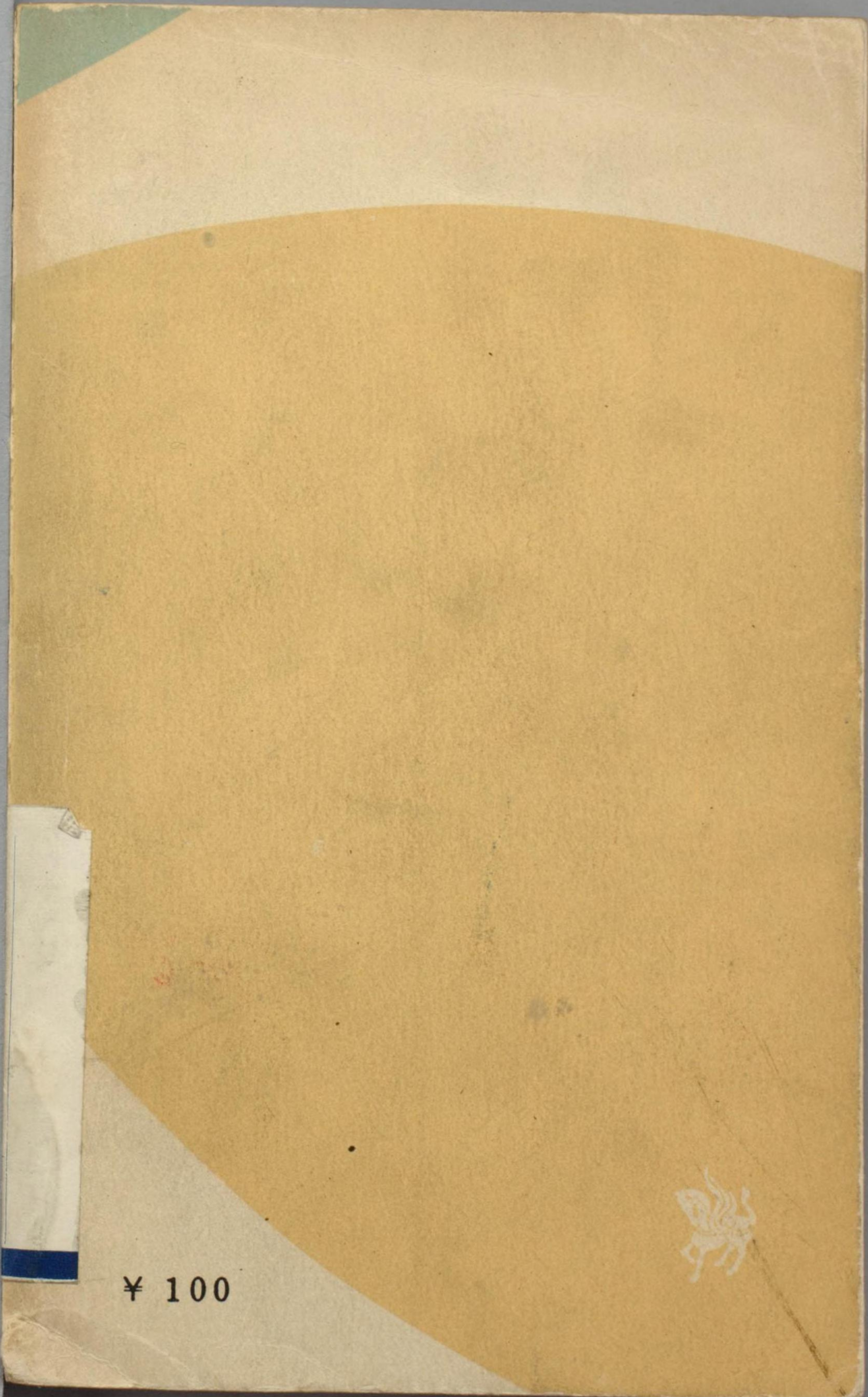
〔島根県〕石見焼 出雲焼 和紙 日の出うちわ めのう細工 八雲塗 のり わかめ するめ

アサヒ相談室

カメラ 1・2.....	アサヒカメラ編	定價 各 100 圓
美容 1.....	安田・細田・牛山著	" 90 "
買物 1.....	朝日新聞經濟部編	" 80 "
就職.....	朝日新聞社編	" 100 "
法律 1 (家庭の法律).....	日本弁護士連合會編	" 90 "
法律 2 (すまいの法律) ...	"	" 100 "
法律 3 (裁判)	"	" 100 "
法律 4 (くらしの法律) ...	"	"
讀書 (讀み方・そろ え方・扱い方)	中島健藏著	" 80 "
入學・進學 (幼稚園から大學まで)	朝日新聞社編	" 100 "
よい子強い子.....	木田文夫著	" 100 "
愛兒誕生.....	藤井久四郎著	" 90 "
税 1.....	朝日新聞經濟部編	" 100 "
旅行.....	朝日新聞社編	" 100 "
新藥.....	宮木高明著	近刊
ことば.....	石黒修著	"
信仰.....	朝日新聞圖書部編	"
住宅.....	山口文象著	"
投資.....	今澤正躬著	"
服裝.....	桑澤・宮内・高松著	"
釣.....	檜山義夫著	"
しつけ.....	竹田俊雄著	"

以下續刊

朝日新聞社發行



¥ 100